



## HP Designjetスキャナへようこそ

### HP Designjetスキャナ

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ 詳細...

→ アルファベット索引

→ HP Designjet Online

このヘルプでは、HP Designjetスキャナを使用するのに必要なすべての情報について解説します。

情報は3つのカテゴリーに分かれています。カテゴリーを選択するには、各トピックの左側にあるナビゲーションブロックを使用してください。

実際に使用する前に行う必要のあるシステムのセットアップ手順については、「[初めて使用する前に](#)」を参照してください。

また、最高のカラー品質を得る方法については、「[カラー精度の最適化](#)」を参照してください。



### 初めて使用する前に

作業を開始する前に必要なシステムのセットアップ手順について説明します。プリンタのセットアップ、初期保守、およびメディアプロファイルの作成などの作業があります。

[HP Designjetスキャナを初めて使用する前に...](#)

### 使用方法...

...原稿の取りつけ方法、コピーの取り方、スキャナの保守方法について説明します。

[...使用方法...](#)

### 問題の解決...

...コピー/スキャン中に発生した問題の解決方法を説明します。

[...問題の解決...](#)

[詳細...](#)

...スキャナに関する参考資料です。

[...詳細...](#)

ナビゲーション ブロックから索引 (アルファベットおよび50音順) にアクセスすることもでき、トピックを簡単に見つけることができます。

また、ナビゲーション ブロックから、HP Designjet online Webサイトに掲載されているサービスや解決法などの情報にもアクセスできます。

基本的な作業手順は、スキャナに付属の『クイック レファレンス ガイド』にも記載されています。

HP Designjetプリンタの使用方法については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。





## 使用方法...(操作手順)

< [ヘルプの最初のページに戻る](#)

### HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)

[問題の解決...](#)

[詳細...](#)

[アルファベット索引](#)

[HP Designjet Online](#)

#### 1. [コピーするには](#)

(クイック コピー、テンプレートの選択、入出力サイズの設定、拡大縮小、メディア プロファイルの選択、品質、バッチ、複製の保存...)

#### 1. [スキャンしてファイルに保存するには](#)

(一般的な手順、原稿のテンプレート、入力サイズ、サイズ変更、拡大縮小、解像度、品質、バッチ...)

#### 1. [ファイルから印刷するには](#)

(ファイルからの印刷、印刷リストの設定と保守、コンピュータからのファイルの削除...)

#### [システム上のファイルを管理する](#)

(ファイルの参照、ファイルの移動、ファイル名の変更、ファイルのコピー、CD/DVDへのコピー...)

#### 1. [コピー オプションとツールの使用方法](#)

(プレビュー、部数、レイアウト、アライメント、印刷キュー...)

#### 1. [コピー ツールのカスタマイズ方法](#)

(原稿のテンプレートの作成、サイズ プリセット、メディア プロファイルの作成...)

#### 1. [システム保守/修復の実行方法](#)

(保守、キャリブレーション、部品の交換、修復、画面のキャリブレーション、再起動、シャットダウン...)

#### 1. [システムの設定方法](#)

(スキャナ設定オプション、環境設定、インタフェース オプション、アカウントिंग、ネットワーク接続、プリンタのインストール、日付と時刻、言語...)

#### 1. [厚い原稿をコピー/スキャンするには](#)

(厚い原稿のコピー/スキャン、挿入スロットの高さの変更)

コピーするには

トピックを選択してください...

[...コピーの取り方](#)

[...原稿のテンプレートを選択](#)

[...入力サイズの設定](#)

[...出力サイズの設定](#)

[...メディア プロファイルの選択](#)

[...コピー品質の設定](#)

[...カラー精度の最適化](#)

[...拡大縮小の倍率の設定](#)

[...プリンタのメディア幅の設定](#)

[...すべての原稿のバッチ コピー](#)

[...部単位コピー](#)

[...コピーの複製をファイルに保存するには](#)

スキャンしてファイルに保存するには

トピックを選択してください...

[...スキャンしてファイルに保存](#)

[...原稿のテンプレートを選択](#)

[...スキャン解像度の設定](#)

[...スキャン品質の設定](#)

[...原稿のサイズ \(入力サイズ\) の設定](#)

[...\[サイズ変更\] オプションを使用した出力サイズの設定](#)

[...出力サイズの設定](#)

[...倍率の設定](#)

[...スキャンしてDVDまたはCDに保存](#)

[...ネットワーク フォルダにスキャン ファイルを保存してアクセスする](#)

[...原稿のバッチ全体をスキャンしてファイルに保存](#)

[...コピーの複製をファイルに保存](#)

[...システム上のイメージ ファイルの管理](#)

[...ファイルの自動命名設定...](#)

ファイルから印刷するには

トピックを選択してください...

[...ファイルから印刷](#)

[...ファイルから印刷するときの品質の設定](#)

[...印刷リストの設定](#)

[...印刷リストの管理](#)

システム上のファイルを管理するには

[トピックを選択してください...](#)

[...システム上のイメージ ファイルの管理](#)

[...ネットワーク フォルダへのアクセス...](#)

[...\[ファイル管理\] ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択](#)

[...イメージ ファイルのコピー...](#)

[...イメージ ファイルの移動...](#)

[...イメージ ファイルの削除...](#)

[...イメージ ファイルの名前の変更...](#)

[...新しいファイル フォルダの作成...](#)

[...印刷リストへのイメージ ファイルの追加...](#)

[...書き込み可能な CD/DVD にファイルをコピー](#)

## コピー オプションとツールの使用方法

[トピックを選択してください...](#)

[...プレビュー ツールの使い方](#)

[...コピー部数の設定](#)

[...複数のプリンタでの印刷](#)

[...ネスティング](#)

[...パネリング](#)

[...イメージを自動的に揃える](#)

[...印刷キューの表示](#)

[...出力マージンの設定](#)

[...縦方向入力および横方向出力](#)

## コピー ツールのカスタマイズ方法

トピックを選択してください...

[...原稿のテンプレートの定義](#)

[...任意の倍率の作成](#)

[...カスタム用紙サイズ プリセット \(入力サイズ/出力サイズ\) の作成](#)

[...新しいメディア プロファイルの作成](#)

## システム保守/修復の実行方法

トピックを選択してください...

[...保守手順](#)

[...スキャナ部品の交換](#)

[...ガラス プレートの交換](#)

[...カバー裏にある白いプラテンの交換](#)

[...スキャナ ランプの交換](#)

[...エア フィルタの交換](#)

[...スキャナ システムの電源オン/オフ タイマーの設定](#)

[...スキャナ システムの修復](#)

[...タッチ スクリーンのキャリブレーション](#)

[...システムの再起動](#)

[...システムのシャットダウン](#)

[...ディスクのデフラグ](#)

[...サポート/デバッグ用データ ファイルの作成および取得](#)

## システムの設定方法

トピックを選択してください...

[...スキャナの設定](#)

[...原稿の取りつけ方法 \(自動または手動\)](#)

[...メディア オフセットの設定](#)

[...厚い原稿の場合に必要な調整処理](#)

[...デフォルトの管理者パスワードの変更](#)

[...ネットワークへの接続](#)

[...ネットワークの設定](#)

[...別のコンピュータから共有ファイルにアクセス](#)

[...スキャナ システムの電源オン/オフ タイマー](#)

[...アカウントの作成/削除/無効](#)

[...既存のアカウントの選択/有効](#)

[...スキャナ システムの表示言語の変更](#)

[...プリンタの設置とプリンタ ドライバのインストール](#)

[...日付と時刻の設定](#)

[...ネットワーク接続の保存の有効化](#)

厚い原稿をコピー/スキャンするには

トピックを選択してください...

[...厚い原稿のコピー/スキャン](#)

[...挿入スロットの高さの変更 \(厚い原稿のスキャン\)](#)





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

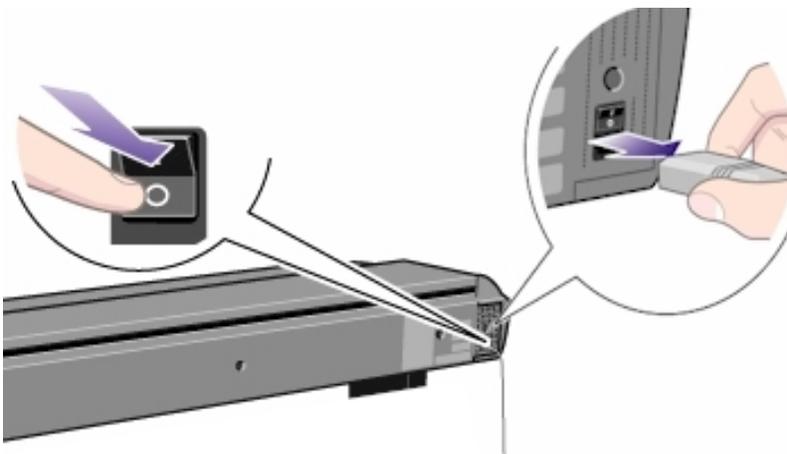
## 保守手順 (クリーニング、キャリブレーション)

保守作業を行う際には、[スキャン領域のクリーニング](#)から[カメラのアライメントとキャリブレーション](#)まで、すべての保守手順を実施する必要があります。

**スキャナの保守作業は、月に1回以上実施することをお勧めします。**

### スキャン領域のクリーニング

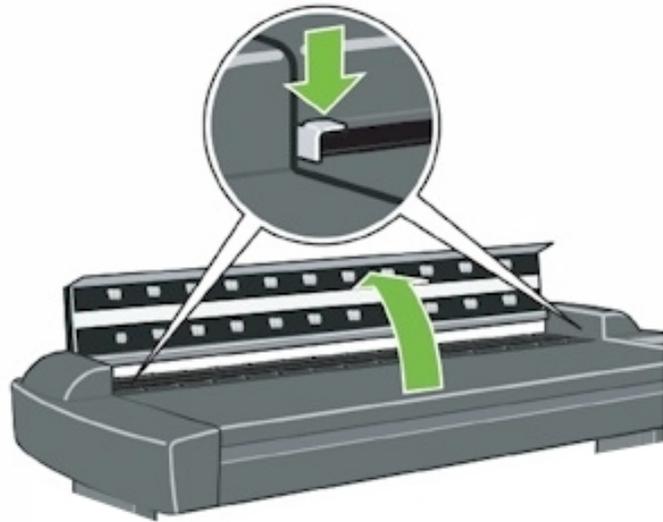
1. スキャナの電源をオフにして、スキャナの電源ケーブルを外します。



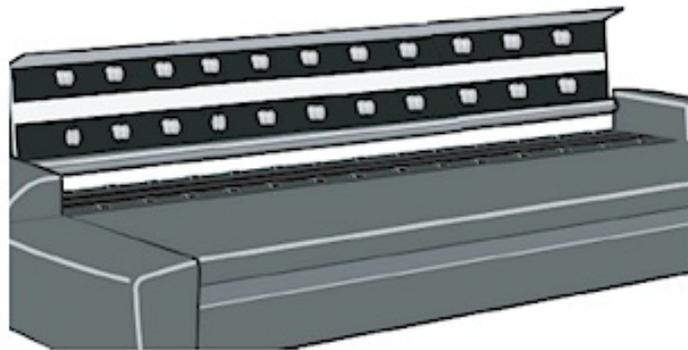
2. スキャナのカバーを開きます。

挿入スロットの近辺にある、スキャン領域カバー両端の2つのレバー ボタンを押し下げます。スキャン領域カバーのロックがこれで解除されます。

4. レバー ボタンを2つとも押したまま、空いている指を挿入スロットに入れてスキャン領域カバーを開きます。



3. これでスキャン領域が開放され、クリーニングを実行できます。

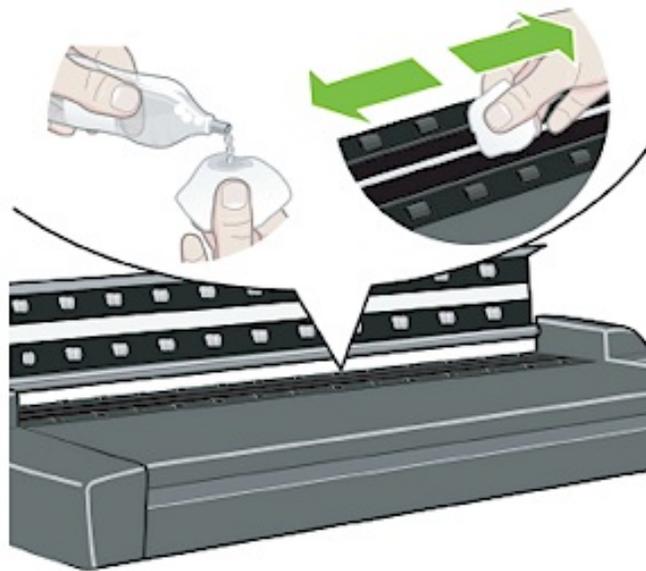


3. ガラス プレートを丁寧に拭きます。

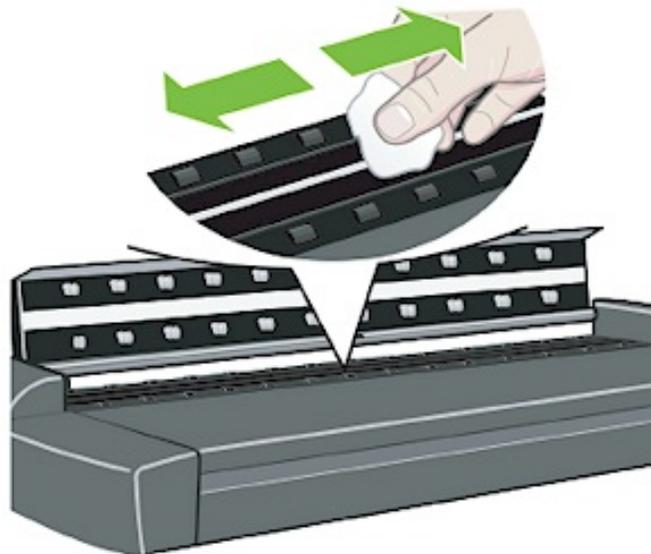
糸くずの出ない布と、刺激が少なく研磨剤が入っていないガラスクリーナーを使用してガラスをクリーニングします。

**注意：研磨剤、アセトン、ベンゼン、またはこれらの薬品を含んでいる液状クリーナーは使用しないでください。ガラス プレートやスキャナに液状クリーナーを直接吹き付けしないでください。**

**注意：ガラス プレートの寿命は、ガラス プレートを通過する用紙のタイプによって異なります。マイラーのような研磨紙は劣化が早まる原因になります。このような場合、ガラス プレートの交換はお客様の責任になります。**



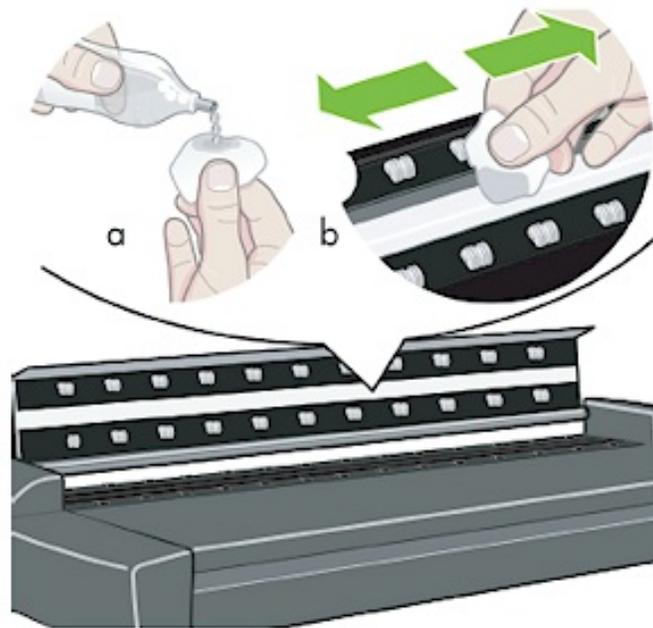
4. 保守キットに含まれている布と同様の、糸くずが出ない乾いた布を使用してガラスを拭き、水分を完全に取り除きます。



5. カバー裏の白いプラテンをクリーニングします。

白いプラテン (白い金属部分) が付いた圧力プラテンは、スキャン領域カバーに固定されています。カバーを押さえながらクリーニングします。警告：白いプラテンは取り外してクリーニングしないでください。取り外すのは、[交換する](#)場合に限りです。

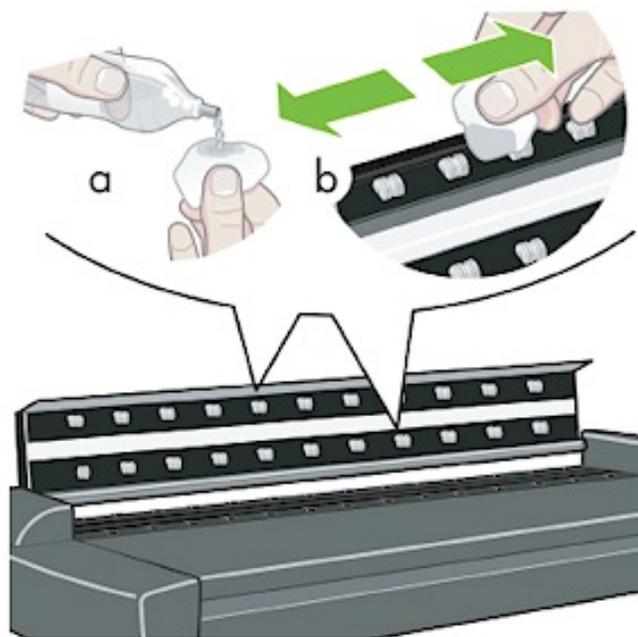
糸くずの出ない布と、刺激が少なく研磨剤の入っていないガラスクリーナーを使用して白い部分を拭きます。布にクリーナーを付けてプラテンの白い部分を拭いてください。



6. 上下の搬送ローラと周辺部をクリーニングします。

糸くずの出ない布と、刺激が少なく研磨剤の入っていないガラスクリーナを使用してローラを拭きます。

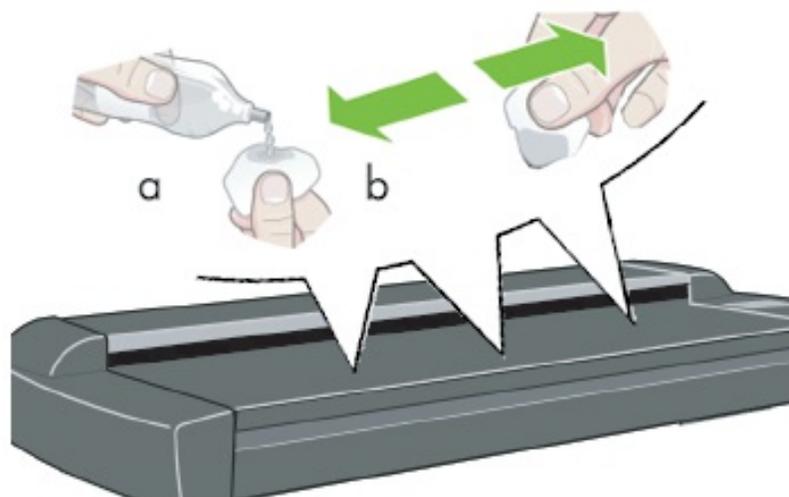
**注意：研磨剤、アセトン、ベンゼン、またはこれらの薬品を含んでいる液状クリーナは使用しないでください。**



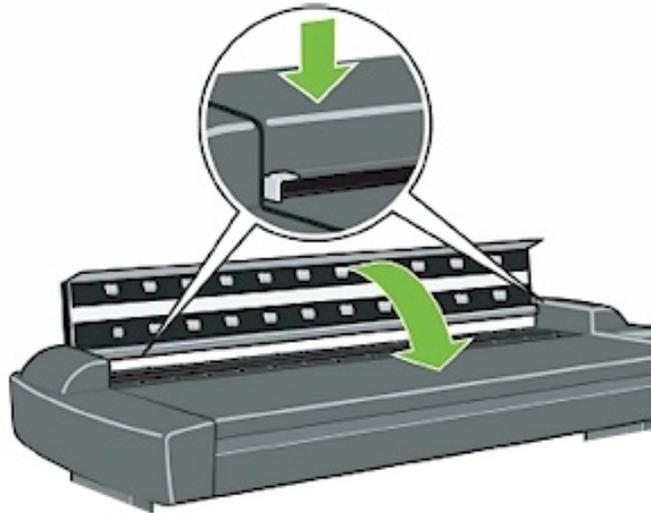
7. 糸くずの出ない乾いた布を使用して白いプラテン、搬送ローラ、および周辺部を拭き、水分を完全に取り除きます。



8. スキャナの表面もクリーニングして、汚れや埃が原稿と一緒にスキャン領域に入らないようにします。



9. スキャナ カバーを閉じます。カバーがロックされます。



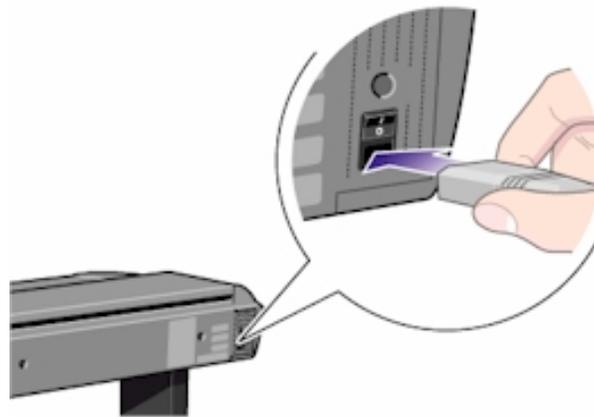
[カメラのアライメントとキャリブレーション](#)に進みます。

### カメラのアライメントとキャリブレーション

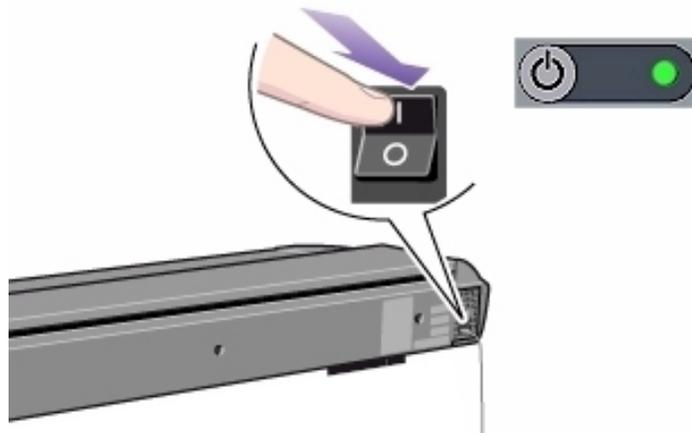
カメラのアライメントとキャリブレーションを行う前に、スキャナの最初の保守手順であるスキャン領域のクリーニングを実行したことを確認してください。スキャン領域が汚れていると、キャリブレーションが正しく行われません。

カメラのアライメントとキャリブレーションは、完全に自動化された処理で、画面の指示に従って開始するだけで自動的に実行されます。

1. スキャナの電源ケーブルを接続します。



2. スキャナの電源をオンにします。



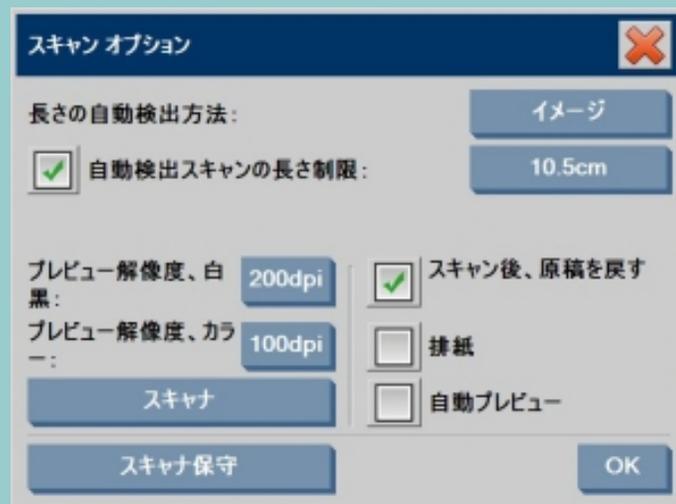
3. スキャナが暖まるのを待ちます。

カメラのアライメントとキャリブレーションは、スキャナをオンにしてから1時間以上経過してから実行してください。スキャナの電源をオンにした直後は、ランプの輝度が微妙に変化したりカメラが移動することがあります。ウォームアップ時間を十分にとることで、ランプの状態とカメラの高さが安定します。

4. [セットアップ] タブを選択します。



5. [オプション] ボタンを押します。[スキャン中] を選択します。



6. [スキャナ保守] ボタンを押して、スキャナ保守ウィザードを開始します。

保守ウィザードでは、すべての保守作業 (カメラのアライメント、ステッチング、およびキャリブレーション) の手順が順に表示されます。

7. 付属品の保守シートを挿入します。



ウィザードにより、スキャナに付属されていた保守シートを挿入するように求められます。シートは、印刷面を下向きにして挿入する必要があります。シートの中心矢印をスキャナの中心矢印に揃えて、シートをスキャナに給紙します。

8. 保守が完了したら、保守シートをスキャナから取り出して保護カバーに戻し、保管用ケースに入れます。ケースは、直射日光の当たらない乾燥した場所に保管してください。

または、以下も参照してください。

...[スキャナの保守について](#)





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## コピーの取り方

コピーを取るには、以下の手順に従います。通常は、基本的なオプションは既に設定されており、変更する必要はありません。

印刷したばかりの成果物をコピーする場合は、スキャナの挿入スロットに入れる前にそれが完全に乾いていることを確認してください。乾燥していないと、プロットが傷んだりスキャナのガラス プレートが汚れることがあります。

必ずコピー システム ソフトウェアでプリンタのメディア幅を設定してください。手順については、「[プリンタのメディア幅の設定](#)」を参照してください。

### 警告

コピーのキャンセルについて :

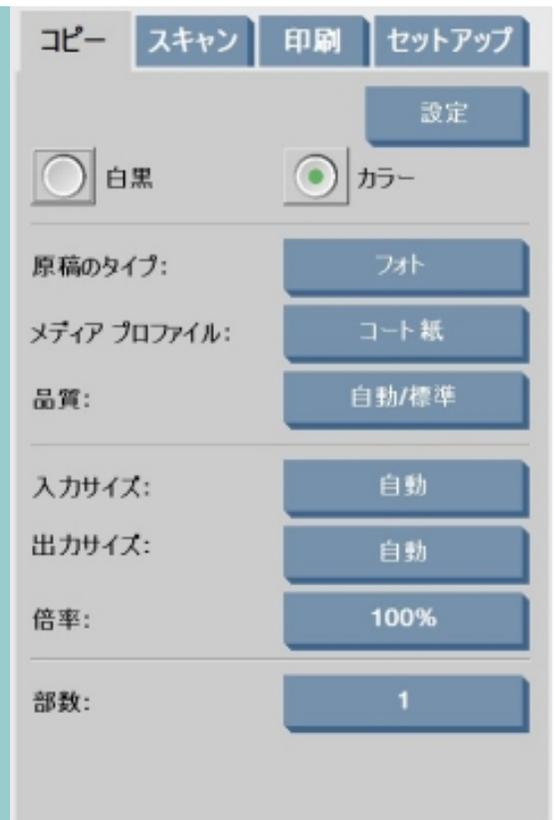
現在のコピー ジョブを中止する場合は、[停止] ボタン  を押します。プリンタでコピーを中止しないでください。スキャンは、コピー ジョブがキャンセルされたことを認識せず、入力長の定義の最後までスキャンし続けます。

## コピーするには...

1. 原稿を取りつけます。取りこむ面を下向きにして、原稿の一方の端をスキャナの挿入スロットに入れます。原稿はスキャナの中央から取りつけます。中央の矢印を使用して位置を調整します。
2. 原稿を挿入スロットに入れ、開始位置に引き込まれるまでそっと差し込みます。
3. [コピー] タブで、[カラー] または [白黒] を選択します。これにより原稿のタイプが決定されます。
4. [原稿のタイプのテンプレート](#)を選択します。
5. コピー品質を設定するには、[品質] ボタンを押します。手順については、[こちら](#)を参照してください。
6. [メディア プロファイル](#)を選択します。

7. [入力サイズ](#)を設定します。

通常、入力サイズは原稿と同じサイズに設定します。原稿のサイズをスキャナに検出させることもできます。

8. コピーの[出力サイズ](#)を設定します。

等倍でコピーする場合は、原稿のサイズを指定します。  
[\[倍率\]](#) を使用してコピーのサイズを決定することもできます。

## 9. [コピー] ボタンを押します。



新しいアカウントを作成した場合には、[コピー] ボタン  または [スキャンしてファイルに保存] ボタン  を押すたびに [アカウント] ダイアログが表示され、アカウントの選択を求められます。関連項目：

...[アカウントティング](#)

印刷する前にイメージをプレビューすることができます。プレビューには、コピーが実際に出力される状態 (WYSWYG) が表示されます。コピーのプレビューを読み込むには、[プレビュー] ボタン  を押します。

[停止] ボタン  を押すと、実行中のコピー処理をキャンセルまたは中止できます。このボタンを押して、イメージ ファイルのプレビューをキャンセルすることもできます。

[リセット] ボタン  を押すと、それまでの設定をクリアして、アプリケーションのすべての設定をスキャナ ソフトウェアのデフォルト値にリセットできます。



→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

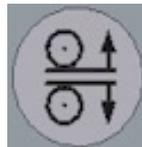
→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## 挿入スロットの高さを変更するには (厚い原稿のスキャン)

スキャナのオペレータ パネルに、ATAC (厚さ自動調節) ボタンがあります。このボタンを使用すると、圧力プラテンを上下させて挿入スロットの高さを変更することができます。



スキャナの挿入スロットの高さは、2 ~ 15mm (最大0.6インチ) の範囲で調整できます。2mm以下の厚さの原稿は、圧力プラテンを完全に下げた状態 (標準の位置) でスキャンしてください。それより厚みのある原稿の場合は、ATACボタンを使用して厚さに合わせて調整してください。

**挿入スロットの高さが「標準」になっていない場合は、タッチ スクリーンのプレビュー ウィンドウの下に以下の警告が表示されます。**

*用紙ガイドの高さが拡張位置になっています*

## 挿入スロットの高さを変更するには...

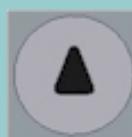
1. オペレータ パネルのATACボタンを押して、スキャナをATACモードにします。



用紙セット完了インジケータが黄色で点滅している場合、スキャナはATACモードになっていても用紙セットが完了していません。すなわち、圧力プラテンが厚い原稿の上の位置にありません。



2. 原稿を挿入できる位置に圧力プラテンが持ち上がるまで、用紙送りボタン (上向き矢印) を押し続けます。厚い原稿を用紙フィーダにまっすぐに差し込みます。



- それ以上下がらない位置に圧力プラテンが下がるまで、用紙戻しボタン (下向き矢印) を押し続けます。



- 圧力プラテンが正しい位置にセットされると、用紙セット完了インジケータの点滅が止まり黄色の点灯状態になります。これで厚い原稿をスキャンできます。ATACモードは自動的に解除され、用紙送り/戻しボタンの動作は、原稿を前後に移動させる通常の機能に戻ります。



挿入スロットの高さを標準位置に戻すには、以下の手順に従います。

- 厚い原稿を取り除いてからATACボタンを押し、下向き矢印ボタンを押します。
- プラテンが標準位置に戻ると「用紙ガイドの高さが拡張位置になっています」という警告が消え、用紙セット完了インジケータが点滅しなくなります。
- ATACモードは自動的に解除され、用紙送り/戻しボタンの動作は、原稿を前後に移動させる通常の機能に戻ります。





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## 厚い原稿をコピー/スキャンするには

厚い原稿をスキャンする必要がある場合は、以下のガイドラインに従ってください。

まず、厚い原稿に対応するように挿入スロットの高さを調節します。関連項目 :

...[挿入スロットの高さの変更 \(厚い原稿\)](#)

厚い原稿をスキャンするには、挿入スロットを広げる必要があります。これによって、カメラ間の境界線の自動制御 (ステッチング) に影響が出ることがあります。補正の手順については以下を参照してください。

### 厚い原稿をコピーするには...

1. 挿入スロットの高さを原稿に合わせて調整します。調整方法については「[挿入スロットの高さの変更 \(厚い原稿\)](#)」を参照してください。

2. テスト スキャンを実行します。

厚い原稿をスキャンする場合は、挿入および取り出し時に原稿を両手で支える必要があります。

ステッチング エラーが発生しているかどうかは、はっきりとした対角線が1つまたは複数あるイメージをスキャンすることで容易に確認できます。

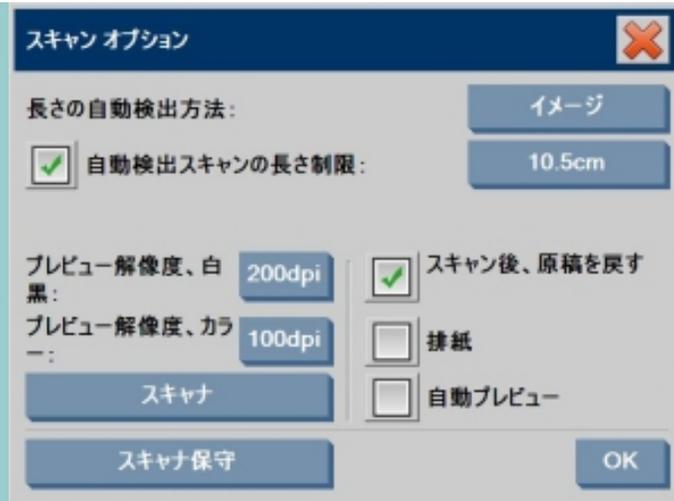
通常、硬い原稿だけがステッチングに影響を与え、やわらかい原稿は厚さに関わらず正しくステッチされます。

線が均等になっていない場合は、以下の手順を実行してください。

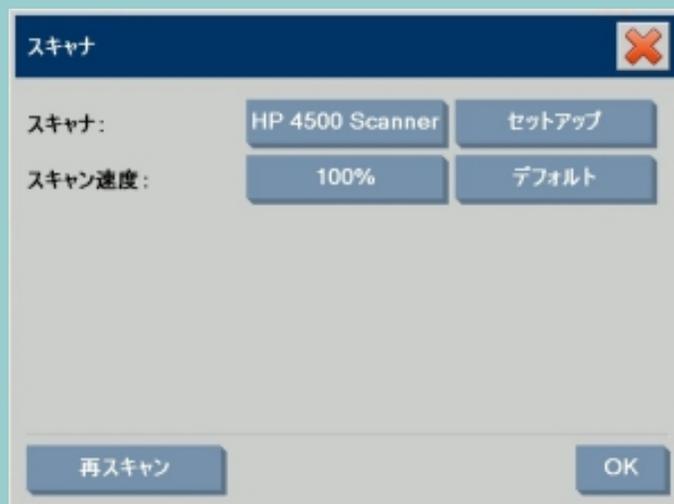
3. [セットアップ] タブを選択します。



4. [オプション] ボタン -> [スキャン中] ボタンを選択します。



5. [スキャナ] ボタンを選択します。



6. [セットアップ] ボタンを選択します。

7. [標準以上の厚さ] タブを選択します。

8. [厚い原稿の処理設定を使用する] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

9. スキャナの各カメラの値を変更します。通常、正の値のみを使用します。

10. テスト スキャンを実行し、線が正しくスティッチされるまで値を再調節します。

11. [OK] をクリックして設定を決定します。

12. 良好な結果が得られるまで上記の手順を繰り返します。



→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)

[問題の解決...](#)

[詳細...](#)

[アルファベット索引](#)

[HP Designjet Online](#)

## 原稿のテンプレートを選択

原稿のタイプのテンプレートにより、入力する原稿が定義されます。原稿のタイプのテンプレートは、コピー ジョブにもスキャンしてファイルに保存するジョブにも使用できます ([コピー] タブおよび [スキャン] タブ)。

または、以下も参照してください。

[...原稿のテンプレートについて](#)

### 原稿のタイプのテンプレートを選択するには...

1. [白黒] または [カラー] を選択します。これによって、次の手順で表示される原稿のタイプが決まります。



2. [原稿のタイプ] ボタンを押します。

3. 現在の原稿に最も近いテンプレートを選択します。手順1で選択したカラーまたは白黒に従って、原稿のタイプのテンプレートが表示されます。



または、以下も参照してください。

[...原稿のテンプレートを定義するには...](#)





## 原稿のテンプレートの定義

### HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

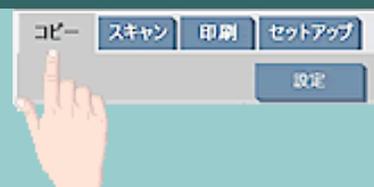
→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

原稿のタイプのテンプレートの設定に調整を加えても、その内容はプログラムを終了すると通常は破棄されます。ただし、新しい原稿のタイプのカスタムテンプレートとして、調整内容を保存することもできます。原稿のタイプのテンプレートは、コピー（[コピー] タブ）、スキャンしてファイルに保存（[スキャン] タブ）の両方に適用されます。

### 原稿のテンプレートを定義するには...

1. [コピー] タブまたは [スキャン] タブを押します。



2. コピー モードを [カラー] または [白黒] に設定します。



3. [原稿のタイプ] ボタンを押して、[原稿のタイプ (テンプレート)] メニューを表示します。



4. [ツール] ボタン  を使用して、[原稿のタイプ

の設定] ダイアログを表示  
します。

コピーのプレビューが現在表示されている場合は、現在のプレビュー画面と、変更の効果を比較するための2つの画面を表示した [原稿のタイプの設定] ダイアログが表示されます。

5. 設定を行って、それらが現在の原稿に適切であることを確認したら、[新規] ボタンを押します。

テンプレートの設定については、以下を参照してください。

...[原稿のテンプレートの設定について](#)

上のプレビュー パネルには、テンプレート設定変更後のイメージの変更が表示されます。

6. [新規] ボタンを押して新しいテンプレートの名前を入力します。例えば「果物の写真」など、コピーの種類を表す名前を指定します。
7. [保存] ボタンを押して、新しい原稿のタイプのテンプレートを作成します。

新しい原稿のタイプのテンプレートが、既存のテンプレートのリストに追加されます。原稿に最も近い原稿のタイプを選択して、それを新しい名前で作成して必要に応じて変更することができます。プレビューを使用して設定をテストします。

現在の原稿のタイプのテンプレートの設定を変更して [OK] ボタンを押した場合、それらの値は現在のコピー ジョブでだけ使用されます。次回このテンプレートを呼び出すと、以前の設定が読み込まれます。

8. 完了したら [保存] ボタンを押します。

9. [OK] を押して終了します。

または、以下も参照してください。

...[原稿のタイプのテンプレートの選択](#)

...[原稿のテンプレートについて](#)



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## 入力サイズの設定

または、以下も参照してください。

...[サイズ設定について](#)

### HP Designjetス キャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

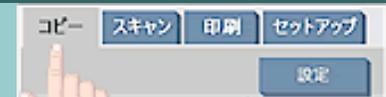
→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

### 入力サイズを選択するには...

1. コピーを実行する場合は [コピー] タブを押し、スキャンしてファイルに保存する場合は [スキャン] タブを押します。



2. [入力サイズ] ボタン ([コピー] タブ) または [サイズ] ボタン ([スキャン] タブ) を押して、[入力サイズ] メニューを表示します。



自動サイズ検出機能を使用したり、プリセットされている標準サイズやカスタム サイズを選択できます。使用可能なサイズを表示するには、ダイアログの [入力サイズ] ボタンを押します。

3. 入力サイズを選択するか、[ツール] ボタン  を使用して、[入力サイズの設定] ダイアログを表示します。

入力サイズの設定

入力サイズ: ANSI C\*

幅: 43.2cm

長さ: -

幅を自動的に検出

長さを自動的に検出

削除 新規 保存 OK

4. 入力サイズを設定するには、以下のいずれかの手順に従います。

1. 幅と長さを指定します。原稿の幅は、スキャナの挿入スロットにあるルーラで確認できます。
1. [幅を自動的に検出] または [長さを自動的に検出] を選択して、挿入した原稿の入力幅と長さ（あるいはそのいずれか）をスキャナに検出させます。
1. 使用可能なサイズを表示するには、ダイアログの [入力サイズ] ボタンを押します。

[幅を自動的に検出] と [長さを自動的に検出] チェックボックスの両方をオンにして、入力サイズを完全に検出することもできます。自動サイズ検出では、原稿がプレスキャンされてからコピーが行われるため、手動でサイズを設定した場合よりも時間がかかります。

5. [OK] ボタンを押してメインの設定画面 ([コピー] タブまたは [スキャン] タブ) に戻ります。

設定を新しいサイズ プリセットに保存することもできます。「[カスタム用紙サイズの作成](#)」を参照してください。

倍率を使用して出力サイズを拡大縮小することもできます。関連項目：  
[...拡大縮小の倍率の設定](#)

または、以下も参照してください。

...[出力サイズの設定](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## 出力サイズを設定するには

または、以下も参照してください。

...[サイズ設定について](#)

## 出力サイズを選択するには...

1. [コピー] タブを開いている場合は、[出力サイズ] ボタンを押して [出力サイズ] メニューを表示します。[スキャン] タブを開いている場合は、[サイズ変更] -> [サイズ] を押します。



自動サイズ検出機能を使用したり、プリセットされている標準サイズやカスタム サイズを選択したりできます。

2. 出力サイズを選択するか、[ツール] ボタン  を使用して、[出力サイズの設定] ダイアログを表示します。



3. 出力サイズを設定するには、以下のいずれかの手順に従います。

1. 1対1のコピーを作成するために、プログラムで入力サイズを使用して出力サイズとして使用する場合は、[自動] を選択します。

1. 出力サイズとしてリストから標準サイズを選択します。

1. カスタム サイズを作成して、プリセットとして保存できます。[幅] と [長さ] を設定して [出力サイズ] を指定できます。[ツール] ボタン を押して [出力サイズの設定] ダイアログを開きます。

1. 注記：[入力サイズ] と特定の [出力サイズ] に [自動] を選択すると、[倍率] 値は最初のプレビューが完了するまで [自動] に設定され、その後計算された倍率が表示されます。また、入出力サイズを設定するためにも、倍率を使用します。

4. [OK] ボタンを押して、[コピー] タブに戻ります。

倍率を使用して出力サイズを拡大縮小することもできます。関連項目：  
[...コピーの拡大縮小](#)

または、以下も参照してください。

...[入力サイズの設定](#)





## 拡大縮小の倍率の設定

### HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

スキャンしてファイルに保存する際にコピーまたはイメージを拡大縮小するには...

1. 入力設定を行った後、[コピー] タブを開いている場合には [倍率] ボタンを押します。[スキャン] タブを開いている場合は、[サイズ変更] -> [倍率] を押します。これで、あらかじめ定義された標準またはカスタム倍率のリストが表示されます。
2. 目的に適した倍率値を選択します。倍率を100%にすると、等倍でコピーされます。100%未満の値を指定するとイメージが縮小され、100%を超える値を指定するとイメージが拡大されます。
3. 倍率を新しく定義するには、[ツール] ボタン  を選択して [倍率の設定] ダイアログを表示します。[値] ボタンを使用すると、倍率を手動で設定できます。
4. あらかじめ定義された倍率のリストに新しい倍率を追加して保存するには、[新規] ボタンを押して新しい倍率の名前を入力します。次に [値] ボタンを押して値を入力します。最後に [保存] ボタンを押してリストに追加します。

**ヒント :** サイズの大きいコピーの縮小版をすばやく作成するには、[倍率] を25%に設定します。

**注記 :** [入力サイズ] と特定の [出力サイズ] に [自動] を選択すると、[倍率] 値は最初のプレビューが完了するまで [自動] に設定され、その後計算された倍率が表示されます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## コピー部数の設定

### HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

### コピー部数を設定するには...

幅の広い原稿のコピーには時間がかかります。ただしこのオプションを使用すれば、システムを無人で一晩中稼働させたり、他の作業に専念できるようになります。

1. 取りつけた原稿のコピーを複数作成する場合は、[コピー] タブの [部数] ボタンを押します。
2. 編集フィールドに部数を入力します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## プレビュー ツールを使用するには

[プレビュー] ボタン  を押すと、そのたびに選択したコピーの最新のプレビューが表示されます。

入力されたイメージに常に最後の設定が適用され、設定の効果が新しいプレビューに表示されます。この機能により、コピーを印刷する前に設定を微調整して、その効果を確認することができます。

手順...

...[イメージ全体を表示するには...](#)

...[イメージを拡大するには](#)

...[イメージを縮小するには](#)

...[等倍で表示するには...](#)

...[用紙フレームのサイズを変更するには...](#)

...[イメージを移動するには...](#)

...[用紙フレームを配置するには...](#)

...[イメージを揃えるには...](#)

### イメージ全体を表示するには...



[全て拡大] ツールを使用して、大判の原稿を [プレビュー] ウィンドウで表示することができます。[全て拡大] ツールでは、現在のズーム レベルに関わらず、[プレビュー] ウィンドウに合わせてイメージのサイズが変更されます。

### イメージを拡大するには...



イメージを拡大してイメージの一部の詳細を見たい場合は、[拡大] ツールを使用します。すぐに拡大され、ズーム軸が [プレビュー] ウィンドウの中央に表示されます。場合によっては、ズームする前にイメージを特定の領域の中央に移動する必要があります。この作業は、[イメージを移動] ツールを使用すると行うことができます (以下を参照)。イメージをさらに拡大する場合は、必要な詳細レベルになるまで [拡大] ボタンを押し続けます。

### イメージを縮小するには...



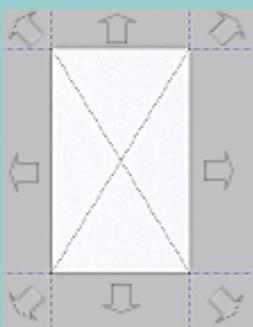
[縮小] ツールを押すと、[プレビュー] ウィンドウに表示されているイメージが縮小されます。イメージをさらに縮小する場合は、[縮小] ボタンを押し続けます。

### 等倍で表示するには...

1:1

スキャンしたピクセルと画面上のピクセルを1対1で表示する場合は、[1:1] ツールを使用します。プレビューの解像度が低い場合、実際にコピー/スキャンすると精度が増す場合があります。プレビューの解像度を設定するには、[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [スキャン中] を選択します。[操作手順はこちらを参照してください。](#)

### 用紙フレームのサイズを変更するには...



[用紙フレームのサイズ変更] ツールにより、[プレビュー] ウィンドウに表示されている用紙フレームのサイズを自由に変更できます。

このツールを選択すると、用紙フレームの周囲の領域がセクションに分割されます。セクションに触れると、最も近いフレームの辺または角が新しい位置に移動します。角をドラッグしてフレームのサイズを変更することもできます。

### イメージを移動するには...



[イメージを移動] ツールは、以下の2つの方法で使用できます。

**ドラッグ**：イメージ ウィンドウの任意の場所でドラッグします。イメージをつかんでウィンドウ内でドラッグすることができます。

**センタリング**：画面上のある場所に触れると、その場所が [プレビュー] ウィンドウの中央に表示されます。選択した場所が画面の中央に配置されるようにイメージが移動します。この機能は、ズーム インしてイメージの詳細を表示する場合に便利です。ズーム インする前に必要な場所を選択して、その場所を中央に配置することができます。

### 用紙フレームを配置するには...



[用紙フレームの配置] ツールは、以下の3つの方法で使用できます。

**ドラッグ**：画面上の任意の場所でドラッグできます。フレームをつかんでイメージ上でドラッグすることができます。

**センタリング**：画面上のある場所に触れると、その場所が用紙フレームの中央になります。選択した場所がフレームの中央になるようにフレームが移動します。この機能は、プリンタに出力するための一時的なテスト ストライプを作成する場合に便利です。これにより、テストする領域にすばやくフレームを配置することができます。

**角をドラッグ**：用紙フレームのサイズを変更できます。[用紙フレームのサイズ変更] ツールの代わりに使用できます。

### イメージを揃えるには...

原稿をまっすぐに挿入しなかったために、[プレビュー] ウィンドウに原稿が斜めに表示されることがあります。再度原稿を取りつけ直さなくても、これを修正することができます。

まっすぐな用紙フレームの辺を基準にして揃え直します。



イメージを左に傾ける場合は、[左揃え] ツールを押します。



イメージを右に傾ける場合は、[右揃え] ツールを押します。





## スキャナの設定

### HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

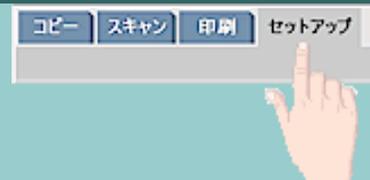
→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

### スキャン/ユーザ インタフェース オプション

1. [セットアップ] タブを押します。



2. スキャナ関連のオプションを設定するには、[オプション] ボタン -> [スキャン中] ボタンを押します。  
ユーザ インタフェース オプションを設定するには、[オプション] ボタン -> [一般設定] ボタン を押します。

これらのオプションの説明については、以下を参照してください。

...[スキャン オプションについて](#)

...[ユーザ インタフェース オプションについて](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## スキャンしてファイルに保存

### HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

### スキャンしてファイルに保存するには...

1. 取りこむ面を下向きにして、原稿の一方の端をスキャナの挿入スロットに入れます。原稿はスキャナの中央から取りつけます。中央の矢印を使用して位置を調整します。
2. [スキャン] タブを選択します。ここでスキャンのさまざまな特性を設定できます。詳細な手順は以下で説明します。

[マージン]、[レイアウト]、[メディア プロファイル] などの出力設定は、後でファイルを印刷するときに設定できます。

3. [カラー] または [白黒] を選択します。
4. [原稿のタイプ] で取り付ける原稿に最も近いテンプレートを選択します。詳細な設定を行うには、「[原稿のテンプレートについて](#)」を参照してください。
5. [スキャン解像度] を設定します。この設定でイメージ品質が決定します。カスタムのdpi値、[自動] (原稿のタイプに基づいてプログラムにより決定)、[デスクリーン] (スキャナの光学解像度)、[ターボ モード] を設定できます。詳細については、「[イメージの品質設定について](#)」を参照してください。
6. [サイズ] と [サイズ変更] オプションを使用して、スキャンするイメージの寸法を指定します。[サイズ] に [自動]、[サイズ変更] に [なし] を設定すると、原稿のサイズがそのまま使用されます。「[入力サイズの設定](#)」および [\[サイズ変更\] オプションに関するページ](#) を参照してください。
7. 保存先フォルダとファイル名を設定します。ファイル名は、入力したテキストと自動的に付加される1つ以上の要素で構成できま

す。デフォルトのファイル名はプログラムによって設定されます。デフォルト名を変更するには、[ファイル名] ボタンを押して、新しい名前を入力します。

自動的に付加されるファイル名の要素：要素を指定するには、画面のカーソルを [ファイル名] フィールドに合わせ、[要素の挿入] ボタンを押します。以下のファイル要素を自動的に付加できます。

カウンタ <###> - 増加する連続番号が。[カウンタの挿入] ボタンを押すと、ファイル名にカウンタが付加されます。<#...>内の「#」は追加できます。連続番号の最小桁数は、「#」の数により決定されます。システムは毎回保存先フォルダを調べ、最も大きなファイル番号の次の番号からナンバリングを開始するため、既存ファイルが上書きされることはありません。桁数は、必要に応じて自動的に増やされます。

例：ファイル名に *dogimage<###>* と指定してスキャンした場合、ファイル名は *dogimage001*、*dogimage002...*、*dogimage999...*、*dogimage1000...* のようになります。

日付 <DATE> - 「yyyymmdd」形式の現在の日付列。[日付の挿入] ボタンを押すと、現在の日付がファイル名に付加されます。

時間 <TIME> - 「hhmmss」形式の現在の時刻。[時間の挿入] ボタンを押すと、現在の時刻がファイル名に付加されます。

次に生成されるファイル名が、[ファイル名の編集] フィールドの下に前もって表示されるので、ファイル名の設定を調整できます。

ファイル名の自動割り当てはスキャンを1回だけ行う場合にも使用できますが、バッチ スキャンで特に効果を発揮します。

8. 出力ファイル形式を変更するには、[設定] -> [ファイル フォーマット] を押します。さまざまなファイル形式を使用できます。
9. フォルダ グループを変更するには、[ファイル フォルダ] ボタンを押します。



[フォルダの変更] ダイアログでは、以下のことを行えます。

矢印を使用してディスク上のフォルダを選択する。

上のフォルダに移動する為の [..] ボタンを使用して1つ上のフォルダに移動する。

[新しいフォルダ] ボタンを押して、現在のフォルダに新しいフォルダを作成する。

フォルダ名を押して、検索対象をそのフォルダに移動する。

ネットワークでの保存先：デフォルトでは、参照ダイアログにはローカルドライブとフォルダのみが表示されます。システムにはネットワークの場所を追加することができます。追加操作の完了後は、ネットワークの場所とそこにあるフォルダをスキャンしてファイルに保存ジョブの保存先として使用できるようになります。手順については、ヘルプの「[ネットワークフォルダにスキャン ファイルを保存してアクセスするには](#)」を参照してください。

ファイルの保存先フォルダを選択したら、[フォルダの変更] ダイアログで [OK] ボタンをクリックします。

共有ファイル：ネットワークで共有するファイルは、D:\¥imagesフォルダに置く必要があります。このフォルダに保存すると、ネットワーク上にあるどのオペレーティング システムのコンピュータからでも、ファイルにアクセスできます。「[共有ファイルへのアクセス](#)」を参照してください。

10. [スキャンしてファイルに保存] ボタン  を押して、処理を開始し、イメージを保存します。

スキャンしてDVDまたはCDに保存

スキャンしてDVDまたはCDに直接保存することもできます。以下の手順に従ってください。

1. 空のDVD/CDをパネルPCのドライブに挿入します。
2. [ファイル フォルダ] ボタンを押します。[フォルダの変更] ダイアログを使用して、DVD/CDドライブ (E:) に移動します (上記参照)。
3. [ファイル名] ボタンを押して、ファイル名を入力します。
4. [スキャンしてファイルに保存] ボタンを押します。 
5. ファイルがハードディスクに保存され、その後自動的にDVD/CDに移動されます。進行状況を示すバーにジョブの完了が表示されるのを待ちます。

6. スキャンが完了したらDVD/CDを取り出します。
7. DVD/CDへの書き込みは、ISO 9660 + Joliet 拡張規格に準拠しています。
8. 書き込みに対応しているメディアは、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD+R、DVD+RW、および DVD+R DLです。

新しいアカウントを作成した場合は、[コピー] ボタン  または [スキャンしてファイルに保存] ボタン  を押すたびに [アカウント] ダイアログが表示され、アカウントの選択が求められます。

関連項目：

... [アカウントिंग](#)

各ファイルは、[スキャンしてファイルに保存] ボタンを押したときに適用されていた [スキャン] タブの設定で保存されます。





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## ファイルから印刷

ファイルの印刷は、[印刷リスト] で設定および管理できます。

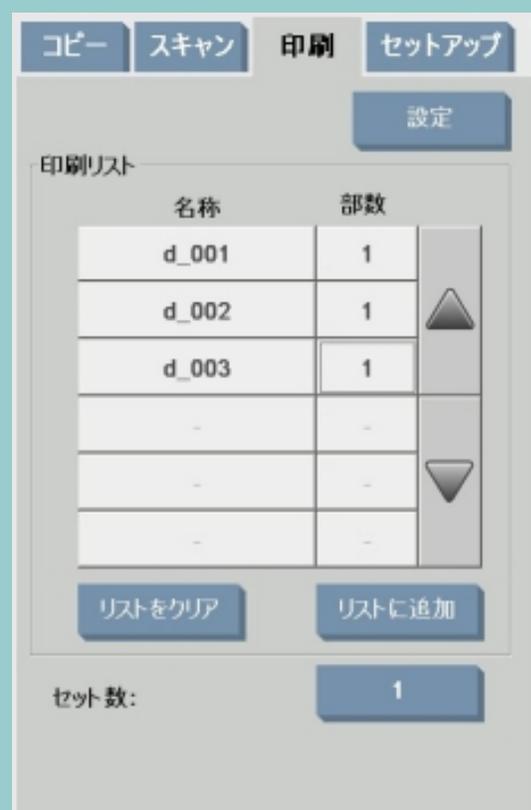
ファイルから印刷するには

1. [印刷] タブを押します。



[印刷リスト] には、現在選択されている印刷ファイルが表示されます。リストが空の場合、またはリストを変更する必要がある場合は、ファイルを選択してリストを作成します。関連項目：

...[印刷リストの設定](#)



- [設定] ボタンを押して、印刷品質を設定します。手順については、[こちら](#)を参照してください。
- [セットアップ] タブの現在の設定を確認または変更します。[マージン]、[レイアウト]、[プリンタ]、[メディア プロファイル] などの [セットアップ] タブの現在の設定は、印刷ジョブ全体に適用されます。
- [ファイルから印刷] ボタン  を押して、リストされているファイルをプリンタに送信します。

新しいアカウントを作成した場合は、[ファイルから印刷] ボタン

、[コピー] ボタン 、または [スキャンしてファイルに保存] ボタン  を押すたびに [アカウント] ダイアログが表示され、アカウントの選択が求められます。関連項目：  
...[アカウントティング](#)

スキャナ ソフトウェアの [ファイルから印刷]  機能は、スキャナ ソフトウェアの [スキャン] タブで作成したファイルを印刷するための機能であるため、他のソースで作成したファイルの出力にはお勧めしません。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## 印刷リストの設定

### HP Designjet スキャナ

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ 詳細...

→ アルファベット索引

→ HP Designjet Online

印刷するファイルは、[印刷リスト] で設定します。[印刷リスト] は、[印刷] タブからアクセスできます。ここでは、リストを設定する手順とディスクからファイルを削除する手順について説明します。または、以下も参照してください。

リスト内のファイルに個別に設定を適用する手順については、「[印刷リストの管理](#)」を参照してください。

### 印刷リストを設定するには

1. [印刷] タブを押します。



2. [リストをクリア] ボタンを押すと、空の新しいリストが表示されます。

3. [リストに追加] ボタンを押して、以下の [ファイル管理] ダイアログを表示します。



フォルダ内にあるイメージ ファイルだけが表示されます。

4. ファイル名の左側にあるボックスをオンにして、印刷リストに追加するファイルを選択します。  
注記：[リストに追加] では、印刷可能なファイル形式のファイル

にのみアクセスできます (PDFにはアクセスできません)。

5. [全て選択] または [すべて選択解除] を使用して、現在のフォルダ内のすべてのファイルを一度に選択/選択解除することができます。
6. ファイルの選択方法の詳細については、「[\[ファイル管理\] ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」を参照してください。
7. リストを作成しているときに、ファイルを移動、コピー、名前の変更、または削除することもできます。詳細は、「[システム上のイメージ ファイルを管理するには](#)」を参照してください。
8. [OK] ボタンを押して、オンにしたファイルを印刷リストに追加し、[印刷] タブに戻ります。[印刷] タブには、ファイルが挿入された状態の印刷リストが表示されます。

[リストに追加] ボタンを押して、ダイアログを再度表示して、別のフォルダのファイルを追加することもできます。





## 印刷リストの管理

## HP Designjet スキャナ

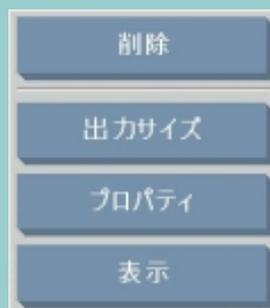
[使用方法...](#)
[問題の解決...](#)
[詳細...](#)
[アルファベット索引](#)
[HP Designjet Online](#)

## 印刷リストを管理するには...

[印刷] タブでは、ジョブを印刷する前に、リスト内のファイルや印刷ジョブ全体に適用する設定を指定することができます。

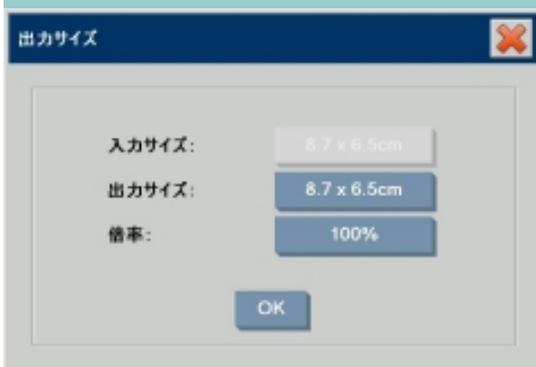


1. ファイル名の右横の [部数] ボタンを押して、各ファイルの部数を設定します。
2. [セット数] ボタンを押して、リスト全体の印刷部数を設定します。
3. リストのファイル名を押して、ファイルの設定を変更します。以下のポップアップメニューが表示されます。



1. [削除] - 選択したファイルをリストから削除します (ディスクからは削除されません)。

[出力サイズ] - このオプションを選択すると、[入力サイズ]、[出力サイズ]、[倍率] が表示されます。ファイルの入力サイズは、ファイルに含まれている情報から取得されます。原稿のサイズを拡大/縮小して出力することもできます。コピーのサイズを変更するには、[出力サイズ] または [倍率] ボタンを使用します。



[プロパティ] - ファイルパス、形式、サイズ、作成日時が表示されます。[上へ移動]/[下へ移動] ボタンを押して、印刷リストに表示されているファイルの順序を変更できます。印刷後にファイルをディスクから自動的に削除する場合は、[印刷後ファイルを削除] ボックスをオンにします。

[表示] - ファイルのプレビューを [プレビュー] ウィンドウに表示します。プレビューを途中でキャンセルするには、[停止] ボタンを押します。





## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## アカウントを作成/削除/無効化するには

アカウントリング機能を利用して、コピー操作の状況を把握することができます。アクティブにすることができるアカウントは、合計アカウントを除いて一度に1つだけです。アカウントのダイアログで、アカウントのスキャン操作情報を表示できます。アカウント名はプリンタへのコピー ジョブの後ろに表示されます。ユーザは、アカウント名を参照してプリンタまたはネットワーク プリント サーバ (プリンタ モデルが対応している場合。確認するにはプリンタのマニュアルを参照してください) 上のアカウント印刷情報を確認することができます。

注記：管理者パスワードを設定してアクティブにした場合、アカウントのリセット、作成、削除、および名前の変更を行うにはパスワードを入力する必要があります。

トピックを選択してください...

...[新しいアカウントを作成するには...](#)

...[アカウントを削除するには...](#)

...[アカウントをリセットするには...](#)

### 新しいアカウントを作成するには...

1. [セットアップ] タブを押します。



2. [アカウント] ボタンを押します。[ツール] ボタン  を押します。

3. [アカウントリング] ダイアログで [新規] ボタンを押します。管理者パスワードを入力するように求められたら、それを入力します。



#### 4. 新しいアカウントの名前を入力して決定します。

新しいアカウントが自動的に現在のアクティブなアカウントになります。[コピー] ボタン  または [スキャンしてファイルに保存] ボタン  を押すたびに [アカウント] ダイアログが表示され、アカウントの選択が求められます。

### アカウントを削除するには...

1. [セットアップ] タブを押します。



2. [アカウント] ボタンを押します。[ツール] ボタン  を押します。

3. [アカウントティング] ダイアログで [削除] ボタンを押します。管理者パスワードを入力するように求められたら、それを入力します。



4. [OK] を押して削除を決定します。

### アカウントをリセットするには...

1. [セットアップ] タブを押します。



2. [アカウント] ボタンを押します。[ツール] ボタン  を押します。
3. リセットするアカウントの名前を選択します。



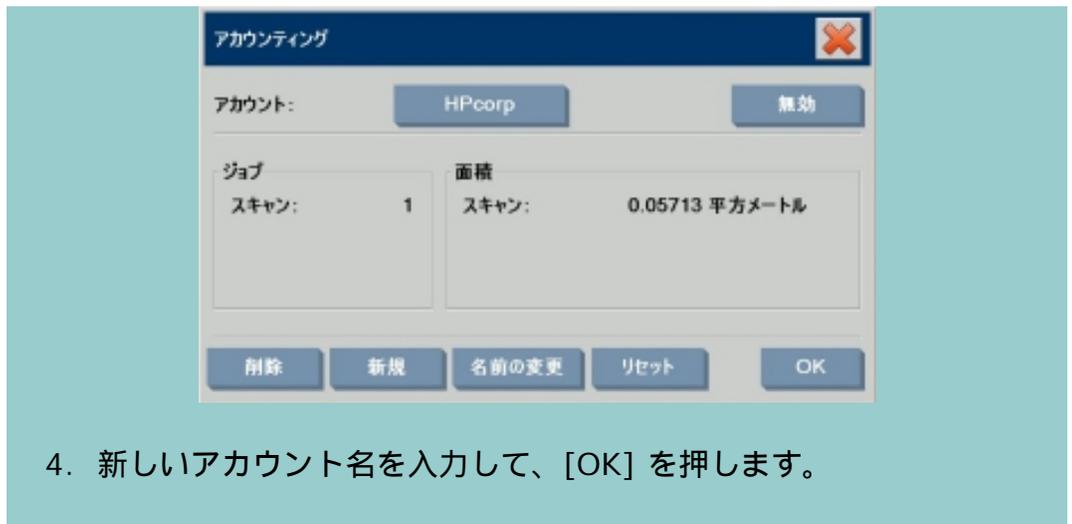
4. [リセット] ボタンを押します。管理者パスワードを入力するように求められたら、それを入力します。

### アカウントの名前を変更するには...

1. [セットアップ] タブを押します。



2. [アカウント] ボタンを押します。[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [一般設定] -> [クイック選択リストを有効にする] を選択した場合は、[ツール] ボタン  を押します。
3. [アカウントティング] ダイアログで [名前の変更] ボタンを押します。管理者パスワードを入力するように求められたら、それを入力します。



4. 新しいアカウント名を入力して、[OK] を押します。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## 既存のアカウントの選択/有効

### HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

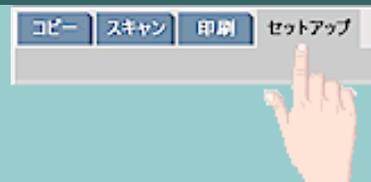
→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

アクティブにすることができるアカウントは、合計アカウントを除いて一度に1つだけです。

### 既存のアカウントを選択/有効にするには...

1. [セットアップ] タブを押します。



2. [アカウント] ボタンを押します。

既存のアカウントのリストが表示されます。

1. 矢印ボタンを使用してリストをスクロールし、アカウント名を押して選択します。



[コピー] ボタン  または [スキャンしてファイルに保存] ボタン  を押すたびに [アカウント] ダイアログが表示され、アカウントの選択が求められます。





## HP Designjetス キャナ

使用方法...



問題の解決...



詳細...



アルファベット索引



HP Designjet Online



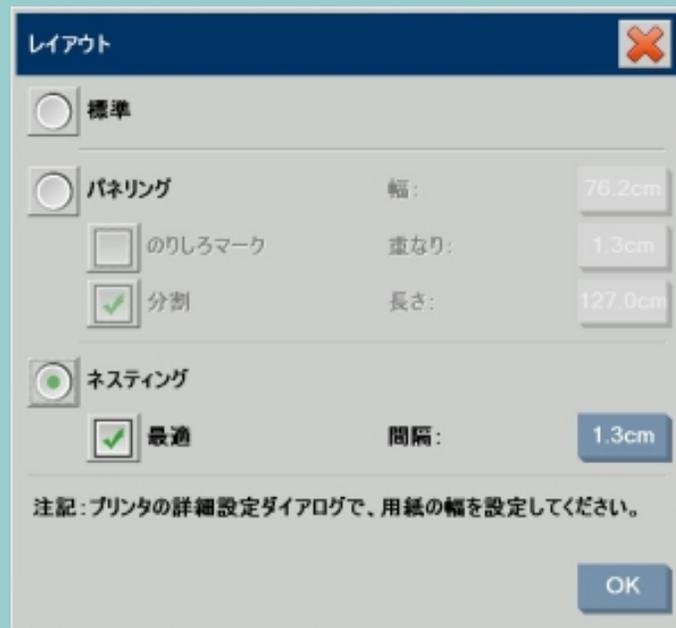
## ネスティング

### ネスティングを使用するには...

1. [セットアップ] タブを選択します。



2. [レイアウト] ボタンを選択します。



3. [ネスティング] オプションを選択します。
4. ネスティング設定を行います。
5. 通常のコピーの場合と同様に、[コピー] タブや [セットアップ] タブの設定 ([原稿のタイプ]、[マージン]、[メディア プロファイル] など) を指定します。または、コピーするファイルを印刷リストから選択します。

複数のコピーを出力する以下のいずれかの機能でネスティング方法を指定します。

[コピー] タブ -> [部数] を1より大きい値に設定。

[印刷] タブから複数のファイル/セットを印刷。

6. [コピー] ボタン  (ファイルから印刷する場合は [ファ

イルから印刷] ボタン  ) を押して、ネスティングされたコピーを出力します。

複数のセット (数枚の部数で複数部単位コピーを実施した場合) で印刷する場合、それぞれの部数毎に、メディアの幅の分まで複数のコピーを並べるようにネスティングして印刷します。同一のコピーを部数の数だけネスティングして印刷するものではありません。メディアの幅に収まらなかったコピーは次の印刷行から開始され、そこから新たにネスティングして印刷するようになります。





## HP Designjet スキャナ

使用方法...



問題の解決...



詳細...



アルファベット索引



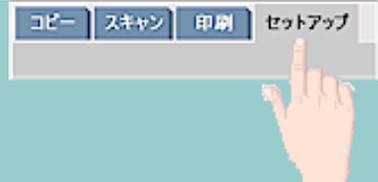
HP Designjet Online



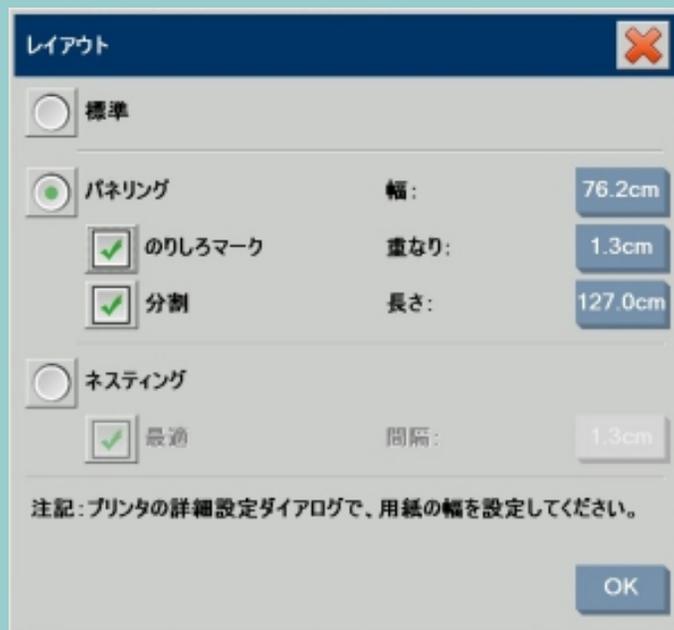
## パネリング

### パネリングを使用するには...

1. [セットアップ] タブを選択します。



2. [レイアウト] ボタンを選択して、[レイアウト] ダイアログを表示します。



3. [パネリング] オプションを選択します。
4. パネリング設定を行います。イメージ全体の長さと同じ長さのセクションを貼り合わせるのではなく、各セクションの長さを指定して複数の短いセクションを縦に組み合わせるには、[分割] オプションを選択します。各設定の詳細については、「[パネリングと分割のオプションについて](#)」を参照してください。
5. [コピー] タブの [出力サイズ] に大きい値を指定します。[出力サイズ] の値には、最終的なサイズ、つまりパネルを組み合わせた全体イメージのサイズを指定します。
6. 通常のコピーの場合と同様に、[コピー] タブと [セットアップ] タブの設定 ([原稿のタイプ]、[入力サイズ]、[出力サイズ]、[マージン]、[部数]、[メディア プロファイル] など) を指定します。

7. [コピー] ボタン  (ファイルから印刷する場合は [ファイルから印刷] ボタン  ) を押して、パネルを出力します。

注記：[セットアップ] タブの [マージン] 設定は、パネルを組み合わせた全体のイメージに適用され、個別のパネルには適用されません。パネリングは、「スキャンして印刷」コピーと [印刷] タブを使用した「ファイルから印刷」コピーの両方で使用できます。

関連項目：

... [パネリングと分割のオプションについて](#)





## メディア プロファイルの選択

### HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

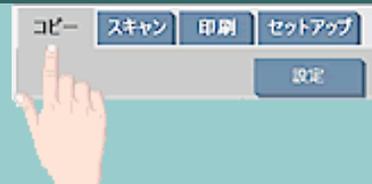
→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

### メディア プロファイルを選択するには...

1. [コピー] タブまたは [セットアップ] タブを選択します。



2. [メディア プロファイル] ボタンを押します。
3. リストからメディア プロファイルを選択します。



注記：一部のプリンタでは、取り付けられているメディアまたは以前に取り付けたことのあるメディアのメディア プロファイルのみが表示されます。

または、以下も参照してください。

...[新しいメディア プロファイルの作成](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## メディア プロファイルの作成

以下の手順を実行する前に、スキャナのカラー キャリブレーションを実行したことで、作成するメディア プロファイルがリストに表示されていないことを確認してください。

注記：一部のプリンタでは、プリンタに実際に取り付けられているメディアのメディア プロファイルしか作成できません。このような標準的なメディア タイプはシステムによって検出され、メディアの名前がメディア プロファイルのリストに表示されます。その中からいずれかを選択し、以下の手順でメディア プロファイルを作成できます。これらのプリンタでは、メディア プロファイルの名前を付けたり名前を変更することはできません。

### 新しいメディア プロファイルを作成するには...

1. [セットアップ] タブを押します。

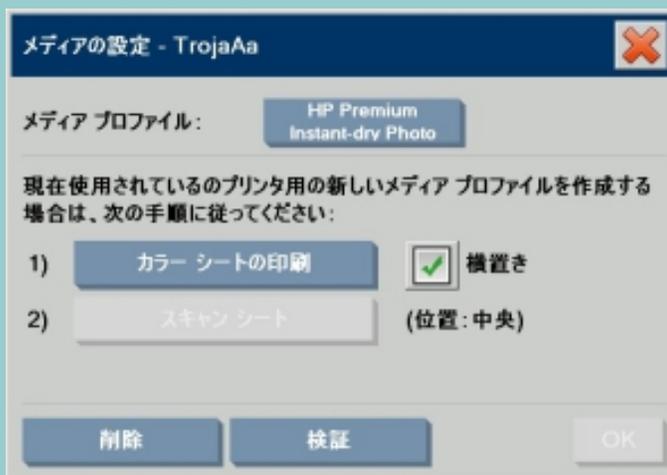


2. [メディア プロファイル] ボタンを選択して、[ツール] ボタン



を選択します。

または、[プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [メディア プロファイル] を選択します。

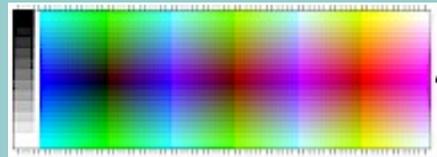


注記：一部のプリンタでは、[RIPのキャリブレーション] オプションをダイアログの最初の段階で使用できます。この機能を使用するには、ボタンを押して画面の指示に従います。

3. [カラー シートの印刷] ボタンを押して、カラー パッチ リファレンスシートを印刷します。

(注記：一部のプリンタでは、カラー シートの前に特殊なテストシートが出力されます。このテストシートは使用しません。カラー シートのみを使用します。下図のようなカラー シートが印刷

されます。)



4. 印刷面を下向きにして、シートの矢印をスキャナの中心矢印に揃えて、カラー シートをスキャナに取り付けます。
5. [メディアの名前とシートのスキャン] ボタンを押して、新しいメディア ファイルの名前を指定します。注記：一部のプリンタでは標準的なメディア タイプに応じた標準的なメディア プロファイル名が使用されます。ユーザが独自の名前を選択することはできません。このようなプリンタが接続されている場合は、[メディアの名前とシートのスキャン] ボタンは表示されません。
6. 入力 ボタンを押して新しい名前を適用し、カラー シートのスキャンを開始します。

メディア プロファイルがアクティブになり、使用可能なメディア プロファイルのリストに表示されます。

[削除] ボタンを使用してメディア プロファイルを削除できます。ただしユーザが作成したプロファイルのみが削除できます。

[名前の変更] ボタンを使用してメディア プロファイルの名前を変更することもできます。

注記：一部のプリンタでは、標準的なメディア タイプに応じた標準的なメディア プロファイル名が使用されます。このようなプリンタを使用している場合、このダイアログの [名前の変更] ボタンは使用できません。

[検証] ボタンを使用して、使用しているスキャナとプリンタの組み合わせでメディア プロファイルが有効であるかどうかを確認できます。





## HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)



[問題の解決...](#)



[詳細...](#)



[アルファベット索引](#)



[HP Designjet Online](#)



## 問題の解決

[< ヘルプの最初のページに戻る](#)

1. [スキャナの問題](#)  
(スキャナのランプが点滅している)
1. [ソフトウェア システム エラーの問題](#)  
(コピー ソフトウェア、システム、オンライン ヘルプ、エラー コード)
1. [タッチ スクリーンの問題](#)
1. [印刷と印刷内容の問題](#)

### スキャナの問題

トピックを選択してください...

[...診断ランプが点滅している](#)

[...待機ランプが点滅している](#)

[...待機ランプと診断ランプが点滅している](#)

[...スキャナに警告メッセージが表示される](#)

### ソフトウェア システム エラーの問題

トピックを選択してください...

[...スキャナが見つからない](#)

[...印刷エラー メッセージが表示される](#)

[...スキャナ システムが起動しない](#)

[...表示言語が正しくない](#)

## 印刷と印刷内容の問題

トピックを選択してください...

[...イメージが印刷されず、ジョブがキューで保留される](#)

[...イメージの一部が印刷されない](#)

[...ネスティングでの余白](#)



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## 診断ランプが点滅している

### HP Designjet スキャナ

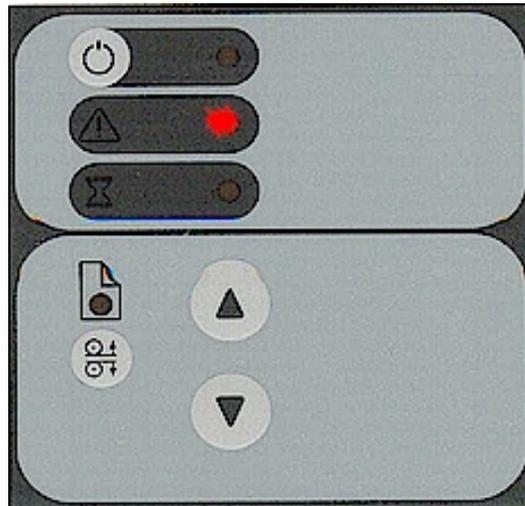
→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)



### 診断ランプが点滅している場合...

内蔵の診断機能によってエラーが検出されました。

1. スキャン領域をクリーニングする必要があります。クリーニング手順については、以下を参照してください。

...[保守手順 \(クリーニング、キャリブレーション\)](#)

2. 保守作業後も診断ランプが点滅する場合は、カメラの位置が正しくない可能性があります。関連項目 :

...[HPカスタマ・ケアについて](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## 待機ランプと診断ランプが点滅している

## HP Designjet スキャナ

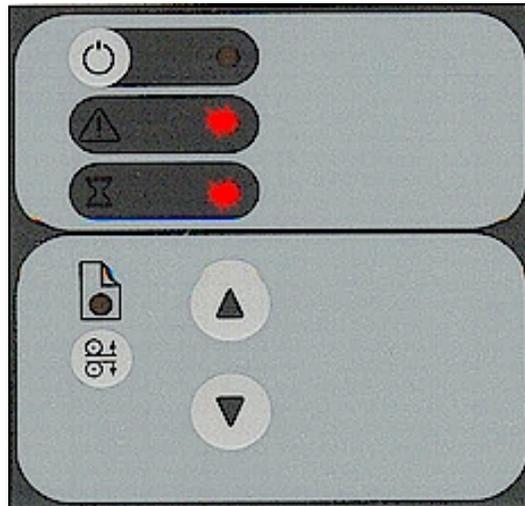
→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)



## 待機ランプと診断ランプが点滅している場合...

「診断」ランプと「待機 (ウォームアップ)」ランプの両方が同時に点滅している場合は、スキャン領域をクリーニングする必要があることを示しています。

1. クリーニング手順については、以下を参照してください。

...[保守手順 \(クリーニング、キャリブレーション\)](#)

2. クリーニング後にスキャナを再起動してください。

クリーニングおよび再起動後も診断ランプと待機ランプが点滅する場合は、カメラの位置が正しくない可能性があります。関連項目 :

...[HPカスタマ・ケアについて](#)



→ [印刷手順](#)

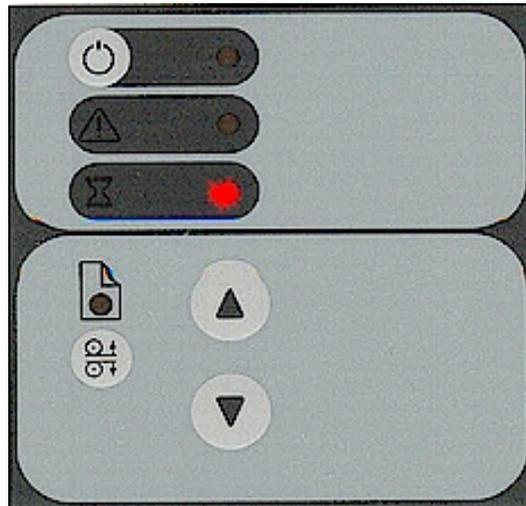
→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## 待機ランプが点滅している

## HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)
[問題の解決...](#)
[詳細...](#)
[アルファベット索引](#)
[HP Designjet Online](#)


## 待機ランプが点滅している場合...

待機ランプが点滅していて診断ランプが消灯している場合、再調節が必要ですが実行できない状態にあります。

1. スキャナに取りつけられている原稿を取り除いてください。
2. 原稿の圧力プラテンを標準位置に戻します（この状態でスキャンを実行することもできますが、品質が低下します）。

調節可能になると、待機ランプが点滅しなくなります。ただし、自動調節が完了するまで点灯した状態になります。


[印刷手順](#)
[法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## スキャナが見つからない

### HP Designjetスキャナ

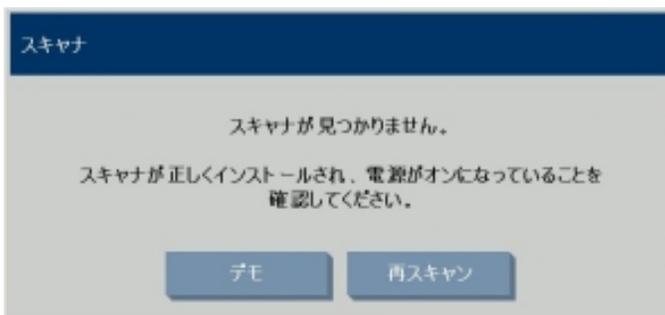
[使用方法...](#)

[問題の解決...](#)

[詳細...](#)

[アルファベット索引](#)

[HP Designjet Online](#)



### スキャナが見つからない場合...

1. スキャナの電源がオンになっていることを確認します。
2. スキャナとタッチ スクリーン間のIEEE1394 (FireWire) ケーブルが正しく差し込まれていることを確認します。
3. FireWireケーブルを取り外して再び挿入すると、スキャナとの通信を回復できる場合があります。
4. [再スキャン] ボタンを押します。



[印刷手順](#)

[法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## タッチ スクリーンの問題

### タッチ スクリーンのボタン (画面) を押しても反応が鈍い場合...

タッチ スクリーンを調整し直す必要があります。

1. [セットアップ] タブ -> [オプション] ボタン -> [システム] ボタン を押します。
2. [画面のキャリブレーション] ボタンを押します。
3. 画面の指示に従います。ここでは画面上の数箇所をタッチする操作を行います。

スキャナ システムを操作するときと同じ姿勢でタッチ スクリーンのキャリブレーションを実行してください。これは、タッチ スクリーンを使用する角度がパフォーマンスに影響を与えることがあるためです。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company

**HP Designjet スキャナ**[使用方法...](#)[問題の解決...](#)[詳細...](#)[アルファベット索引](#)[HP Designjet Online](#)**イメージの一部が印刷されない****イメージの一部が印刷されない場合...**

イメージの一部が印刷されず、エラーメッセージも表示されない場合は、コピー システム ソフトウェアでプリンタの正しいメディア幅を設定したことを確認してください。関連項目：

...[プリンタのメディア幅の設定](#)

イメージの一部が印刷されず、エラーメッセージも表示されない場合は、次の1つまたは両方を確認します。

コピー システム ソフトウェアでプリンタの正しいメディア幅が設定されているかを確認してください。

...[プリンタのメディア幅の設定](#) およびプリンタのマニュアルの手順を参照してください。

[セットアップ] タブ -> [マージン] ダイアログで [マージン] を設定できます。システムでは、定義したマージンのサイズでイメージが切り取られます。切り取りを行わない場合は、これらをゼロに設定し、切り取りなしで出力にマージンを追加するには、[外部マージン] オプションを使用します。[外部マージン] は、設定した出力サイズに追加され、それによって最終結果が拡張します。

関連項目：手順については、...[出力マージンの設定](#) を参照してください。

[印刷手順](#)[法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## スキャナ システムが起動しない

### HP Designjetス キャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

### スキャナ システムが起動しない場合...

タッチ スクリーンの電源をオンにしてもスキャナ システムが起動しない場合は、スキャナに付属の『システム修復CD-ROM』を使用してシステムを修復する必要があります。関連項目：

...[スキャナ システムの修復](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## 印刷エラー メッセージが表示される

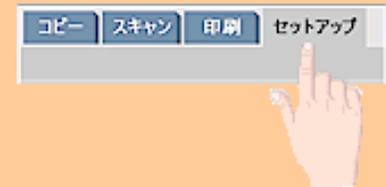
## HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)[問題の解決...](#)[詳細...](#)[アルファベット索引](#)[HP Designjet Online](#)

## 印刷エラー メッセージが表示された場合...

プリンタを検出できません。

1. [セットアップ] タブを選択して、[プリンタ] ボタンにプリンタが表示されていることを確認します。表示されていない場合は、以下を参照してください。

[...スキャナ システム ソフトウェアでのプリンタの設定](#)

2. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。
3. プリンタがネットワークに接続されているか、または (IEEE1394 (FireWire) またはUSB経由で) パネルPCに直接接続されていることを確認します。詳細については「[プリンタの設置とプリンタ ドライバのインストール](#)」を参照してください。
4. プリンタ ジョブがキューで保留されていないことを確認します。保留されている場合は、その問題を解決します。詳細については「[イメージが印刷されず、ジョブがキューで保留される](#)」を参照してください。

[印刷手順](#)[法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjetスキャナ

[使用方法...](#)

[問題の解決...](#)

[詳細...](#)

[アルファベット索引](#)

[HP Designjet Online](#)

## 詳細...

[< ヘルプの最初のページに戻る](#)

1. [スキャナの情報について](#)  
(保守、オペレータ パネルなど)
1. [HP Designjetスキャナ ソフトウェアについて](#)  
(機能、ユーザ インタフェース、インタフェース オプション、アカウントリング、WIDEsystemなど)

### [コピーおよびレイアウトの機能とオプションについて](#)

(テンプレート、マージン、ネスティング/分割、プレビュー、リストなど)

1. [メディアについて](#)  
(原稿のオフセット、厚い原稿のコピー、用紙サイズ、RIPキャリブレーションなど)

### [HP Designjetスキャナのサポートについて](#)

( hp デザインジェット オンライン、hpカスタマ・ケア)

## スキャナの情報について

トピックを選択してください...

[...スキャナのオペレータ パネルとランプ](#)

[...スキャナの保守](#)

[...スキャナの挿入スロット](#)

[...スキャン時の修正係数](#)

[...スキャン オプションと設定](#)

## HP Designjetスキャナ ソフトウェアについて

トピックを選択してください...

[...HP Designjetスキャナ ソフトウェア](#)

[...スキャナ ソフトウェアのユーザ インタフェース](#)

[...スキャン オプション](#)

[...ユーザ インタフェース オプション](#)

[...アカウントिंग](#)

[...WIDEsystem](#)

[...スキャナ メッセージ](#)

[...\[サービス\] ボタン](#)

## コピーおよびレイアウトの機能とオプションについて

トピックを選択してください...

[...サイズ設定](#)

[...原稿のタイプのテンプレート](#)

[...品質設定](#)

[...出力マージン](#)

[...プリンタのマージン -> \[Clip contents by printer's margins\] オプション](#)

[...スキャナ設定オプション](#)

[...パネリングと分割のオプション](#)

[...ネスティング](#)

[...プレビューと用紙フレーム](#)

[...印刷リスト](#)

### メディアについて

トピックを選択してください...

[...厚い原稿のコピー](#)

[...用紙サイズ](#)

### HP Designjet スキャナのサポートについて

トピックを選択してください...

[...HPカスタマ・ケア](#)

[...HP Designjet onlineについて](#)





## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## スキャナの保守

埃が付かないようにすることで保守時間を削減できます。ご使用にならないときは、ビニール製のダストカバーをかけてください。



**注意：スキャナダストカバーを使用する場合は、スキャナの電源がオフになっていることを確認してください。**

保守については、以下を参照してください。

...[概要](#)

...[保守が必要な理由](#)

...[保守の実行頻度](#)

### 概要

高品質/高精度を維持するためには、スキャナのキャリブレーションを定期的に行う必要があります。スキャナのキャリブレーションを定期的に行うことで、高価なメディアを無駄にしなくて済むようになります。

キャリブレーションとは、規格に合った状態で動作するようにスキャナデバイスを正確な色状態に設定する処理です。スキャナをANSI IT8カラー規格でキャリブレーションすれば、スキャンしたANSI IT8リファレンスカラーパッチ (IT8キャリブレーションリファレンスシートに印刷されている) とスキャナのカラーリファレンス値の色の違いを最小限に抑えることができます。

キャリブレーションウィザードでは、sRGBまたはNTSCカラースペースを選択できます。sRGB規格を使用すれば、タッチスクリーン、スキャナ、およびプリンタ間で最適なカラーマッチングを得ることができます。

### 保守が必要な理由

スキャナをキャリブレーションすることで、カラー出力の安定性と再現性を高め、予想通りの出力を得ることができます。スキャナの光源や他の部品は、時間の経過とともに変化します。これは、スキャナの色や直線性の認識精度に影響を与えます。キャリブレーションを実行しなかった場合、半年後の出力結果は、現在のものとは異なり明らかに不正確な出力結果を招くこととなります。一部の白黒スキャナは基本的なキャリブレーションをサポートしています。基本的なキャリブレーションを行うことで、埃やごみなどによる影響を低減して、安定した正確なスキャン結果を得ることができます。高解像度でスキャンしている場合は、僅かな埃でさえも不要なしみの原因となることがあります。キャリブレーションを実行することで、このようなごみなどによる影響を低減して、常に正確なスキャンを実行できるようになります。

計画的な予防保守をすることにより、製品の使用期間中、信頼性のある正確な性能を保証することができます。

### 保守の実行頻度

スキャナ キャリブレーションは月に1回実施することをお勧めします。

スキャナのキャリブレーションを定期的に（月に1回）実行することで、作成したすべてのファイルが同じカラー キャリブレーションの結果に基づいて処理されることとなります。このため、予想通りの出力結果を確実に得ることができ、正しい結果を得るために試行錯誤を繰り返して時間やコストを無駄にする必要がなくなります。

スキャナのカラー キャリブレーションは定期的に実行する必要があります。新しいメディア プロファイルを作成する直前にクローズ ループ キャリブレーションを使用して実行することをお勧めします。スキャナのキャリブレーションは、カラー マッチング プロセスを正しく機能させるために重要です。

ランプの交換を推奨するメッセージは、スキャナ ランプをオンにしてから4000時間以上経過すると表示されます。

通常の使用条件下（1日8時間、1年で250日ランプをオンにする）では、スキャナの保守が必要になるまでに約2年かかります。スキャナを集中的に使用する場合、保守サービスが必要になる頻度も多くなります。

保守を推奨するメッセージが表示された場合は、スキャナのいくつかの部品が寿命に達しており、それらを交換する必要があります。ユーザ自身で交換できる部品には、ランプ、エア フィルタ、カバー裏の白いプラテン、およびガラス プラテンがあります。詳細については、「[スキャナの部品交換](#)」を参照してください。

または、以下も参照してください。

[保守手順 \(クリーニング、キャリブレーション\)](#)





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## 原稿のタイプのテンプレートについて

原稿のタイプのテンプレートには、コピーまたはスキャンそれぞれにメソッドと関連する設定項目が含まれています。これにより、対象となる原稿で最高の結果を得ることができます。カラー コピー、白黒コピー、またはスキャンしてファイルに保存のいずれを選択したかによって、テンプレートに関連する設定項目が決まります。

HP Designjet スキャナ ソフトウェアには、ほとんどの作業に対応した標準的な原稿のタイプのテンプレートと最適なデフォルト値が用意されています。たとえば、通常ブローシャには写真とテキストが混在していて、地図は線で構成されています。

使用可能なテンプレートについては、以下を選択してください...

...[カラー コピー/スキャンのテンプレート](#)

...[白黒コピー/スキャンのテンプレート](#)

...[原稿のテンプレートの設定について](#)

標準の原稿のタイプのテンプレートを多少調節したり、独自のテンプレートを作成する場合は、以下を参照してください。

...[原稿のテンプレートを定義するには](#)

### カラー コピー/スキャンのテンプレート

テンプレート	概要
フォト	写真とポスター
CAD	非常に細かいCAD図面
ブローシャ	写真とテキストを含んでいる原稿
マップ	地図や非常に細かいグラフィック

### 白黒コピー/スキャンのテンプレート

テンプレート	概要
フォト	グレーの階調を大量に含んでいる写真イメージ
青焼き	テキストと背景がはっきりしない原稿。イメージの背景に含まれているノイズの階調とイメージ データを構成している階調が似ていて区別するのが困難である場合
セピア	青焼きと同様、テキストと背景がはっきりしないセピア調の原稿
CAD (描画/イメージ)	非常に細かいCAD図面
CAD (描画)	非常に細かいCAD線画
マップ	地図や非常に細かいグラフィック

## 原稿のテンプレートの設定について

### メソッド

[メソッド] は、スキャナのイメージ キャプチャ/デジタイズ方法に適用されます。組み込まれている原稿のタイプの設定テンプレートの [メソッド] のデフォルト設定は、その対象である原稿の種類に最適に設定されているため、変更しないでください。[メソッド] は白黒コピーにのみ適用されます。

選択した原稿のタイプに最適のメソッドが、[メソッド] ボタンに表示されます。メソッドは変更できますが、通常はそのまま使用することをお勧めします。メソッドを変更するにはボタンを押します。以下のオプションが使用可能になります。

[グレートーン]：複雑な白黒イメージを高品質で再現します。

[スレッシュホールド]：描画や線画に使用します。しきい値を使用して、ピクセルを黒にするか白にするかを指定できます。

[アダプティブ]：コントラストがあまりない、扱いの難しい描画に使用します。セピアや青焼きのような低コントラストの描画の明暗がはっきりわかるようにします。

### 明るさ

この設定は、[スキャン] タブから直接設定できます。[明るさ] のデフォルト値は0に設定されていて、この値はほとんどの原稿に適しています。この値を変更して、コピーを明るく (正の値) または暗く (負の値) して、不鮮明またはかすれた原稿を補正することができます。

### 鮮やかさ

[鮮やかさ] は、色の彩度、つまり色の強さを表します。[鮮やかさ] の

値を大きくすると、[鮮やかさ] の値が小さい同じ色に比べて色の彩度が強くなります。正の値を指定すると彩度が高くなり、負の値を指定すると彩度が低くなります。

### 赤、緑、青

イメージのキャプチャ中にコピーのカラー バランスを調節できます。赤、緑、青の3つの明度は、それぞれ個別に調節できます。色の量の変更は、色全体のバランスに影響を与えます。通常、3つの明度を同じレベルにすると最適な結果が得られます。プレビューでさまざまな効果を試してください。

色の全体量を減らす場合は負の値を選択し、増やす場合は正の値を選択します。

### 黒レベルと白レベル

[黒レベル] は、暗いグレートーンを完全な黒に変更するのに使用します。

たとえば、テキストと図が混在するブローシャをコピーしている場合、テキストは、黒に見えるが実際には暗いグレートーンである色にデジタル化されます。プリンタはこのグレートーン データを処理する際に、原稿のテキストをハーフトーン パターンで印刷します。つまり、黒の塗りつぶしではなく、まばらなドットで印刷します。

[黒レベル] の値を増やすことで、テキストを完全な黒でコピーして、はっきりと表示することができます。

グレーだけではなく他の暗い色も黒に変換されて小さな暗い点が現れることがあるため、[黒レベル] オプションは注意して使用してください。

[白レベル] は、バックグラウンドが完全な白ではない原稿で使用します。バックグラウンドを完全な白にする場合は、[白レベル] の値を大きくします。[黒レベル] の場合と同様、[白レベル] も注意して使用する必要があります。他の明るい色に影響が出る可能性があるためです。

[黒レベル] と [白レベル] はどちらもしきい値として機能します。つまり、この値より小さいまたはこの値より大きいピクセルが設定の影響を受けます。しきい値は、0~255の明るさの値で決定します。[黒レベル] のデフォルト値は0で、[白レベル] のデフォルト値は0です。

例：

原稿のコピーが完了し、テキストをより黒くし、背景をより白くして品質を向上させるとします。

1. この場合、[黒レベル] の値をデフォルト値の0から大きくします (たとえば25にします)。これで、明るさの値が小さいピクセルは黒になります。
1. [白レベル] の値をデフォルト値の0から大きくします (たとえば25にします)。これで、明るさの値が大きいピクセルは白になります。

[シャープ/ぼかし] オプションにより、線をシャープにすることができます。シャープ機能は、イメージのエッジを識別して彩度を高めます。

## シャープ/ぼかし

ぼかし機能は、色を合成して、イメージをキャプチャする際の不要なノイズを排除します。多くのイメージがディザを使用して作成されています。ディザは、原稿の各色を表すのに使用しますが、これにより不要なノイズがイメージに現れるようになります。ぼかし機能により、不要な中間色が排除され、色の変化が滑らかになります。白黒コピーでは、ぼかし機能によりシャープな中間階調が排除され、グレーのディザが滑らかになります。

ぼかし機能はシャープ機能の逆の機能ではありません。シャープ機能はイメージの端にだけ適用され、ぼかし機能は色またはグレートーン領域全体に適用され、それらを滑らかにします。

ヒント：シャープ機能とぼかし機能を一緒に使用すると、イメージ品質が向上します。まず、ぼかし機能を使ってイメージのノイズを排除し、その後シャープ機能でイメージをシャープにします。

## グレーを強調させる

[グレーを強調させる] は、原稿のタイプの設定がカラーの場合に使用できます。[詳細] ボタンを押すと設定画面が表示されます。彩度の低い原稿から作成されたコピーまたは印刷の彩度を下げる場合は、[グレーを強調させる] オプションをオンにします。

## 描画の最適化

[描画の最適化] は、原稿のタイプの設定がカラーの場合でも白黒の場合でも使用できます。原稿のタイプの設定がカラーの場合は、[詳細] ボタンを押すと設定画面が表示されます。

テキストや描画をコピーする場合は、このオプションを設定することをお勧めします。エッジが明確でシャープになるように出力が最適化されます。写真を出力する場合は、帯状の線が入ることがあるため、この設定をアクティブにすることはお勧めしません。

## 高精細

[高精細] は、原稿のタイプの設定がカラーの場合でも白黒の場合でも使用できます。原稿のタイプの設定がカラーの場合は、[詳細] ボタンを押すと設定画面が表示されます。

[高精細] を設定すると、詳細なグラフィックスを鮮明に出力できます。地図やCAD図面のような細かい部分を多数含む原稿の場合は、[高精細] をアクティブにすることをお勧めします。写真を出力する場合は、カラー マッチングとグレートーン出力に悪影響を及ぼすことがあるため、この設定はお勧めしません。

## 黒インクのみ

[黒インクのみ] は、原稿のタイプの設定が白黒の場合に使用できます。[黒インクのみ] を使用すると、完全に自然なグレートーン出力を作成できます。[黒インクのみ] でグレートーンを作成すると、照明条件にあま

り左右されずに見ることのできる印刷結果が得られます。[黒インクのみ] をオンにすると、カラー インクも使用した通常のグレートーン出力よりも粒子が粗くなりますので注意してください。

注記：利用できるオプションは、プリンタ モデルにより異なります。





## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## HP designjetスキャナ ソフトウェアについて

このアプリケーションでは、スキャナとプリンタをコントロールして、大判コピーを出力することができます。スキャナ ソフトウェアは、鮮やかで高品質なカラー コピーを容易に作成することのできるツールで、白黒コピーにも対応できるようにスキャナにはモノクロ拡張機能も備えています。

### スキャナ ソフトウェアの主な機能...

コピー設定は、テンプレートとプリセットに保存されます。アプリケーションには、さまざまな原稿の種類に対応した標準テンプレートが用意されています。これらの標準テンプレートにより、ほとんどのコピー ニーズに対応できます。出力カラー品質は、スキャナ、プリンタ、および出力メディアのカラー特性の組み合わせによって決定されます。これらの要素は、メディア プロファイルとしてシステムに保存されます。

一般的な大判プリンタとメディアに適した、標準のメディア プロファイルがアプリケーションに含まれています。プリンタとメディアを選択するだけで、メディア プロファイル パラメータが自動的に有効になります。

また、特殊なプリンタや印刷メディア用に独自のメディア プロファイルを作成したり、RTLを使用して、プリンタで定義されているContex RIPレンダリングのインク レベルやグレー バランスを設定できます。

白黒レベル、カラー バランス、シャープ、ぼかし、鮮やかさ、明るさなどの高度な階調調節機能を使用して、カラー原稿をコピーします。

コピーを実行する前にイメージ品質をコントロール可能なオンスクリーン プレビューを確認することができます。

ユーザ アカウントまたは課金用アカウントごとにコピー回数や用紙の使用量を追跡可能なアカウントティング機能を備えています。

[スキャンしてファイルに保存] および [ファイルから印刷] オプションを使用して、2つの手順でコピーを実行できます。

高度なレイアウト オプション - 大判イメージ セクションを組み合わせることで巨大なポスターを作成可能なパネル機能と、高価な印刷メディアを経済的に使用するためのネスティング機能を備えています。

2台のプリンタで同時に印刷できるため、時間を大幅に節約できます。[プリンタのセットアップ] オプションで [同期プリンタ] の設定を行い、印刷します。

イメージ フィルタのプレビュー - スキャナ ソフトウェアに読み込まれたコピーのプレビューでは、分割画面で変更前と変更後の効果を表示しながら、プライマリ イメージ設定 (原

稿のタイプのテンプレート パラメータ) を調節できます。原稿のタイプのテンプレートの編集を選択すると、分割画面とイメージ フィルタ プレビュー モードが有効になります。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ 詳細...

→ アルファベット索引

→ HP Designjet Online

## ユーザ インタフェースについて

詳細...

...[イメージ表示セクションの構成要素...](#)

...[イメージ制御セクションのタブ...](#)

...[値と名前の入力](#)

または、以下も参照してください。

...[スキャン オプションについて](#)

...[ユーザ インタフェース オプションについて](#)

...[スキャナのオペレータ パネルとランプ](#)

### イメージ表示セクションの構成要素..

イメージ ツールバー - セクション上部にあり、イメージの移動、用紙フレームの移動とサイズ変更、アライメント/ズーム用のツールが含まれています。

プレビュー ウィンドウ - 出力結果のオンスクリーン プレビューと調節を行います。

関連項目 :

...[プレビュー ツールの使い方](#)

### イメージ制御セクションのタブ...

[コピー] - 主なコピー設定が含まれています。ユーザが一般的なコピー作業を実施するのに十分なオプションが含まれています。

[スキャン] - コピーではなく、スキャン結果をファイルに出力する際に使用するスキャン設定が含まれています。

[印刷] - 保存したイメージ ファイルを印刷する際に使用する設定が含まれています。

[セットアップ] - 頻繁に変更する可能性があるプリンタ、スキャナ、およびジョブ アカウンティングの設定が含まれています。

### 値と名前の入力

スキャナソフトウェアのいくつかのダイアログとオプションフィールドでは、値やテキストの入力が求められます。特に、プリセットをカスタマイズしたり新規作成する際には入力操作が伴います。

スキャナ本体は、テキストを入力する実際のキーボードを備えています。また、スキャナソフトウェアは、オプションの設定で値データを入力する必要がある場合にタッチスクリーンインタフェースに表示される、オンスクリーン値キーボードを備えています。

Enterキーを押すと、設定が決定され、前のダイアログに戻ります。





## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## スキャナオペレータパネルとランプ



スキャナオペレータパネル(上図)は、2つの主な部分に分かれています。

...[スキャナ制御領域](#)：電源ボタン、電源ランプ、診断ランプ、待機ランプがあるところです。

...[用紙制御領域](#)：用紙セット完了ランプ、ATAC(厚さ自動調節)ボタン、用紙送り/戻し(矢印)ボタンがあるところです。

以下に、スキャナの動作に関連したパネルのランプのさまざまな点灯の仕方とその意味について説明します。

### スキャナ制御領域

スキャナの電源を入れる - 初めて使用する場合はハードの電源をオンにします。



スキャナの背面にある電源ケーブルをコンセントに差し込み、背面の電源スイッチをオンにしてください。スキャナのセルフテスト処理が始まり、初期化シーケンスが開始されます(下記参照)。

### 初期化シーケンス (起動フェーズ1)



スキャナの背面にある電源スイッチをオンしてハードの電源を入れた場合、スキャナの初期化シーケンスが実行されます。上の図のように、すべてのLEDが点灯します。

パネル入力は無効になるため、スキャンを開始することはできません。

注記：以下の「ソフト電源キーでのオン/オフ」に記載されているようにスキャナのソフト電源キーを押して電源を入れた場合 (LEDが赤色から緑色に変化)、スキャナはこの初期化シーケンスを省略し、自動調節 (起動フェーズ3、下記参照) を直接開始します。

### 初期化シーケンスの終了 (起動フェーズ2)



初期化シーケンスの終了が近づくと、上図のように電源LEDが緑色に変わります。その他のLEDは変わりません。この時点から、スキャナが自動調節 (起動フェーズ3) を開始します。

ソフト電源キーでのオン/オフ - 通常は電源キーを使用して電源をオン/オフにします (電源ケーブルの側のスイッチは常時オンにしておきます)。



電源ケーブル側の電源スイッチは常時オンの状態にして、オペレータパネルの電源キーを使用してスキャナの電源を制御します。電源キーを押して、電源のオン/オフを切り替えます。この状態を、ソフト電源オン/オフモードと呼びます。

電源LEDは、スキャナをオンにすると緑色で点灯し、オフにすると赤色で点灯します。この方法でスキャナをオンにした場合、以下で説明する自動調節モード（起動フェーズ3）が開始されます。

ソフト電源オン/オフモードでは、WIDEsystemのタイマーを使用して、スキャナの電源を自動的にオンにしたりオフにしたりすることができます。[手順についてはこちらを参照してください。](#)

#### 自動調節 (起動フェーズ3)



ハードの電源をオンにした場合は、初期化シーケンスが完了すると、電源LED（緑）と待機LED（黄色）は点灯したままで、残りのLEDは消灯します。この状態になった場合、スキャナのランププロファイル、ステッチング、および白黒ポイントの自動調節が実行されていることを示します。

ソフト電源キーで電源をオンにした場合は、電源LEDが緑色に、待機LEDが黄色になり、残りのLEDは消灯します。この状態になった場合、スキャナの自動調節が実行され、ウォームアップとランププロファイル、ステッチング、および白黒ポイントの調節が行われていることを示します。

最適な状態を保つために、数時間ごとに新しい自動調節処理が実行されます（この際、待機LEDは点灯しません）。

待機インジケータが点滅している場合は、自動調節が必要なのに実行できない状態になっていることを示します（下記参照）。

#### スキャナの準備完了 (起動フェーズ4)



待機LEDが消灯し、電源LEDのみが緑色で点灯している場合は、自動調節が完了し、いつでもスキャンできる状態になったことを示します。

電源LEDが緑色で点滅



WIDSystemで定義された電源オフ時間になり、スキャナの電源が自動的にオフになる場合、その前に電源LEDが緑色で点滅します。

スキャナを使用している最中のため電源オフをキャンセルしたい場合は、LEDが点滅しなくなるまで電源キーを押します。

WIDSystemのタイマー設定は、いつでも無効にしたり変更することができます ([手順はこちらを参照](#))。

待機LEDが点滅 - 必要時に自動調節が実行不可



待機LEDが点滅 (診断LEDは消灯したままで) している場合は、スキャナの自動調節が必要にもかかわらず実行できない状態になっていることを示します。自動調節は、システム内部を最適で安定した状態に保つために必要です。

この問題を解決するには、スキャナから原稿を取り除き、挿入スロットを[標準位置に設定する](#) (厚い原稿の設定を元に戻す) 必要があります。自動調節が再開可能になると、待機LEDの点滅が止まり、自動調節が完了するまで点灯したままの状態になります。自動調節の実行中はスキャナを操作しないでください。

キャリブレーション中 - 待機  
LEDが点灯



これは正常な状態です。キャリブレーション中は待機LEDが点灯し、処理中の原稿を取り除いたり動かしたりしてはいけないことを示します。基本キャリブレーション中は、いかなるパネル入力もできません。

診断LEDが点滅 - セルフテスト中にエラーを検出



診断LEDは、スキャナのセルフテストの結果ステータスを示します。診断LEDが点滅しない場合は、スキャナのセルフテスト処理でエラーは検出されなかったことを示します。

診断LEDが点滅している場合は、セルフテスト中にエラーが検出されました。WIDESystemを開いて ([セットアップ] タブ -> [オプション] -> [システム] -> [WIDESystem])、[ステータス] タブでエラーの詳細情報を確認します。

診断LEDと待機LEDの両方が  
点滅 - 要保守



診断LEDと待機LEDの両方が同時に点滅している場合は、スキャン領域のクリーニングとカメラのキャリブレーションを行う必要があります。詳細については「[保守手順 \(クリーニング、キャリブレーション\)](#)」を参照してください。

スキャナの保守を実行した後も診断LEDと待機LEDが点滅している場合は、カメラの位置が正しくない可能性があります。この場合は、サービス技術スタッフに連絡する必要があります。

## 用紙制御領域

### 用紙送り/戻しキー



用紙送りキーを押すと、取り付けた原稿がスキャン開始位置に送られます。

[自動取りつけ] を適用している場合は、原稿を挿入スロットに入れるとキーを押さなくても自動的に取り付けられます。

[手動取りつけ] または [自動取りつけ] の選択方法については、「[スキャナ設定オプションの定義](#)」を参照してください。

スキャン中に用紙送りキーを押すとスキャン処理が停止し、キーを押している間原稿が送られます。

用紙戻しキーを押すと現在のスキャン処理が停止し、原稿が戻ります。キーを押している間は、原稿が逆方向に送られます。

スキャナがATAC (厚さ自動調節) モードになっている場合、用紙送り/戻しキーは「圧力プラテンを上方向に移動」/「圧力プラテンを下方向に移動」キーになります (下記参照)。

用紙セット完了LEDが緑色で点灯 - 標準的な原稿での作業を開始可能



標準的な厚さの原稿を挿入スロットに正しく取り付けると、用紙セット完了LEDが緑色で点灯します。原稿がスキャン開始位置に送られる時点でも緑色で点灯しています。

この時点で、スキャンをコンピュータから制御できるようになります。

用紙セット完了LEDが黄色で  
点滅 - スキャナがATACモー  
ドにある場合



ATAC キー  を押すと、スキャナがATAC (厚さ自動調節) モードになります。用紙セット完了LEDが黄色で点滅し、ATACモードであることを示します。

用紙送り/戻しキーは、「圧力プラテンを上方向に移動」/「圧力プラテンを下方向に移動」キーになります。ATAC機能を使用して厚い原稿に対処する方法については、「[挿入スロットの高さの変更 \(厚い原稿\)](#)



」を参照してください。

用紙セット完了LEDが黄色で  
点灯 - 厚い原稿での作業を開  
始可能



厚い原稿をスキャンする準備が完了すると、用紙セット完了LEDが黄色で点灯します。圧力プラテンが下がり、原稿がスキャナの正しい位置に取り付けられます。

スキャナのATACモードは自動的に解除されます。用紙送り/戻しキーは通常の機能に戻り、厚い原稿を送ったり戻したりできるようになります。

コピー操作をパネルから開始できます。

用紙セット完了LEDが点滅  
(緑色または黄色) - 原稿をス  
キャン中



スキャン中は用紙セット完了LEDが点滅します。

スキャンが完了すると、用紙セット完了LEDの点滅が止まります。点滅が止まったらコンピュータからスキャン操作を再度実行できます。スキャン作業を終了する場合は、原稿をスキャナから取り除きます。

上記の動作は、薄い原稿をスキャンする場合 (緑点で点滅) も厚い原稿をスキャンする場合 (黄色で点滅) も変わりません。

用紙セット完了LEDが赤色で  
点灯 - 厚い原稿が検出されな  
い



用紙セット完了インジケータが赤色で点灯する場合は、スキャナが厚い原稿用の設定になっている (圧力プラテンが上がっている) のに原稿が検出されないことを示します。





## スキャナの挿入スロットについて

### HP Designjetスキャナ

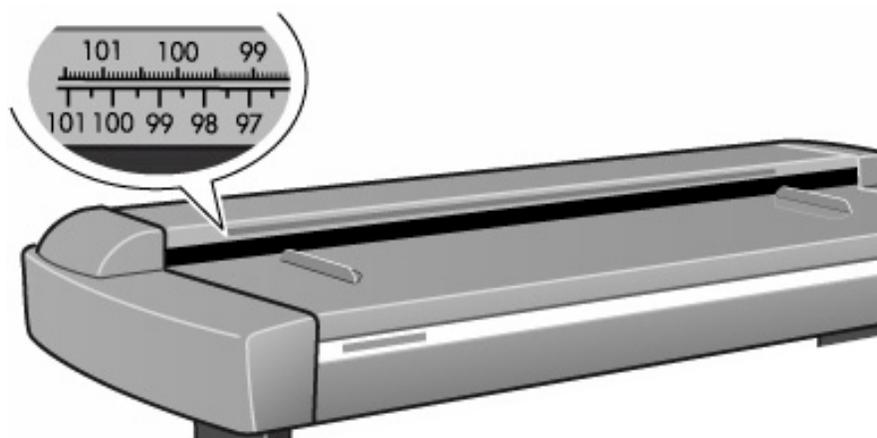
→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)



### スキャナの挿入スロットについて...

HP Designjetスキャナでは、挿入スロットの高さを変更して通常よりも厚い原稿をコピーできるようになっています。ATAC (厚さ自動調節) を使用すると、挿入スロットの高さを2～16mm (0.08～0.63インチ) に変更できます。

原稿は常に中央に揃えて取り付けます。原稿の挿入スロットには、原稿の長さを測るルーラが付いています。ルーラの下には一般的な標準サイズを示すマークと中央を示す矢印があり、用紙を取り付ける際に参照できます。

スキャン領域の幅は、アプリケーションで設定します。

原稿の取り付けに必要な作業として、原稿をスキャナに挿入し、挿入スロットの上に付いているルーラや標準サイズを示すマークで幅の値を読み取り、パネル アプリケーションの入力サイズの設定ダイアログの [幅] 設定ボックスに値を入力します。挿入スロットの高さの変更方法については、以下を参照してください。

...[挿入スロットの高さの変更 \(厚い原稿\)](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

使用方法...



問題の解決...



詳細...



アルファベット索引



HP Designjet Online



## 厚い原稿のコピー

厚い原稿をコピーする際には、以下のことに注意してください。

...[厚い原稿用の位置](#)

...[スティッチング パラメータの変更](#)

...[端の歪の処理](#)

...[厚い原稿の支持](#)

または、以下も参照してください。

...[厚い原稿をコピーするには](#)

...[スキャナの挿入スロットについて](#)

### 厚い原稿用の位置

スキャナのランプ プロファイルやスティッチングなどの自動調節は、挿入スロットが「標準」位置になっている場合だけ実行されます。「標準以上の厚さがある原稿」位置の場合は、最後に実行した自動調節が保存されて使用されます。つまり、自動調節が行われるようにするには、スキャンを実行するたび (特にスキャナの電源をオンにした場合) に「標準」位置に戻す必要があります。

また、「標準」位置にすると、スキャン速度が最も速くなります。「標準以上の厚さがある原稿」位置の場合、スキャン速度は自動的に遅くなります。関連項目：

...[挿入スロットの高さの変更 \(厚い原稿\)](#)

### スティッチング パラメータの変更

硬く厚い原稿は、スキャナのローラーの上に載るため、ガラス プレート上の距離が多少増え、2つのカメラの中間位置でのイメージのスティッチング (オーバーラップ ピクセル) が変わります。これを修正するには、スティッチング パラメータを変更する必要があります。スティッチング パラメータは、[スキャナの設定] ダイアログで変更できます。それには、[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [スキャン中] -> [スキャナ] -> [セットアップ] -> [標準以上の厚さ] タブの順に選択します。

### 端の歪の処理

厚い原稿をスキャンすると、先端が出口のローラーに当たったときと後端が入口のローラーを離れたときに歪が発生します。歪が発生しないように、いずれかの「標準以上の厚さがある原稿」位置の場合にはデフォルトで先端と後端がスキップされます (スキャナ カバーが持ち上がった状態)。

### 厚い原稿の支持

「標準以上の厚さがある原稿」位置で厚い原稿のスキャンを実行するには、原稿を中央揃えで挿入し、スキャン中に原稿を支える必要があります。特にスキヤナの入口と出口の両方で原稿を支える必要があります。厚い原稿のスキャンを大量に実行する場合は、専用のサポート テーブルをスキヤナの背面に取り付けて下さい。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## サイズ設定について

トピックを選択してください...

... [概要](#)

... [サイズ オプション - 関係](#)

... [\[入力サイズ\]/\[出力サイズ\] 設定](#)

... [サイズ プリセットの使用](#)

### 概要

原稿のスキャンと出力されるコピーのサイズは、[入力サイズ]、[出力サイズ]、[倍率] 設定によって決定されます。3つの設定は相互に関連していて、1つ設定を変更すると他の設定の値も自動的に調節されます。標準およびカスタム サイズが含まれているリストからサイズの値を選択できます。[入力サイズ] は、スキャナに自動的に検出させることもできます。この機能は、サイズがすぐに分からない場合に便利です。スキャナソフトウェアは、入力サイズと出力サイズが異なる場合イメージの縦横比を常に維持します。

通常、[入力サイズ] には原稿の入力サイズを設定しますが、小さいサイズを指定して選択した部分をコピーすることもできます。[出力サイズ] 設定または [倍率] を使用して、原稿の拡大/縮小コピーを作成したり、等倍コピーを作成できます。

### サイズ オプション - 関係

[入力サイズ]、[出力サイズ]、[倍率] の値は相互に関連していて、1つを変更すると他の値が自動的に調節されます。

サイズ値を初めて設定した場合、または [リセット] を押した直後には、以下ようになります。

[入力サイズ] を変更すると [出力サイズ] が調節される  
 [出力サイズ] を変更すると [倍率] が調節される  
 [倍率] を変更すると [出力サイズ] が調節される

入力サイズに [幅を自動的に検出] および [長さを自動的に検出] を使用し、出力に指定したサイズを使用することもできます。この場合、最初のプレビューが原稿の入力サイズを検出するまで [倍率] 設定は [自動] に設定され、正しい倍率が計算されます。

注記：スキャナソフトウェアは、入力サイズと出力サイズが異なる場合にはイメージの縦横比を常に維持します。

サイズ値は、プレビュー ツール内の [用紙フレームのサイズ変更] ツールの [用紙フレーム] を調節した場合も変更されます。

## [入力サイズ]/[出力サイズ] 設定

[入力サイズ] 設定は、スキャナの前稿を取り込む範囲を決定します。  
[入力サイズ] 設定を使用して、前稿の選択した部分を取り込み、前稿の特定部分の詳細コピーを作成できます。また、コピー全体をプリンタに出力する前に、問題になりそうな部分のテスト印刷ができます。

[出力サイズ] 設定は、印刷結果を表します。等倍コピーを作成するには、[出力サイズ] と [入力サイズ] に前稿のサイズを指定するか、一方に前稿のサイズを指定して、倍率を100%に設定します。前稿を拡大する場合は、入力サイズよりも大きい値を出力サイズに指定します。縮小する場合は、出力サイズよりも大きい値を入力サイズに指定します。拡大縮小は、倍率でも操作できます。

## サイズ プリセットの使用

スキャナ ソフトウェアに用意されているさまざまな標準の規格用紙サイズにより、ほとんどの前稿サイズおよびコピー サイズに対応できます。ただし、場合によっては、特殊サイズのコピーを作成したり、規格とは異なる定形サイズの前稿を使用しなければならないこともあります。このような場合は、サイズ プリセットに特殊サイズを保存して、必要時に呼び出せるようにすることで時間を節約できます。

サイズ プリセットを作成すると、[入力サイズ プリセット] と [出力サイズ プリセット] の両方のリストで使用できるようになります。これは、プリセット サイズのリストが両方のオプションで共有されるためです。また、新しいサイズ プリセットは、[入力サイズ] ダイアログと [出力サイズ] ダイアログの両方で作成でき、どちらの場合も全く同じ結果になります。つまり、アプリケーションの規格用紙サイズのリスト中に、新たに設定した用紙サイズが加わります。





## HP Designjet ス キャナ

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ 詳細...

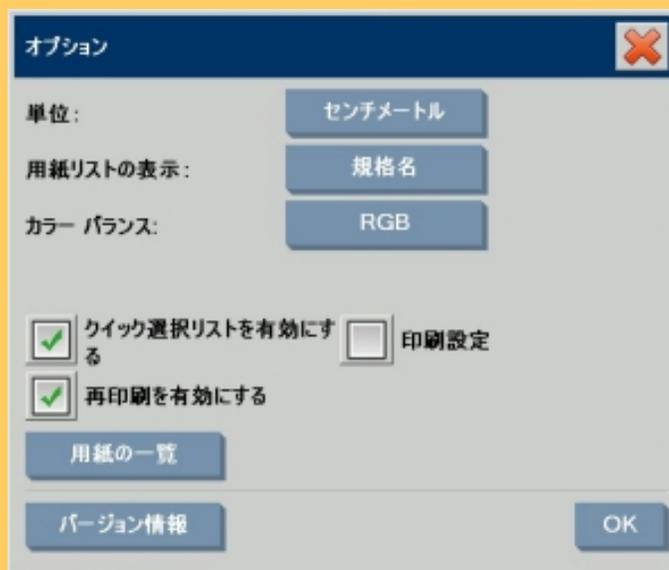
→ アルファベット索引

→ HP Designjet Online

## ユーザ インタフェース オプション

### ユーザ インタフェース オプション

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [一般設定] を押して、以下のダイアログを表示します。



詳細...

...[単位](#)

...[用紙リストの表示](#)

...[カラー バランス](#)

...[クイック選択リストを有効にする](#)

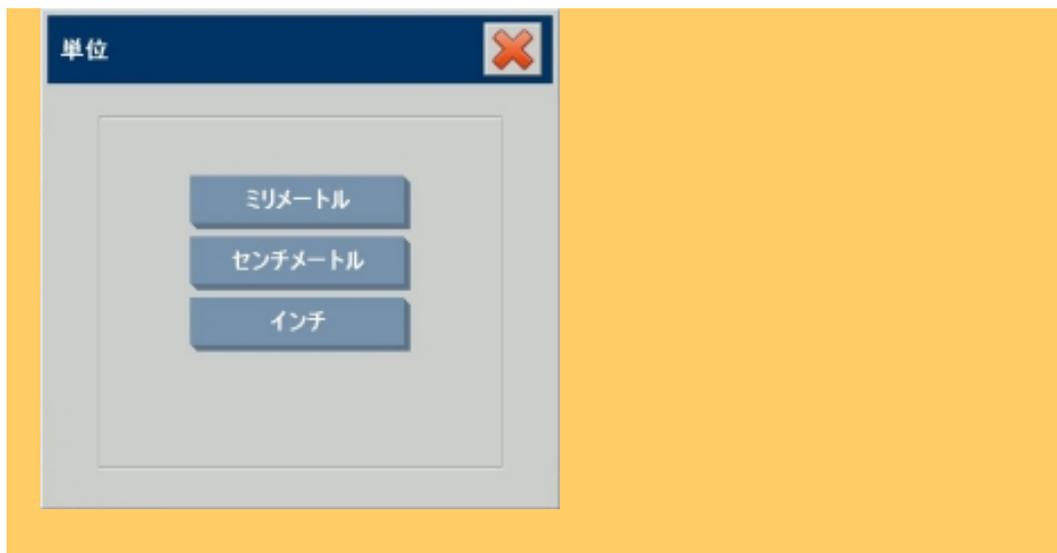
...[印刷設定](#)

...[再印刷を有効にする](#)

...[用紙の一覧](#)

### 単位

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [一般設定] -> [単位]  
寸法単位 (ミリメートル、センチメートル、インチ) を選択できます。



### カラー バランス

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [一般設定] -> [カラー バランス]

[原稿のタイプ] オプションを設定するときに、色の値をCMY (シアン、マゼンタ、イエロー) またはRGB (赤、緑、青) のどちらで表示するかを指定します。

### 用紙リストの表示

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [一般設定] -> [用紙リストの表示]

用紙サイズを規格名 (A4、B3など) または寸法のどちらで表示するかを指定します。

### クイック選択リストを有効にする

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [一般設定] -> [クイック選択リストを有効にする]

このオプションは、[原稿のタイプ]、[入力サイズ]、[出力サイズ]、[倍率]、[プリンタ]、[アカウンティング]、[スキャナ] を設定する際のインタフェースの動作を決定します。このオプションはデフォルトで設定されています。デフォルトでは、ダイアログの順序は、まずユーザが使いやすいリスト ダイアログにアクセスして、そこから [ツール] ボタン



を押して特定の [セットアップ] ダイアログを選択するという形になっています。

クイック選択リストの選択を解除すると、順序は上記の逆になります。インタフェースに特定の [セットアップ] ダイアログが表示され、そこから現在の定義済みの標準値が表示されるリスト ダイアログを表示して、オプションを選択します。

スキャナ ソフトウェアを、標準のカスタマイズされた定義済みオプション値で基本的を使用する場合は、このオプションを選択したままにします。各コピー ジョブであらかじめ定義されているリストよりも、特定の

サイズに調節、設定を行うことが多い場合には、オプションをオフにしておきます。

以下に、[クイック選択リストを有効にする] オプションを選択した状態と選択していない状態の [入力サイズ] ボタンの動作を示します ([クイック選択リストを有効にする] がオンの状態 (上の図)、[クイック選択リストを有効にする] がオフの状態 (下の図))。[クイック選択リストを有効にする] がオンの場合 [入力サイズ] ダイアログの [ツール] ボタンを押すと [入力サイズの設定] ダイアログが表示されます。



## 印刷設定

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [一般設定] -> [印刷設定]  
このオプションをオンにすると、コピーとともにすべての設定の情報が出力されます。

### 再印刷を有効にする

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [一般設定] -> [再印刷を有効にする]

[コピー] タブから [コピー設定] ダイアログ ボックスの [再印刷] ボタンで再印刷の有効/無効を切り替えることができます。[再印刷を有効にする] オプションを選択して、[コピー] タブ -> [設定] -> [再印刷] オプション ボタンを選択すると、最後に印刷したイメージが再印刷されます。この機能は、追加コピーが必要になった際に便利です。

### 用紙の一覧

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [一般設定] -> [用紙の一覧]  
入力サイズまたは出力サイズを設定するときにはサイズ プリセットのリスト (サイズ オプション ダイアログ) に表示される、サイズ プリセットのタイプを指定できます。[用紙の一覧] オプションを押すと用紙シリーズのリスト (ANSI、ARCH.....) が表示されます。サイズ オプション ダイアログに表示させる用紙シリーズをすべて選択します (マークを付ける)。サイズ ダイアログに、標準サイズ以外にも[カスタムメディア サイズ プリセット](#)を表示させるには、「カスタム」シリーズを選択してください。





## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## コピー品質設定について

コピーの場合、品質にスキャン品質と印刷品質があり、別々に設定できません。スキャンしてファイルに保存する場合は、スキャン解像度のみを設定できます。

ここで説明する品質設定は、  
[コピー] タブ -> [品質] ボタンおよび [スキャン] タブ -> [スキャン解像度] ボタンから設定できます。



### スキャン品質と印刷品質の設定...

スキャナの品質とプリンタの品質は別々に設定できます。

#### スキャン品質

スキャナの場合、スキャン解像度はdpi (1インチあたりのドット数) 単位で設定します。

[自動] を選択すると、dpiは原稿のタイプに応じて設定されます。

自分でdpiの値を設定するには、[自動] のチェックを解除して [スキャン解像度] ボタンを押します。

[デスクリーン] をオンにすると、スキャナの光学的解像度でスキャンが行われ、データは補間されずにソフトウェアに転送されます。設定されたdpiまたは品質への変換が、最適な形でソフトウェアに

よって実行されます。ラスト原稿の場合、これで優れた品質が得られます。スキャン速度は低下します。

ターボ：[スキャン解像度] に値を設定するか、[自動] を選択してから、[ターボ] を選択します。このオプションを選択すると、イメージの品質が低下する代わりにスキャン速度が基本的に2倍になります。ターボ解像度処理では、[スキャン解像度] または [自動] オプションで設定されたとおりのイメージ解像度を達成するため、用紙の移動が高速化され、取り込んだスキャン データがスキャン方向に縮小され、最後に再サンプリングされます。解像度が300dpi未満の場合、ターボ モードの効果はありません。

### 印刷品質

[高速]、[標準]、[高品質] から選択します。





## HP Designjet スキャナ

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ 詳細...

→ アルファベット索引

→ HP Designjet Online

## スキャナ設定オプション

トピックを選択してください...

...[厚い原稿の処理設定](#)

...[原稿の取り付け](#)

...[スキャン時の修正係数](#)

### 厚い原稿の処理設定

[厚い原稿の処理設定を使用する]

厚い原稿をスキャンした場合、原稿の上端と下端にスキャナのローラが当たる為、スキャン結果が歪むことがあります。端の歪みを解消する方法として、スキャナに上端と下端をスキップさせることができます。スキャナにある原稿の高さ設定が拡張位置になっているときのデフォルトは、このスキップが有効になっています。両端のスキップを有効/無効にするには、[厚い原稿の処理設定を使用する] チェックボックスを使用します。

### 原稿の取り付け

原稿は、常にスキャナの中央にセットしてください。挿入領域の中央を示すマークの矢印に、原稿の中央を合わせます。標準サイズ (A4、A3、Eサイズなど) 用のマークが付いているので、取り付ける際の目印にできます。

[手動取りつけ]/[自動取りつけ]

手動取りつけでは、原稿をスロットに挿入し、スキャナのボタンを押します。

自動取りつけでは、原稿を挿入すると、スキャナが原稿を検出して取りつけます。

「[スキャナ設定オプションの定義](#)」を参照してください。

[遅延時間]

自動取りつけが開始されるまでの時間 (原稿を正しくセットするのに必要な時間) を指定することができます。

「[スキャナ設定オプションの定義](#)」を参照してください。

### スキャン時の修正係数

このオプションにより、スキャナの垂直方向の精度設定を微調整できます。このオプションは、長さの比率を維持する必要がある原稿をコピーする場合に関係します。たとえば、技術図面、地図、一部のポスターなどがこれに該当します。

スキャン中、原稿のイメージはスキャナを通過しているときにデジタル化されます。横方向のイメージはカメラを通過する際に1つずつ処理されます。垂直精度は、この速度の影響を直接受けます。垂直精度が不正確な場合、スキャン イメージの垂直線が原稿よりも長くなったり短くなったりします。垂直スキャンの精度は、スキャナの組み立て時に機械的に調節および設定されます。垂直精度は、ほとんどの状況に十分対応できるように非常に正確に設定されています。

非常に高い精度が必要な場合は、垂直精度を-1%~1%の範囲で変更できます。正の値を指定するとスキャン ラインの間隔が広がり、負の値を指定すると間隔が狭くなります。[スキャナの設定] ダイアログを終了すると、変更値はスキャナの揮発メモリに保存されます。この値を変更するには、設定を再度実行する必要があります。

垂直精度の調節手順としては、精度の原稿をスキャンして、CADまたはGISシステムでイメージ内のポイント間の垂直距離を測定する方法があります。その後、それらの値を、原稿のポイント間の物理的な測定値と比較します。最終結果で使用するスキャン解像度でスキャンする必要があります。





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## 出力マージン

### 出力マージンの設定

適用できる出力マージンには、[マージン] および [外部マージン] の2つがあります。

[マージン] を設定するには、[セットアップ] タブ -> [マージン] を選択して、上、下、左、右の出力マージンの値を定義します。

[マージン] の値は、スキャン領域から差し引かれます。どのようなマージンで印刷されるかは、WYSIWYGなプレビュー ウィンドウに表示されます。

たとえば、原稿のマージンに重なるようにマージンを指定したり、原稿の傷んでいる端を切り取って、コピーしたイメージの周囲に新しい白い余白を付けることができます。指定するマージンの値は用紙幅を超えない範囲で設定でき、設定後のマージンの値はすべてのコピーの標準値として設定されます。

通常は、原稿の端を切り取ることなくイメージ全体を取り込む必要があるため4つのマージン設定の値を0のままにしておきます。マージンを0に設定した場合も、細いフレームによって入力および出力される範囲がWYSIWYGプレビューに表示されます。

[外部マージン] では、[外部マージン] オプションを使用して、エッジが切り取られないマージンを作成できます。[外部マージン] により、定義されたコピーに余白が追加されます。

[マージン] と [外部マージン] を使用して、不要なエッジを切り取り、印刷時に追加マージンを追加できます。

関連項目 : [詳細については、「出力マージンの設定」を参照してください。](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

使用方法...



問題の解決...



詳細...



アルファベット索引



HP Designjet Online



## プリンタ マージンについて

### [Clip contents by printer's margins] オプション

[設定] タブで設定するマージンは、コピーの「出力マージン」で、プリンタ自体にもマージンが生成されます。プリンタのマージンのサイズはプリンタ モデルにより異なり、変更することはできません。プリンタのマージンを最小マージン (余白) として考慮してください。このマージンは、必要、不要に関わらず出力に含まれます。

[セットアップ] -> [マージン] ダイアログ :

マージン

マージン

上: 0.5cm 左: 0.5cm

下: 0.5cm 右: 0.5cm

リンク 外部マージン: 0.0/0.0/0.0/0.0cm

プリンタのマージンによる内容のクリップ

用紙枠を印刷

OK

[Clip contents by printer's margins] オプションは、[マージン] ダイアログ ([セットアップ] タブ -> [マージン]) にあり、これを選択すると制御不可能なマージンを補正できます。このオプションを選択することで、不要なマージンを必要最低限に抑えて用紙を経済的に使用することができます。オプションを選択すると、出力マージンからプリンタのマージンが差し引かれ、合計マージンはコピーで指定した値になります。マージンのない原稿をコピーする場合は、出力マージンも不要であるため、このオプションはオフにします。

オプションを使用するには、プリンタのマニュアルに記載されているプリンタのマージン値を入力する必要があります。そのためには、[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定] ボタンの順に選択します (以下のようなダイアログが表示されます)。プリンタによっては、[自動検出] ボタンを使用してプリンタ マージンの手動設定を不要にすることができます。この場合、プリンタ デバイスの値が設定されます。



以下は、[Clip contents by printer's margins] オプションを使用するためのガイドラインです。

[Clip contents by printer's margins] を選択した場合：

1. プリンタのマージン以上の最小出力マージンを選択します。これを反映するように [セットアップ] タブの [マージン] の値が自動的に更新されます。出力マージンに0またはプリンタのマージン未満の値を指定した場合は、プリンタのマージンが出力マージンとして使用され、この値で [マージン] の値が更新されます。
2. 出力マージンにプリンタのマージンを超える値を指定した場合は、出力マージンからプリンタのマージンが差し引かれます。つまり、スキャナ ソフトウェアは、プリンタ マージンに不足分だけを追加します。これにより合計マージン (用紙の物理的な端から測定したマージン) は、[セットアップ] タブの [マージン] オプションで指定した値になります。
3. 原稿が切り取られる状態は、値が自動的に計算されたかどうかに関わらず、常に [セットアップ] タブの [マージン] ボタンに表示される値で判断できます。実際に切り取られる状態は、WYSIWYGなプレビューに表示されます。

[Clip contents by printer's margins] を選択しなかった場合：

1. 設定した出力マージンは、プリンタのマージンに追加され、用紙の物理的な端の内側から測定したかのように適用されます。
2. プレビューに表示されているように、指定した出力マージンによってだけコピーは切り取られます。

プリンタに手動で挿入した定形サイズの内紙にコピーする場合は、通常、正確なマージンを指定します。ロール紙に印刷する場合は、コピーを切り取る必要があるため、あまり正確さは要求されません。

いくつかの例を示します。

マージンのない原稿の写真をコピーする場合に、出力マージンを0に設定して [Clip contents by printer's margins] オプションをオフにしたとします。この場合、プリンタのマージンによってコピーがオフセットされるため、イメージ全体を印刷するにはロール紙または指定した出

カサイズよりも大きいサイズの用紙に印刷します。

Dサイズのポスターを印刷していて、コピーに必要なマージンが1.5インチでプリンタのマージンが0.5インチであるとしします。そしてポスターを同じDサイズの用紙にコピーするとしします。このとき、[Clip contents by printer's margins] を選択できます。出力マージンを1.5インチに設定します。これで用紙の物理的な端から1.5インチのマージンを得ることができます。[Clip contents by printer's margins] オプションを使用すると、マージンと多少の切り取りが可能なジョブの場合に用紙を節約できます。





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## パネリングと分割のオプション

パネリング機能により、巨大なポスターを作成できます。パネリング機能を使用すれば、幅の広いイメージを「パネル」として印刷し、その後パネルを貼り合わせてイメージを組み立てることができます。[パネリング] オプションにより、プリンタの幅が無制限になります。HP Designjet スキャナ ソフトウェアにより、パネルの端に切り取り線とのりしろマークが正確に印刷されるため、ほとんど継ぎ目が見えない状態で簡単にパネルを貼り合わせることができます。

分割もパネリングの一種ですが、分割では、イメージが水平方向と垂直方向の両方で分割されたパネル セクションを作成することができます。

関連項目 :

...[オプション](#)

...[パネルの組み立て](#)

### オプション

1. [幅] - パネルの幅を設定します。

幅には、重なる領域も含まれます。パネルの幅には、プリンタの印刷可能領域までの値を指定できます。最大サイズのパネルを作成する場合は、パネルの幅にはプリンタの [メディアの幅] ([セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定]) に設定した値からプリンタの左右の余白を引いた値を指定してください。

この値は、プリンタのマニュアルに記載されている印刷可能領域と同じになります。スキャナ ソフトウェアは、最終的なパネルのサイズを計算します。イメージを等しい幅のパネルに分割する場合など、特殊なパネル幅を計算する際には、パネルの重なる領域の余白を追加することを忘れないでください (以下の例を参照)。

2. [重なり] - 重なる領域 (隣り合わせになる2つのパネルで同じイメージ データを含んでいる端) の幅を決定します。

大きくて厚いパネルでは、小さいパネルの場合よりも重なる領域の幅を広くする必要があります。

3. [のりしろマーク] - パネルの端に印刷される小さな灰色の矢印で、パネルを貼り合わせる際のガイド マークとして機能します。

のりしろマークは、大きなコピーでは見づらくなります。このため、サイズによって矢印の大きさが変わります。つまり、重なる幅が大きい場合には、大きな矢印が印刷されます。一番大きい矢印のサイズは1インチ (2.54cm) です。

4. [分割] - パネルの長さを指定します。イメージ全体の長さと同じ

長さのセクションを貼り合わせるのではなく、各セクションの長さを指定して複数の短いセクションを縦に組み合わせるには、[分割] オプションを選択します。

分割されたパネルは水平方向と垂直方向の両方で貼り合わせます。分割機能は、1枚のカット紙に印刷する場合に便利ですが、ロール紙に小さな分割されたパネルを印刷する場合にも使用できます。分割機能をオフにすると、イメージの上端から下端の内容が含まれたパネルが連続的に出力されます。各パネルの長さはイメージと同じになり、パネルは横に貼り合わせるだけになります。

5. [長さ] - 分割を使用する場合に、長さを指定します。

### パネルの組み立て

イメージ全体を完成させるために、分割されたパネルを貼り合わせる必要があります。大きなテーブルがなければ、分割されたパネルは床に正しい順序で並べて貼り合わせます。

[のりしろマーク] オプションを選択した場合は、パネルに以下のガイドマークが印刷されるため作業しやすくなります。

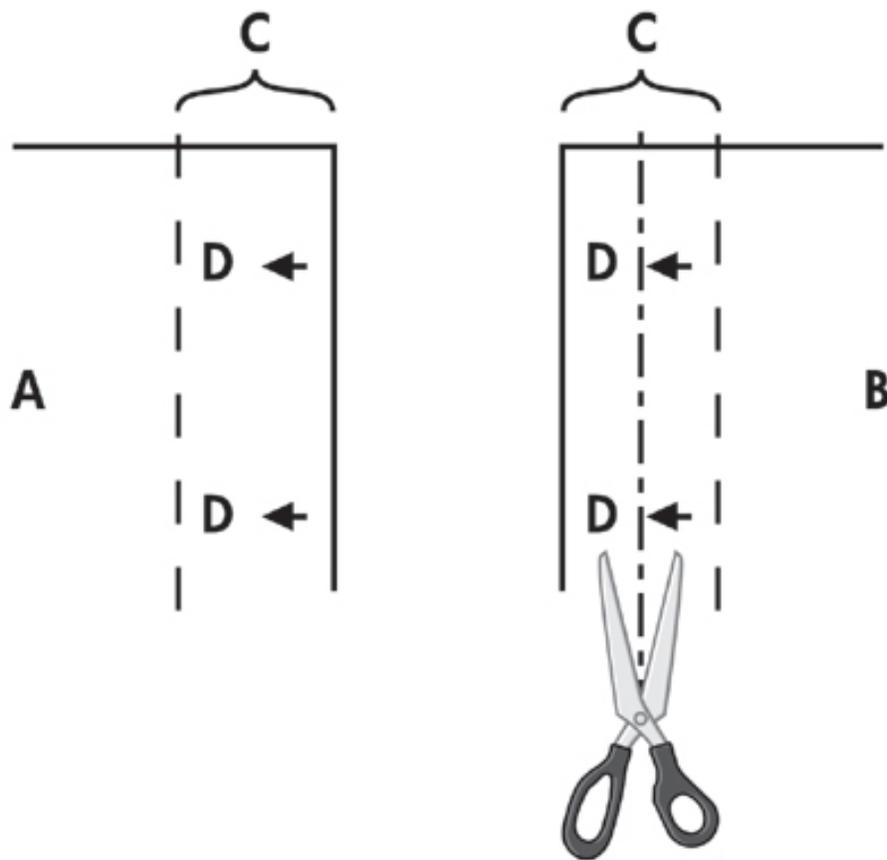
1. 切り取り線 - 線は、右側に位置する (列の最初 (左端) のパネル以外のすべてのパネル) パネルの左側に印刷されます。

ナイフやはさみなどを使用して、線の右側を切ります (線自体を切り取ります)。切り取り線は重なる領域の中央に貼り合わされ、その部分のイメージ データは隣のパネルの重なる領域と同じであるため、多少雑に切っても目立ちません。

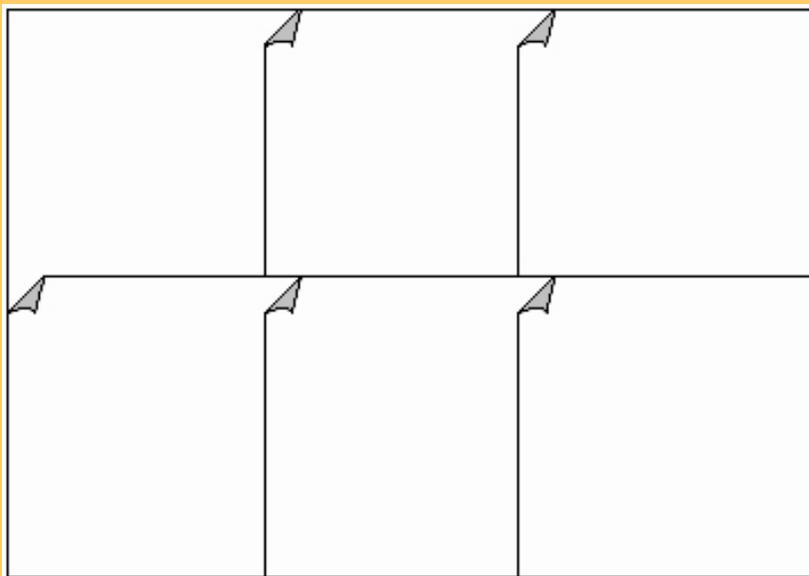
2. のりしろマークの矢印 - 切り取り線で切断したら、右端のパネルを左側のパネルの上に重ねるようにして貼り合わせます。

2番目のパネルが最初のパネルの上に重なり、3番目のパネルが2番目のパネルの上に重ねるように貼り合わせます。のりしろマークの矢印を使用して、パネルを貼り合わせます (以下の図を参照)。

パネルを組み立てる際には、上に重なるパネルに印刷されている矢印を、下になるパネルに印刷されている矢印に重ねます。



[分割] オプションを選択した場合は、垂直方向（下図）と水平方向の両方の接合部に切り取り線とのりしろマーク (D) が印刷されます。右端のパネル (B) が左側のパネル (A) の上になるようにパネルを重ねて貼り合わせます。以下の図で示しているように、ある列の2番目のパネルが最初のパネルの上に重なり、3番目のパネルが2番目のパネルの上に重なるように貼り合わせます。垂直方向を貼り合わせる場合は（分割時のみ）、最初の列を一番下にして、それ以降の列が前の列の上に重なるように貼り合わせます。





→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ 詳細...

→ アルファベット索引

→ HP Designjet Online

## ネスティング

### ネスティング

場合により、A4幅などの比較的小さいコピーを複数作成しなければならないことがあります。通常、大判メディア（ロール紙やカット紙）に幅の狭いコピーを複数印刷する場合、各コピーはメディアの左端から出力されるため、大量のメディアが無駄になります。

ネスティング機能を使用すれば、複数のコピーを横に並べて、ロール紙/カット紙の幅を最適かつ経済的に使用することができます。ネスティングは、数枚のコピーを横に並べることができる場合に、複数のコピー、部単位コピー、およびファイル印刷リストを実行するのに最適な機能です。また、大きい用紙にサムネイルを並べて、一連のイメージの概要を示す場合にも使用できます。

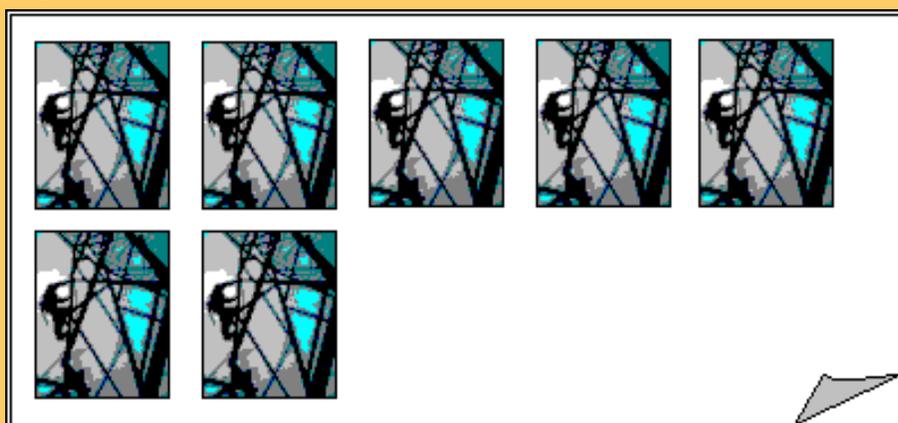
選択できるオプションは次のとおりです。

1. [最適] - スキャナ ソフトウェアにより、最も用紙が無駄にならない最適なネスティング ソリューションが決定されます。

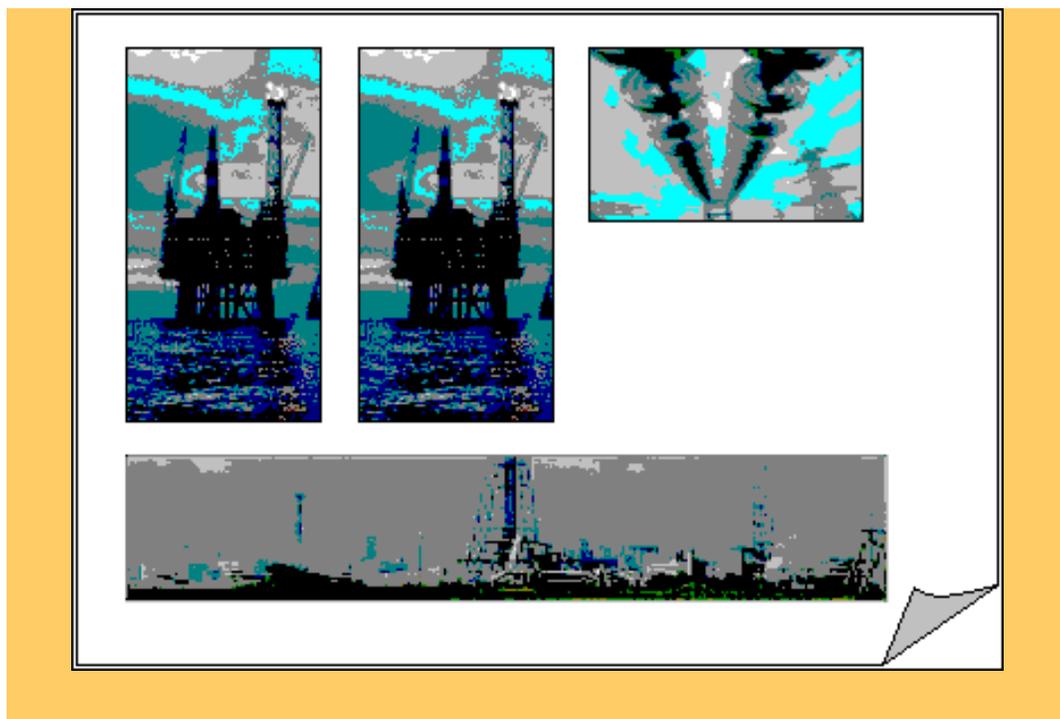
[最適] をオフにすると、コピーは入力した順で横に並べられます。そのため、切り取りやすくなる場合があります。ただし、用紙に無駄ができません。[最適] をオンにすれば常に経済的な結果が得られます。

2. [間隔] - ネスティングした各イメージの最小間隔を決定します。

部数を7に設定([コピー] タブ -> [部数]) して複数のコピーを選択し、その後ネスティング機能を選択した場合を以下に示します。この場合、[最適] をオンまたはオフのどちらにしても同じ結果が得られます。



印刷リスト ([印刷] タブ) から印刷した3つのファイルの最適化されたネスティングを以下に示します。1つのイメージを2部印刷するようにリストで設定されています。最適化されたネスティングでは、ファイルが印刷リストでどのような順番になっているかに関わらず常に最適な結果が得られます。



関連項目：

...[ネスティングを使用するには](#)





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## プレビューと用紙フレーム

### プレビュー...

プレビューの作成は任意に行うことができます。使用している設定が現在の原稿に対して適切であることがわかっている場合は、プレビューを省くことができます。[プレビュー] ボタンはいつでも押すことができ、現在アクティブになっている設定を使用してイメージ全体の最新のプレビューが作成されます。つまり、[コピー] ボタンを押してプリンタに出力する前に、新しい設定を目で確認してから決定もしくは変更することができます。

スキャナ ソフトウェアに読み込まれたコピーのプレビューでは、分割画面で変更前と変更後の効果を表示しながら、プライマリ イメージ設定 ([原稿のタイプ] テンプレート パラメータ) を調節できます。

### 用紙フレーム...

用紙フレームは、コピーされる出力範囲を決定します。用紙フレームのサイズは、[コピー] タブで指定したサイズ設定によって決まります。スキャナ ソフトウェアでは、用紙フレームを直接プレビューに配置できるため、出力範囲を視覚的に設定できます。プレビュー ウィンドウ内の用紙フレームは、以下の2つのことを示します。

1. コピーされる原稿の範囲
2. 印刷時に、マージンによってイメージがどのように切り取られるか

フレームを表示したり使用するには、[プレビュー] ボタンを使用してコピーのプレビューを読み込む必要があります。プレビュー ウィンドウの用紙フレームのサイズと太さは、[入力サイズ]、[出力サイズ]、[マージン] の設定によって決まります。

用紙フレームには、コピーが実際に出力される状態が表示されます (WYSWYG: What You See Is What You Get)。

フレームの外枠は [入力サイズ] 設定によって決まります。フレームの内側には、コピーされる内容が表示されます。

フレームの太さは、コピーのサイズとマージンの関係を視覚的に表し、それによってイメージがどのように切り取られるかを示します。マージンを0に設定しても、取り込む範囲を表すために細いフレームが表示されます。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## 印刷リストについて

### リストの作成と印刷

印刷リストに1つまたは複数のファイルを入れることで、印刷対象ファイルを選択できます。複数選択できるため、就業時間中にコピー用のファイルを作成して、夜間に印刷を実行することができます。各ファイルの出力回数を個別に指定するか、セットの出力回数を指定して（あるいはその両方を組み合わせて）、出力する部数を設定できます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjetス キャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## アカウントティング

アカウントティング機能により、コピー操作の状況を把握することができます。この機能は、コピー費用の記録をとったり、お客様に請求書を発行する際に使用します。アカウントティングでは、システムのスキャン/印刷/コピー回数と用紙使用量に関する情報が記録されます。アカウントティング情報は、単純な形式で保存されるため、スプレッドシートやデータベースに取り込むことができます。

詳細 :

...[アクティブ アカウント](#)

...[合計アカウント](#)

...[アカウントティングの基準](#)

...[アカウントティング ログ ファイル](#)

### アクティブ アカウント

アクティブ アカウントの名前は、[セットアップ] タブの [アカウント] ボタンに表示されます。新しいアカウントを作成した場合には、[コピー] ボタン  または [スキャンしてファイルに保存] ボタン



を押すたびに [アカウント] ダイアログが表示され、アカウントの選択を求められます。アクティブにすることができるアカウントは、合計アカウントを除いて一度に1つだけです。関連項目 :

...[アカウントの作成/削除/無効化](#)

### 合計アカウント

合計アカウントは、システムのすべての操作を記録できるように常時バックグラウンドで実行されます。現在のアクティブ アカウントに登録されている操作は、合計アカウントにも自動的に記録されます。合計アカウントは削除、リセット、または無効にすることはできません。

### アカウントティングの基準

アカウントを更新する操作は、[コピー]、[部単位コピー]、[スキャンしてファイルに保存]、[ファイルから印刷] です。アカウントシステムは、システムがスキャン、印刷、およびコピー（スキャンして直接印刷）する回数を記録します。[スキャンしてファイルに保存] はスキャンフィールドだけを更新し、[ファイルから印刷] は印刷フィールドだけを更新しますが、[コピー] と [部単位コピー] は両方のフィールドを更新します。スキャンおよび印刷操作の平方フィートまたは平方メートルは、入力サイズと出力サイズの設定から計算されます。用紙使用量の計算では、[セットアップ] タブ -> [プリンタ] ボタン [ツール] ボタン -> [詳細設定] ダイアログで設定されているメディアの幅が使用されます。

スキャナ ソフトウェアの動作が [アカウントシステム] フィールドをどのように更新するかを以下の表に示します。

動作	アカウント フィールド					
	ジョブ			面積		
	スキャン	印刷	コピー	スキャン	印刷	用紙
コピー	いいえ	いいえ	有	有	有	有
部単位コピー	有	有	いいえ	有	有	有
スキャンしてファイルに保存	有	いいえ	いいえ	有	いいえ	いいえ
ファイルから印刷	いいえ	有	いいえ	いいえ	有	有

### アカウントシステム ログ ファイル

スキャナ ソフトウェアは、請求システムや会計システムに直接取り込むことが可能な特別なログ ファイルを作成します。アカウントシステム データは、スプレッドシートやデータベースに簡単に取り込めるように複数のファイルで編成されます。

アカウントシステム データ ファイルは、スキャナ ソフトウェア内の Accounting フォルダに保存されます。作成した各アカウントごとに1つのファイルがあります。ファイルには、<アカウント名>.csv という名前が付けられます。これらの.csv ファイルは、メモ帳などの標準的なテキスト エディタで表示でき、一般的なスプレッドシート アプリケーションやデータベース アプリケーションに取り込むことができます。

ログ ファイルは、一行でそれぞれの項目をカンマで区切って構成されています。各行は、1つの操作を表し、各行の項目には操作中に記録された値が含まれています。新しい行が作成される操作は、[コピー]、[部単位コピー]、[スキャンしてファイルに保存]、[ファイルから印刷] です。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## ネスティングでの余白

### HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

### ネスティングで余白が多すぎる場合...

ネスティングを使用していて、イメージをもう1つ印刷できるような余白ができた場合には、コピー システム ソフトウェアでプリンタのメディア幅を設定したことを確認してください。関連項目 :

... [プリンタのメディア幅の設定](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## 用紙サイズ

## HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)
[問題の解決...](#)
[詳細...](#)
[アルファベット索引](#)
[HP Designjet Online](#)

分類：下記の表から用紙のサイズを調べることができます。

[...シリーズ順](#)
[...面積の順](#)

## シリーズ順

シリーズ	名前	サイズ インチ	サイズ mm	面積 平方インチ	面積 平方mm	縦横 比	メガピクセル 300dpi
ANSI	A	8.5×11	216×279	93.5	60322	1.29	8.03
ANSI	B	11×17	279×432	187.0	120645	1.55	16.05
ANSI	C	17×22	432×559	374.0	241290	1.29	32.10
ANSI	D	22×34	559×864	748.0	482580	1.55	64.20
ANSI	E	34×44	864×1118	1496.0	965159	1.29	128.40
ARCH	A	9×12	229×305	108.0	69677	1.33	9.27
ARCH	B	12×18	305×457	216.0	139355	1.50	18.54
ARCH	C	18×24	457×610	432.0	278709	1.33	37.08
ARCH	D	24×36	610×914	864.0	557418	1.50	74.16
ARCH	E	36×48	914×1219	1728.0	1114836	1.33	148.32
ARCH	F	30×42	762×1067	1260.0	812902	1.40	108.15
ISO A (JIS A)	A4	8.3×11.7	210×297	96.7	62370	1.41	8.30
ISO A (JIS A)	A3	11.7×16.5	297×420	193.3	124740	1.41	16.60

ISO A (JIS A)	A2	16.5×23.4	420×594	386.7	249480	1.41	33.19
ISO A (JIS A)	A1	23.4×33.1	594×841	774.3	499554	1.42	66.46
ISO A (JIS A)	A0	33.1×46.8	841×1189	1549.9	999949	1.41	133.03
ISO B	B4	9.8×13.9	250×353	136.8	88250	1.41	11.74
ISO B	B3	13.9×19.7	353×500	273.6	176500	1.42	23.48
ISO B	B2	19.7×27.8	500×707	547.9	353500	1.41	47.03
ISO B	B1	27.8×39.4	707×1000	1095.9	707000	1.41	94.06

## 面積の順

シリーズ	名前	サイズ インチ	サイズ mm	面積 平方インチ	面積 平方mm	縦横 比
ANSI	A	8.5×11	216×279	93.5	60322	1.29
ISO A (JIS A)	A4	8.3×11.7	210×297	96.7	62370	1.41
ARCH	A	9×12	229×305	108.0	69677	1.33
ISO B	B4	9.8×13.9	250×353	136.8	88250	1.41
ANSI	B	11×17	279×432	187.0	120645	1.55
ISO A (JIS A)	A3	11.7×16.5	297×420	193.3	124740	1.41
ARCH	B	12×18	305×457	216.0	139355	1.50
ISO B	B3	13.9×19.7	353×500	273.6	176500	1.42
ANSI	C	17×22	432×559	374.0	241290	1.29

ISO A (JIS A)	A2	16.5×23.4	420×594	386.7	249480	1.41
ARCH	C	18×24	457×610	432.0	278709	1.33
ISO B	B2	19.7×27.8	500×707	547.9	353500	1.41
ANSI	D	22×34	559×864	748.0	482580	1.55
ISO A (JIS A)	A1	23.4×33.1	594×841	774.3	499554	1.42
ARCH	D	24×36	610×914	864.0	557418	1.50
ISO B	B1	27.8×39.4	707×1000	1095.9	707000	1.41
ARCH	F	30×42	762×1067	1260.0	812902	1.40
ANSI	E	34×44	864×1118	1496.0	965159	1.29
ISO A (JIS A)	A0	33.1×46.8	841×1189	1549.9	999949	1.41
ARCH	E	36×48	914×1219	1728.0	1114836	1.33





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## HP Designjet Onlineについて

HP Designjet Onlineは、無料でご登録いただけるHP DesignjetユーザーのためのWebベースの「ユーザ コミュニティ サイト」です。ご登録いただくと、皆様のお役に立つサービスに無制限にアクセスできます。このサイトは販売目的ではなく、ユーザーの皆様のお役に立つことを目的としています。

- 必要な時に、いつでも弊社にお問い合わせください。
- 次のサイトでご登録ください。

<http://www.designjet.hp.com>

### HPからユーザーの皆様へのコミュニケーション（一部のサービスは英語版のみとなっておりますのでご了承ください）

世界中から集めた、使用の際のヒント、技術的な解説、HP Designjetアプリケーションの使用例などを掲載したニュースレターを4半期毎に更新。

世界中のhpカスタマ・ケアのお問い合わせ先の一覧。

HP Designjetを診断し、トラブルを解決するための情報をオンラインにて提供。

HP Designjet関連のイベントおよび予定のカレンダー。

オンラインによるトレーニング ビデオとユーザ マニュアルの提供。

新製品情報の速報。

### さらに...

ユーザ同士のコミュニケーションとしては、HP Designjetの活用例を投稿して賞品を獲得したり、ユーザ同士が製品の使用について経験したことを共有しアドバイスを受けることができる会議フォーラムに参加したりして、情報の交換をすることができます。

HP Designjet onlineは、日本語、英語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、台湾語でご覧いただけます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## HPカスタマ・ケアについて

弊社は、お客様のビジネスにおいて信頼のおけるサポート パートナーとして、責任を持ってお客様のお手伝いをさせていただきたいと考えております。HPカスタマ・ケアは、HP Designjet スキャナの性能を十分に活かし、安心してご使用いただくために、優れたサポートを提供いたしております。

HPカスタマ・ケアは、さまざまな信頼のおけるサポート内容をお客様に提供し、常に新しい技術により他には類を見ないきめ細かなサポートを提供します。HPカスタマ・ケアでは、オンサイト サポートからオンライン ユーザ フォーラムに至るさまざまなサービスを提供しているため、印刷ソリューションの生産性を大幅に向上させることができます。HPカスタマ・ケアの詳細については、弊社Webページをご覧ください。

<http://japan.support.hp.com/support>

### お問い合わせになる前に

1. 「問題の解決...」を確認してください。
2. 他のユーザ マニュアルを参照してください。
3. それでも問題が解決しない場合は、スキャナに付属の小冊子『HP サポート サービス』を参照してください。トラブルを解決するためのサービスが、わかりやすいリストになって記載されています。
4. 日本HPカスタマ・ケア・センタにお問い合わせの際は、お客様のご質問により迅速にお答えできるよう、下記の事項をご確認ください。
  1. ご使用のスキャナ ソフトウェアのバージョンとスキャナのファームウェア バージョンと日付。この情報は、[セットアップ] タブから [オプション] -> [一般設定] -> [バージョン情報] を押すと確認できます。
  1. ご使用のスキャナ (スキャナの背面に記載されている製品番号とシリアル番号)。
  1. ご使用のスキャナで使用しているプリンタ (プリンタの背面に記載されている製品番号とシリアル番号)
  1. ご使用になられているその他のデバイスやソフトウェア (たとえば、スプーラ、ネットワーク、スイッチボックス、モデム、特別なソフトウェアのドライバ)。

1. ご使用のケーブル (製品番号) およびご購入場所。
1. 現在ご使用になられているソフトウェア ドライバとそのバージョン。

[→ 印刷手順](#)[→ 法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## アルファベット索引

HP Designjet ス  
キャナ[使用方法...](#)[問題の解決...](#)[詳細...](#)[アルファベット索引](#)[HP Designjet Online](#)

[あ](#) - [い](#) - [え](#) - [お](#) - [か](#) - [き](#) - [く](#) - [け](#) - [こ](#) - [さ](#) - [し](#) - [す](#) -  
[そ](#) - [た](#) - [ち](#) - [て](#) - [と](#) - [な](#) - [に](#) - [ね](#) - [は](#) - [ひ](#) - [ふ](#) - [ほ](#) -  
[ま](#) - [め](#) - [も](#) - [ゆ](#) - [よ](#) - [ら](#) - [り](#) - [る](#) - [れ](#)

[CMYカラー バランス](#)[Designjet online](#)[FTP/WebDAV](#)[RIPのキャリプレート](#)[SCANdump](#)[WIDEsystem](#)[システムの電源オン/オフ タイマー](#)[概要](#)[WYSIWYG](#)[あ](#)[赤、緑、青 - 原稿のタイプのオプション](#)[アカウントティング](#)[概要](#)[合計アカウントとアクティブ アカウント、概要](#)[削除](#)[新規作成](#)[選択/有効](#)[無効](#)[ログ ファイル](#)[明るさ - 原稿のタイプのオプション](#)[アクセス方法 - 共有ファイル](#)[鮮やかさ - 原稿のタイプのオプション](#)[アダプティブ - メソッド](#)[厚い原稿](#)[厚い原稿の処理設定](#)[概要](#)[コピー](#)

[挿入スロットの高さ](#)

[厚い原稿の処理設定、概要](#)

い

[イメージの一部が印刷されない - 問題](#)

[イメージの概要 - ズーム表示](#)

[イメージの拡大](#)

[\[イメージを移動\] ツール](#)

[インクジェット プリンタの原稿 - コピー設定](#)

[インクジェット プリンタの原稿 - ファイルから印刷する場合の設定](#)

[印刷エラー](#)

[印刷されない一部のイメージ - 問題](#)

[印刷設定 - レポートの印刷](#)

[\[印刷\] タブ](#)

印刷リスト

[印刷リストの管理](#)

[印刷リストの設定](#)

[概要](#)

[削除](#)

[全て選択](#)

[ファイルの表示](#)

[部数 - リスト内](#)

[プロパティ](#)

[インタフェース オプション](#)

え

[エア フィルタ - 交換](#)

お

[オペレータ パネル](#)

か

[解像度 - オンスクリーン プレビュー](#)

[解像度 - スキャンしてファイルに保存](#)

[外部マージン - 設定](#)

[\[拡大\] ツール](#)

[カスタマ・ケア](#)

[カバー裏の白い部分 - 交換](#)

[カラー シートの印刷](#)

[カラー精度 - 最適化](#)

[ガラス プレート - 交換](#)

[環境設定 - スキャナとユーザ インタフェース](#)

[管理者パスワード - 有効/無効](#)

き

[キャリブレーション - スキャナ](#)

[キャリブレーション - タッチスクリーン](#)

[キュー - プリンタ](#)

[キューの表示](#)

キューにジョブが保留される

[共有ファイル - アクセス方法](#)

く

[クイック選択リスト](#)

[グレートーン - メソッド](#)

[グレーを強調させる - 原稿のタイプのオプション](#)

[黒インクのみ - 原稿のタイプ - コピー/スキャンしてファイルに保存](#)

[黒インクのみ - ファイルから印刷する場合の設定](#)

け

[警告メッセージ](#)

[原稿 - タイプのテンプレート](#)

[概要](#)

[選択](#)

[定義](#)

[テンプレート - カラー](#)

[テンプレート - 白黒](#)

[原稿のオフセット](#)

[原稿の取り付け](#)

[概要](#)

[取り付け方法の設定 \(環境設定\)](#)

[言語 \(表示\) - 変更](#)

こ

[光学的解像度](#)[交換 - スキャナの部品](#)[インジケータのリセット - 部品交換警告フラグ](#)[エア フィルタ](#)[カバー裏の白い部分](#)[ガラス プレート](#)[ランプ ユニット](#)[高精細 - 原稿のタイプのオプション](#)[高精細 - ファイルから印刷する場合の設定](#)[コピー - セット \(部単位\)](#)[コピー - 厚いメディア](#)[概要...](#)[コピー サイズ](#)[コピー品質](#)[手順...](#)[\[コピー\] タブ](#)[コピーの複製 \(ファイルに保存\)](#)[コピー部数](#)

## さ

[\[サービス\] ボタン](#)[再印刷、使用と有効化](#)[サイズ](#)[関係 - 概要](#)[コピー サイズ- 概要](#)[出力サイズ - 設定](#)[入力サイズ - 設定](#)[プリセット - 概要](#)[用紙サイズ - 標準用紙サイズのリスト](#)[用紙サイズ プリセット - カスタム プリセットの作成](#)[最適化 - カラー精度](#)[左右反転 - コピーおよびスキャンしてファイルに保存](#)

## し

[システムの再起動](#)[システムのシャットダウン](#)[システムの修復](#)[自動アライメント - コピーおよびスキャンしてファイルに保存](#)

[自動検出スキャンの長さ制限 - スキャナ オプション](#)  
[自動プレビュー - スキャナ オプション](#)  
[自動横置き - 縦置きに入力して横置きに出力](#)  
[シャープ - 原稿のタイプのオプション](#)  
[修正係数](#)  
[修復、システム](#)  
[終了ボタン](#)  
[\[縮小\] ツール](#)  
[出力サイズ](#)  
    [設定](#)  
        [プリンタ メディア](#)  
[出力サイズの自動検出](#)  
[出力品質](#)  
[出力マージン - 概要](#)  
[出力マージン - 設定](#)  
[ショートカット メニュー](#)  
[白黒のしきい値 - メソッド](#)  
[白黒のテンプレート](#)  
[白レベル - 原稿のタイプのオプション](#)  
[診断ランプ \(パネル\)](#)  
[診断ランプと待機ランプ \(パネル\)](#)

す

[スキャナ ソフトウェア](#)  
    [概要](#)  
        [言語の変更](#)  
[スキャナ デバイス](#)  
    [オプションと設定](#)  
        [特殊な設定オプションの概要](#)  
        [パネルとランプ](#)  
[スキャナ メッセージ](#)  
[\[スキャナが見つかりません\] メッセージ](#)  
[スキャナの設定](#)  
    [言語](#)  
        [自動検出スキャンの長さ制限](#)  
        [自動プレビュー](#)  
        [垂直精度、概要](#)  
        [スキャナのオプションと設定の概要](#)

[スキャン後、原稿を戻す](#)

[スキャン速度](#)

[単位](#)

[特殊なオプション](#)

[長さの自動検出方法](#)

[排紙](#)

[プリンタのメディア幅](#)

[プレビュー解像度](#)

[ユーザ インタフェース オプション](#)

[ユーザ インタフェース オプションの概要](#)

[長さの自動検出方法](#)

[排紙](#)

[スキャナ の速度 - スキャナ オプション](#)

[スキャナの部品 - 交換](#)

[エア フィルタ](#)

[カバー裏の白い部分](#)

[ガラス プレート](#)

[ランプ ユニット](#)

[スキャナの保守](#)

[概要](#)

[実行](#)

[スキャナの部品交換](#)

[スキャン - 厚いメディア](#)

[概要...](#)

[手順...](#)

[スキャン後、原稿を戻す - スキャナ オプション](#)

[スキャンしてファイルに保存](#)

[手順...](#)

[バッチ スキャンしてファイルに保存](#)

[品質設定](#)

[スキャンしてDVDまたはCDに保存](#)

[ハードディスクからファイルを削除](#)

[\[スキャン\] タブ](#)

[スキャン中のバックアップ - スキャン速度](#)

[\[全て拡大\] ツール](#)

そ

挿入スロット

[概要](#)[高さの変更 - 厚いメディアをスキャンする場合](#)

た

[ターボ解像度 - スキャン、コピー品質](#)[待機ランプと診断ランプ \(パネル\)](#)[待機ランプ \(パネル\)](#)[タイプ - 原稿のテンプレート](#)[概要](#)[選択](#)[定義と作成](#)[テンプレート - カラー](#)[テンプレート - 白黒](#)[タイマー - 電源のオン/オフ](#)[タイムゾーン - 設定](#)[タッチスクリーンのキャリブレーション](#)[単位](#)

ち

[中央、原稿の取りつけ](#)

て

[\[停止\] ボタン](#)[デスクリーン](#)[デフラグ オプション](#)[電源オン/オフ タイマー](#)[テンプレート - カラー](#)[テンプレート - 白黒](#)

と

[同期印刷](#)[等倍表示](#)

な

長さ

[出力サイズ](#)[出力サイズの自動検出](#)

[入力サイズ](#)[入力サイズの自動検出](#)

## 長さの自動検出スキャン

[自動検出スキャンの長さ制限](#)[長さの自動検出スキャン方法](#)

## に

[入力サイズ](#)[入力サイズの自動検出](#)

## ね

## ネスティング

[概要](#)[方法](#)[余白 - 問題](#)[ネスティングでの余白](#)

## ネットワーク

[システムの接続](#)

## 設定

[スキャン時のネットワーク上の保存先とフォルダへのアクセスの設定](#)[ネットワークへの接続](#)

## は

[排紙 - スキャナ オプション](#)[倍率 - カスタム倍率の作成](#)[倍率 - 設定](#)[初めて使用する前に - セットアップ手順](#)

## パスワード

[管理者](#)[ネットワーク - FTP/WebDAV](#)[バッチ コピー、およびバッチ スキャンしてファイルに保存](#)[パネリング](#)[概要](#)[方法](#)

## 幅

[出力サイズ](#)[入力サイズ](#)[プリンタ メディア](#)

## ひ

[描画の最適化 - 原稿のタイプのオプション](#)

[描画の最適化 - ファイルから印刷する場合の設定](#)

[表示言語 - 変更](#)

品質設定

[概要](#)

[コピー品質](#)

[スキャンしてファイルに保存するときの品質の設定](#)

[ファイルから印刷する場合の品質](#)

## ふ

ファイル - スキャンしてファイルに保存

[手順...](#)

[バッチ スキャンしてファイルに保存](#)

[品質設定](#)

[スキャンしてDVDまたはCDに保存](#)

[ハードディスクからファイルを削除](#)

[ファイル - 共有ファイルにアクセス](#)

ファイルから印刷

[手順...](#)

[リスト - 設定](#)

[ファイルから印刷](#)

[ファイルから印刷 - 品質](#)

[\[ファイル管理\] ダイアログ](#)

[ファイルに出力](#)

[ファイルの削除 - ディスクから](#)

[ファイルの自動命名](#)

[\[ファイルの複製\] オプション](#)

[フィルタ \(ダスト\) - 交換](#)

[\[フォルダ\] ボタン \(画面下部\)](#)

[複数のプリンタ](#)

部数 - 作成

部数 - 設定

[部単位 - コピー セット](#)

プリンタ

[ソフトウェアでの設定](#)

[ドライバ](#)[設置](#)[マージン](#)[メディアの幅](#)[プリンタ - キュー](#)[キューにジョブが保留される](#)[キューの表示](#)[プリンタ内のメディア](#)[メディア プロファイルの作成](#)[メディア プロファイルの選択](#)[プリンタのマージンに合わせて印刷内容を切り取る](#)[プリンタの設置とプリンタ ドライバのインストール](#)[プレビュー](#)[ツール](#)[解像度 - スキャン オプション](#)[用紙フレーム、概要](#)[分割](#)[概要](#)[方法](#)[ほ](#)[ぼかし - 原稿のタイプのオプション](#)[保守](#)[概要](#)[実行](#)[スキャナの部品交換](#)[ま](#)[マージン](#)[外部マージン - 設定](#)[出力マージン - 概要](#)[プリンタのマージン - 概要](#)[マージン - 設定](#)[マージン - 例](#)[め](#)[メソッド - 原稿のタイプのオプション](#)[メッセージ](#)

[概要](#)

[警告](#)

メディアのサイズ

[サイズ - 標準用紙サイズ](#)

[幅、プリンタ](#)

[用紙の一覧](#)

[メディアの名前とシートのスキャン - メディア プロファイルの作成中に](#)

メディア プロファイル

[メディア プロファイルの作成](#)

[メディア プロファイルの選択](#)

[メニュー、ショートカット](#)

も

[問題の解決](#)

ゆ

[有効にする - クイック選択リスト](#)

[有効にする - 再印刷](#)

ユーザ インタフェース

[オプション](#)

[概要](#)

よ

[「ようこそ」ページ - システムのヘルプ](#)

[用紙サイズ - 標準用紙サイズのリスト](#)

[用紙サイズ プリセット - カスタム プリセットの作成](#)

[用紙サイズをリストに表示](#)

[用紙制御 - オペレータ パネル](#)

[用紙の一覧](#)

用紙フレーム

[用紙フレーム - 概要](#)

[\[用紙フレームのサイズ変更\] ツール](#)

[\[用紙フレームの配置\] ツール](#)

[用紙リストの表示](#)

用紙枠を印刷

[横置き \(自動\) - 縦置きに入力して横置きに出力](#)

ら

## [ランプ ユニット - 交換](#)

り

### リスト - 印刷

[印刷リストからファイルを削除](#)

[印刷リストの管理](#)

[印刷リストの設定](#)

[ハードディスクからファイルを削除](#)

[\[リセット\] ボタン](#)

[リンク \(マージン、外部マージン\)](#)

る

## [ルーラ](#)

れ

### レイアウト オプション

[ネスティング、概要](#)

[パネリング、概要](#)

[パネリング、方法](#)





## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## スキャナ システムの電源オン/オフ タイマー

自動電源オン/オフ機能を利用すると電力を節約でき、スキャナ ランプの寿命を延ばすことができます。通常は、就業時間の終了後しばらくしたらスキャナがオフになり、朝出社する最低1時間前にスキャナの電源がオンになって、システムのウォームアップが完了してすぐに使用できる状態になっているように設定します。

電源オン/オフ タイマーが設定されている場合、以下のようになります。

電源オフの時刻に達したときにスキャンが実行されている場合、自動電源オフは15分延期されます。

スキャナを手動で起動した場合は、3時間後にスタンバイ モードになります。

### スキャナ システムの電源オン/オフ タイマーを設定するには...

1. [セットアップ] タブの [オプション] を押します。
2. [システム] ボタンを押します。
3. [WIDESystem] ボタンを押します。
4. [タイマー] タブを押します。



5. 自動電源オン機能を有効にするには、[オン] 列の曜日のチェックボックスをオンにします。
6. 時刻を変更するには、時間の値を選択して上/下矢印を押し、分の

値を選択して上/下矢印を押します。

7. 時刻が12時間表示の場合は、午前/午後を選択して上/下矢印を押します。
8. 自動電源オフ機能を有効にするには、[オフ] 列の曜日のチェックボックスをオンにし、手順6と7を繰り返します。
9. [適用] ボタンを押して、変更を決定して続行するか、[OK] ボタンを押して変更を決定してWIDEsystemを終了します。

関連項目：

...[WIDEsystemについて](#)



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## スキャナ システムの修復

スキャナに付属している『システム修復』DVDが必要です。

### スキャナ システムを修復するには...

1. [終了] ボタン



2. を押します。システムをシャットダウンすることを確認します。

3. 修復DVDを挿入し、パネルPCの電源をオンにします。

4. 『システム修復』DVDで、異なるシステム タスクを実行する手順が表示されます。画面に表示される手順に従います。

5. すべてのファイルを修復 (上書き) することも、ユーザ ファイルはそのままにしてシステム ファイルのみを修復することもできます。ユーザ ファイルとは、イメージ、リスト、原稿のタイプのテンプレート、およびユーザがシステムで作成したその他のデータを指します。

6. システムの修復が完了したら、システム保守を実行してください。関連項目 :

...[保守手順 \(クリーニング、キャリブレーション\)](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)

[問題の解決...](#)

[詳細...](#)

[アルファベット索引](#)

[HP Designjet Online](#)

## プリンタのメディア幅の設定

作業によっては、異なるメディア幅の印刷を行う場合があります。たとえば、あるジョブでは36インチ幅のロール紙に印刷し、別のジョブでは24インチのロール紙に変更して印刷する場合があります。どのような場合でも、プリンタに取り付けられているメディアの幅をプログラムに伝える必要があります。

プログラムでメディア幅を設定する手順は、プリンタ モデルによって異なります。新しいプリンタ モデルでは、メディア幅の自動検出をサポートしていますが、古いモデルでは、手動で設定する必要があります。メディア幅の自動検出が可能かどうかについては、プリンタのマニュアルを参照してください。

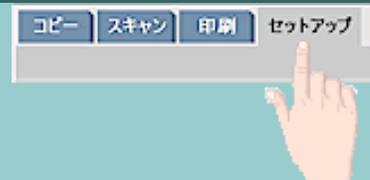
プリンタ モデルに関係なく、大量でコストのかかる印刷ジョブを開始する前には、プリンタのメディア幅設定を確認して制御しておくことをお勧めします。プリンタのメディア幅設定は、[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定] ダイアログで表示できません。別の幅のロール紙に変更する場合も、ここでメディア幅の設定を変更します。

このトピックでは、次の方法について説明します。

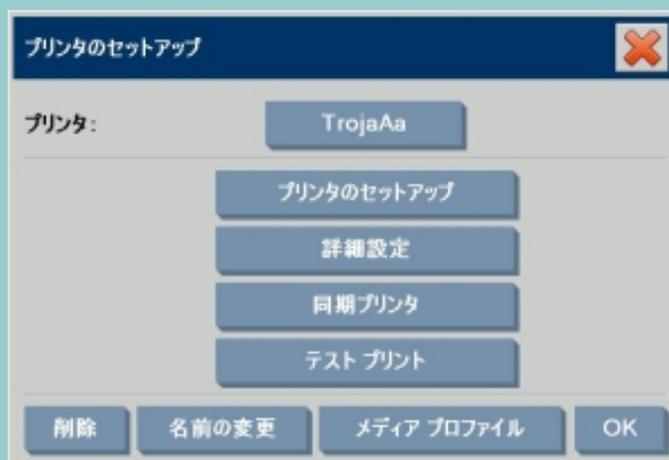
1. [プリンタのメディア幅の設定を表示およびアクセスする方法](#)
2. [メディア幅の自動検出をサポートするプリンタで、起動時およびロール紙の変更にプリンタのメディア幅を設定する方法](#)
3. [メディア幅の自動検出をサポートしていないプリンタで、起動時およびロール紙の変更に手動でプリンタのメディア幅を設定する方法](#)

### プリンタのメディア幅の設定を表示およびアクセスするには...

1. [セットアップ] タブを選択します。



2. [プリンタ] ボタンを選択して、[ツール] ボタン  を選択します。



3. [詳細設定] ボタンを選択します。現在のメディア幅の設定 (値) が、[メディアの幅] ボタンに表示されます。



メディア幅の自動検出をサポートするプリンタで、メディア幅を設定するには...



1. **起動時** - 現在プリンタに取り付けられているロール紙の幅がプログラムによって自動的に検出されます。この値は、[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定] ダイアログの [メディアの幅] ボタンに表示されます。
2. **別の幅のロール紙に変更した場合** - ロール紙を変更後、[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定] ダイアログを開きます。[自動検出] ボタンを押し、プリンタから新しいメディアの幅を取得します。新しい値が [メディアの幅] ボタンに表示されます。
3. [OK] を選択して終了します。

メディア幅の自動検出をサポートしていないプリンタで、用紙のメディア幅を設定するには...



1. **起動時** - プログラムはプリンタ ドライバに保存されたメディア幅の値を設定します。これは通常はプリンタで使用できる最大出力幅です。プリンタの最大幅より狭いロール紙を使用している場合は、この幅を手動で変更する必要があります。[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定] ダイアログを開きます。[メディアの幅] ボタンを押し、オンスクリーン キーボードから新しい値を入力し、キーボードのEnterキーを押して終了します。メディア幅の値が [メディアの幅] ボタンに表示されます。
2. **別の幅のロール紙に変更した場合** - 幅の値を手動で変更してください。[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [詳細設定] ダイアログにアクセスします。[メディアの幅] ボタンを押し、オンスクリーン キーボードから新しい値を入力し、キーボードのEnterキーを押して終了します。メディア幅の値が [メディアの幅] ボタンに表示されます。
3. [OK] を選択して終了します。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## 表示言語の変更

### HP Designjetス キャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

### スキャナ システムの表示言語を変更するには...

注記：管理者パスワードを設定してアクティブにした場合、システムの表示言語を変更するにはパスワードを入力する必要があります。

1. [セットアップ] タブの [オプション] を押します。
2. [システム] を選択します。
3. [詳細設定] ボタンを押します。
4. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
5. [言語の変更] ボタンを押します。
6. 選択可能な言語の一覧から目的の言語を選択します。
7. システムが再起動し、新しい言語でメニューが表示されます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## 法律に関する注記

### [注記](#)

### [商標](#)

#### 注記

このマニュアルに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

弊社は、本マニュアルに関して特殊目的に対する適合性、市場性などについて、一切の保証をいたしかねます。

また、本マニュアルにおける誤り、あるいは備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。

本マニュアルの内容の一部または全部を、無断でコピーや印刷をしたり、他の言語に翻訳することは法律で禁止されています。

#### 商標

HP、Hewlett-Packard、HPロゴ、DesignjetおよびJetdirectはHewlett-Packard Companyの商標です。

本マニュアルの上記以外の商標は各所有者の所有物です。

Hewlett-Packard Company  
Inkjet Commercial Division  
Avda.Graells, 501  
08190 Sant Cugat del Valles  
Barcelona  
Spain



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## ヘルプ ページの印刷

### HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

### ヘルプ ページを印刷するには...

スキャナ システムのデフォルトのプリンタは、大判プリンタです。ヘルプ ページを印刷する場合は、『スキャナの使い方』CDを使用することをお勧めします。内容はオンライン ヘルプと同一で、ブラウザで開くことができます。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## WIDESystem

### WIDESystemについて...

WIDESystemは、スキャナの機能を監視および制御するためのアプリケーションで、システムに必要なドライバを内蔵しています。

WIDESystemを起動するには、[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [システム] -> [WIDESystem] を選択します。

このプログラムの主な機能は、以下のとおりです。

#### システムのステータス

スキャナ システムのステータスであるスキャナ モードを表示するには、スキャナ システムを終了してActive DesktopのシステムトレイにあるWIDESystemスキャナ アイコンを選択します。ステータス メッセージには、ウォームアップ完了までの残り時間、インタフェース接続エラー、スキャナがスキャン可能な状態になっていることが示されます。

現在のスキャナ モードに関連するエラー メッセージを表示します。

スキャン対象の原稿の取りつけ状況を表示します。

#### システム タイマー

スキャナ システムのタイマーを設定して、各曜日の自動電源オン/オフ時刻を指定できます。スキャナは、1時間ウォームアップした場合に最高のパフォーマンスを発揮します (ただし、この時間は作業環境によって異なります)。また、リストから大量の部数を印刷する場合に、システムを一晩中稼働させたり、週末に稼働させることもできます。電源オフ時刻になると、スキャナはスタンバイ モード (電源ランプが赤で点灯) になり、Active DesktopのWIDESystemアイコンが黄色になります。

電源オフの時刻に達したときにスキャンが実行されている場合、自動電源オフは15分延期されます。スキャナを手動で起動した場合は、3時間後にスタンバイ モードになります。関連項目 :

[スキャナ システムの電源オン/オフ タイマーを設定するには](#)

#### スキャナの情報

スキャナ システムのファームウェアおよびハードウェアのバージョン情報を表示します。この情報は、アップグレードが必要かどうかを判断する場合やサポートを要請する場合に役立ちます。

SCSIまたはUSBインタフェース バスのスキャンを開始します。

## スキャナの共有

[現在のスキャナをネットワーク上の...] オプションを選択すると、ネットワーク上のユーザが各自のワークステーションからスキャナを使用できるようになります。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company

現在の表示： [はじめに](#) → [使用方法...](#) → 特殊スキャナ設定オプションの定義

## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## 特殊なスキャナ設定オプションの定義

トピックを選択してください...

...[特殊なスキャナ設定オプションを表示するには...](#)

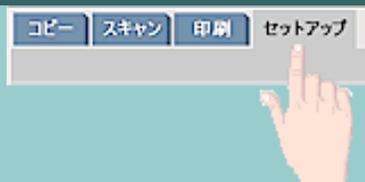
...[原稿の取りつけ方](#)

...[原稿のオフセット](#)

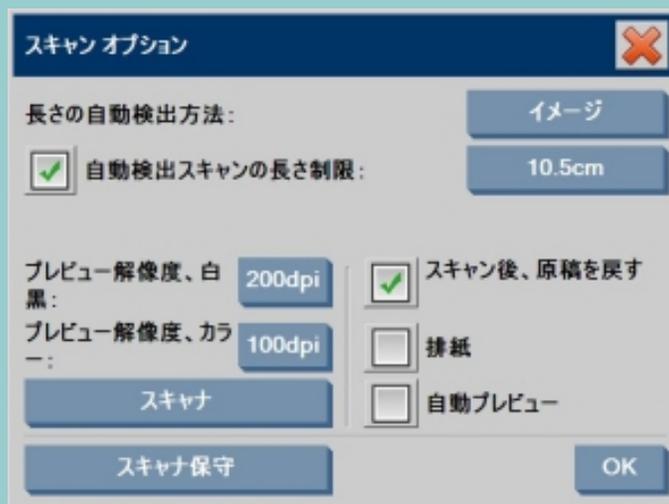
...[厚い原稿の処理設定](#)

特殊なスキャナ設定オプションを表示するには...

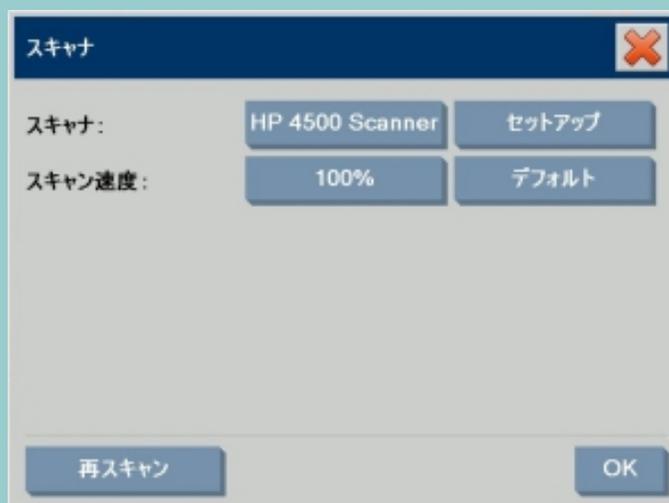
1. [セットアップ] タブを押します。



2. [オプション] ボタンを押して、[スキャン中] を選択します。



3. [スキャナ] ボタンを押します。



4. [セットアップ] ボタンを押します。

関連項目：

...[スキャン オプション](#)について

### 原稿の取りつけ方

[メディアの処理機能] タブを選択します。

1. [手動取りつけ] または [自動取りつけ] を選択します。
2. [自動取りつけ] を選択した場合は、自動セットが開始されるまでの時間 (原稿を正しくセットするのに必要な時間) を指定します。
3. [ソフト ハンドリング] - この設定を選択すると、スキャン中の紙詰まりエラーを解消できます。ただし、スキャン速度は低下します。
4. [高速取りつけオプションを使用する] - バッチ スキャンなど、原稿を特に高速で給紙する場合に使用します。

関連項目：

...[原稿の取りつけ](#)

### 原稿のオフセット

[原稿のオフセット] タブを選択します。

1. 非常に高い精度が必要な場合は、垂直精度の値を0から-1% ~ 1%の値に変更します。

正の値を指定するとスキャン ラインの間隔が広がり、負の値を指定すると間隔が狭くなります。

[スキャナの設定] ダイアログを終了すると、変更値はスキャナの不揮発メモリに保存されます。この値を変更するには、設定を再度実行する必要があります。

関連項目：

...[スキャン時の修正係数](#)について

### 厚い原稿の場合に必要な調整処理

[標準以上の厚さ] タブを選択します。

通常、硬い原稿だけがステッチングに影響を与え、やわらかい原稿は厚さに関わらず正しくステッチされます。

1. 線が均等になっていない場合は、[厚い原稿の処理設定を使用する] チェックボックスをオンにします。
2. スキャナの各カメラの値を変更します。通常、正の値のみを使用します。
3. テスト スキャンを実行し、線が正しくステッチされるまで値を再調節します。
4. [OK] をクリックして設定を決定します。

関連項目：

...[厚い原稿の処理設定](#)について





## システムのシャットダウン

### HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

### システムをシャットダウンするには...

1. [終了] ボタン  を押します。
2. システムをシャットダウンすることを確認します。
3. スキャナの電源をオフにします。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company

**HP Designjet ス  
キャナ**[使用方法...](#)[問題の解決...](#)[詳細...](#)[アルファベット索引](#)[HP Designjet Online](#)**システムの再起動****システムを再起動するには...**

1. [終了] ボタン  を押します。
2. システムをシャットダウンすることを確認します。
3. パネルPCの電源をオンにします。

[印刷手順](#)[法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## タッチスクリーンのキャリブレーション

### タッチスクリーンのキャリブレーションを行うには...

1. [セットアップ] タブを押します。
2. [オプション] -> [システム] を押します。
3. [画面のキャリブレーション] ボタンを押して、画面の指示に従います。ここでは画面上の数箇所をタッチする操作を行います。
4. スキャナシステムを操作するときと同じ姿勢でタッチスクリーンのキャリブレーションを実行してください。これは、タッチスクリーンを使用する角度が結果に影響を与えることがあるためです。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

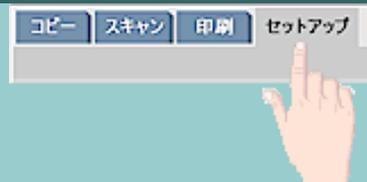
## スキャナ システム ソフトウェアでのプリンタの設定

プリンタを最初にインストールしたときに設定も自動的に行われるため、通常はこの手順を実行する必要はありません。

プリンタが [セットアップ] タブに表示されない場合、またはプリンタが正しくインストールされていることを確認する場合にのみ、この手順に従ってください。

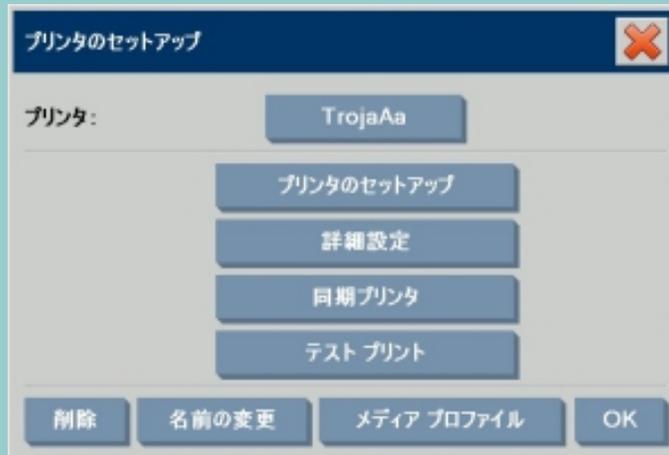
### スキャナ システム ソフトウェアでプリンタの設定を行うには...

1. [セットアップ] タブを選択します。

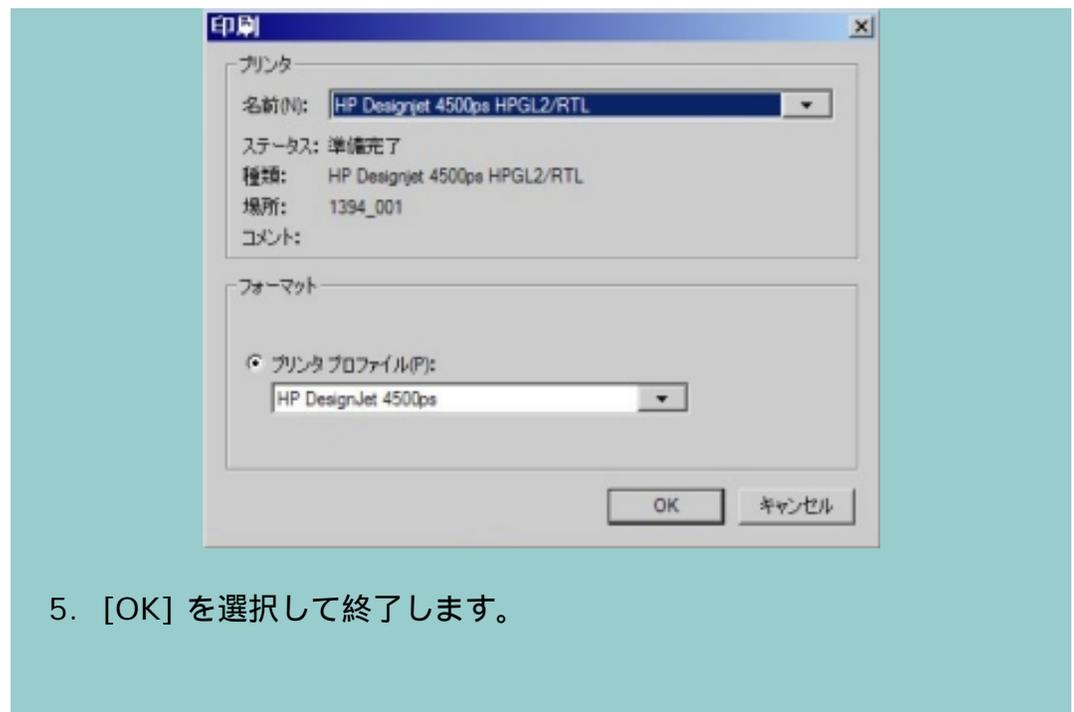


2. [プリンタ] ボタンを選択します。

3. [ツール] ボタン  を選択して、[プリンタのセットアップ] ボタンを選択します。



4. [フォーマット] の [プリンタ プロファイル] を選択します。



5. [OK] を選択して終了します。





## HP Designjetス キャナ

→ 使用方法...

→ [問題の解決...](#)

→ 詳細...

→ アルファベット索引

→ [HP Designjet Online](#)

### 表示言語が正しくない

#### 表示言語が正しい言語になっていない場合...

スキャナ システムのインストールの最後の手順で正しくない言語をインストールした場合、  
表示言語を変更する必要があります。関連項目：  
...[スキャナ システムの表示言語の変更](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

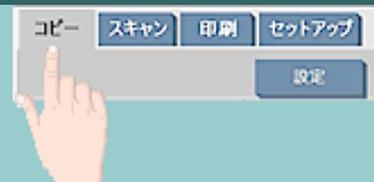
→ [HP Designjet Online](#)

## 任意の倍率の作成

[コピー] タブおよび [スキャン] タブで、拡大縮小の倍率を任意に設定できます。

### 任意の倍率を作成するには...

1. コピーを実行している場合は、[コピー] タブの [倍率] ボタンを押します。



スキャンしてファイルに保存するジョブを実行している場合は、[スキャン] タブの [サイズ変更] を押します。



2. [倍率] ボタンを選択して、[ツール] ボタン  を選択します。
3. [倍率の設定] ダイアログで [新規] ボタンを押します。

倍率の設定
✖

倍率: 72%

値: 72.0 %

削除
新規
保存
OK

4. 新しい倍率の名前を入力します。倍率の値そのものを名前にするをお勧めします（「72%」など）。
5. [値] の右にある数値を表示しているボタンを押して倍率を指定します。
6. [保存] ボタンを押して設定を保存し、[OK] を押して決定します。

設定した倍率が、あらかじめ設定されている標準倍率のリストに追加されます。





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

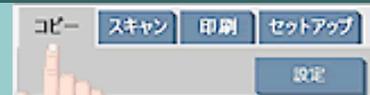
→ [HP Designjet Online](#)

## カスタム用紙サイズ プリセット (入力サイズ/出力サイズ) の作成

カスタム用紙サイズ プリセット (入力サイズまたは出力サイズ) を作成するには、以下の手順に従います。

### カスタム入力/出力サイズを作成するには...

1. [コピー] タブまたは [スキャン] タブを押します。



2. [入力サイズ] または [出力サイズ] オプションを押して、[ツール] ボタン  を押します。[スキャン] タブの場合、[サイズ変更] -> [サイズ] オプションを選択して、[出力サイズ] ダイアログを表示します。
3. [サイズの設定] ダイアログで [新規] ボタンを押します。



4. 新しいサイズの名前を入力します。コピーのグループを示す名前か、サイズそのものを表す名前（「23x50」など）を付けることができます。

5. [幅] と [長さ] ボタンを押して値を設定します。自動的に検出するオプションも使用できます。

6. [保存] ボタンを押して設定を保存し、[OK] を押して決定します。

新しいサイズ プリセットが、サイズ プリセット リストに標準サイズと一緒に表示されます。





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## 出力品質の設定

### スキャナおよびプリンタの出力品質を設定するには...

コピー -> [コピー] タブの品質設定には、スキャン品質と印刷品質を設定できるオプションがあります。スキャン品質と印刷品質の両方の設定を使用します。

ファイルから印刷 -> [印刷] タブで、特別な印刷品質設定を使用できません。

スキャンしてファイルに保存 -> [スキャン] タブで、スキャン品質 (解像度) を設定できます。[自動] を使用すると、ファイルに適した印刷品質に基づく設定が適用されます。ただしこの場合、スキャン品質の設定しかジョブで使用されません。

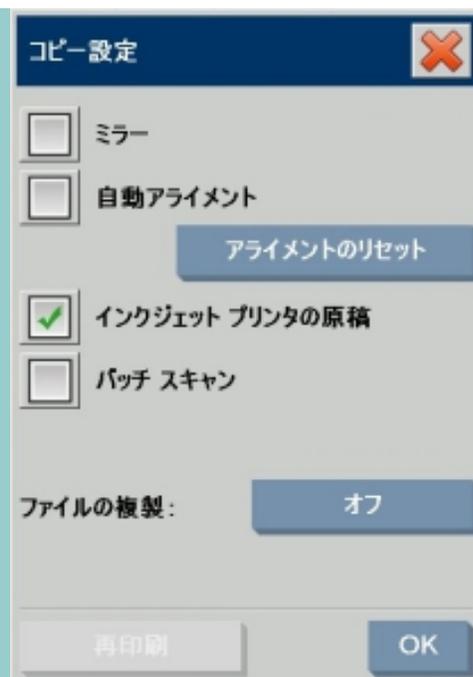
### コピー品質設定 - スキャンと印刷

コピーの場合、スキャン (入力) と印刷 (出力) の両方の品質の値を設定できます。選択した印刷品質を基にして、最適なスキャン品質をプログラムで自動的に検出することもできます。

1. [コピー] タブを押します。



2. [設定] ボタンを押します。



[インクジェット プリンタの原稿]：スキャン対象の原稿がインクジェット プリンタで印刷されている場合は、これを選択するとコピーまたは印刷の品質を向上できます。[OK] を押して適用します。

### 3. [品質] ボタンを押します。

以下の説明に沿って、印刷品質とスキャン品質の両方に基づいて新しく品質を定義します。

#### スキャン品質

スキャナの場合、スキャン解像度はdpi (1インチあたりのドット数) 単位で設定します。

[自動] を使用するには、[自動] フィールドをチェックしてから、印刷品質設定のいずれかを選択します。選択した印刷品質設定 (高速、標準、高品質) に基づき、最適なスキャン品質設定がプログラムによって判定されます。自動的に選択されたdpi値は、フィールドの横に表示されます (以下の例では200dpi)。

自分でdpi値を設定するには、[自動] をオフにします。

[デスクリーン] をオンにすると、スキャナの光学的解像度でスキャンが行われ、データは補間されずにソフトウェアに転送されます。設定さ

れたdpiまたは品質への変換が、最適な形でソフトウェアによって実行されます。ラスト原稿の場合、これで優れた品質が得られます。スキャン速度は低下します。

ターボ：[スキャン解像度] に値を設定するか、[自動] を選択してから、[ターボ] を選択します。このオプションを選択すると、イメージの品質が低下する代わりにスキャン速度が基本的に2倍になります。ターボ解像度処理では、[スキャン解像度] または [自動] オプションで設定されたとおりのイメージ解像度を達成するため、用紙の移動が高速化され、取り込んだスキャン データがスキャン方向に縮小され、最後に再サンプリングされます。解像度が300dpi未満の場合、ターボ モードの効果はありません。

## 印刷品質

[高速]、[標準]、[高品質] から選択します。

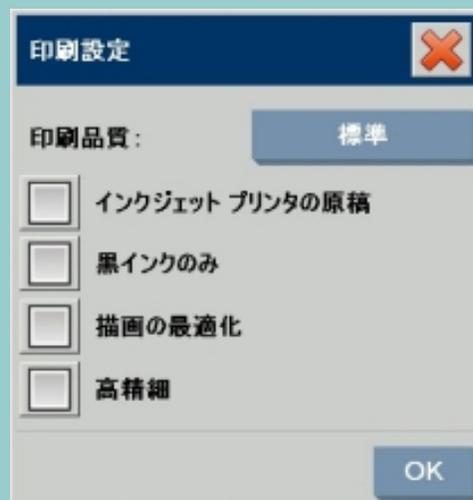
[スキャン品質] で [自動] を選択すると、上記で説明したように印刷品質の設定に応じてスキャン品質が決定します。



[OK] を押して適用します。

[印刷] タブで既存のファイルを印刷する場合、印刷 (出力) 品質オプションを選択します。

1. [印刷] タブを押します。
2. [設定] ボタンを押します。



[印刷品質] ボタンを押して、[高速]、[標準]、[高品質] から品質設定を選択します。

[インクジェット プリンタの原稿]：スキャン対象の原稿がインクジェット プリンタで印刷されている場合は、これを選択するとコピーまたは印刷の品質を向上できます。

[黒インクのみ]：このオプションは、グレートーンのイメージ ファイルの印刷出力に対してのみ適用されます。中間調のグレートーン出力を作成する場合に適しています。[黒インクのみ] でグレートーンを作成すると、照明条件にあまり左右されずに見ることのできる印刷結果が得られます。[黒インクのみ] をオンにすると、カラー インクも使用した通常のグレートーン出力よりも粒子が粗くなりますので注意してください。

[描画の最適化]：テキストと描画に適しています。エッジが明確でシャープになるように出力が最適化されます。出力に帯状の線が入るため、写真の場合は使用をお勧めしません。

[高精細]：詳細なグラフィックスを鮮明に出力する場合に使用します。地図やCAD図面のような、細かい部分を多数含む原稿の場合にお勧めします。カラー マッチングおよびグレートーン出力に悪影響を及ぼすため、写真の場合はお勧めしません。

[OK] を押して適用します。

注記：利用できるオプションは、プリンタ モデルにより異なります。

注記：上記の特殊な印刷品質オプションの中には、[コピー] タブの原稿のタイプ テンプレートで定義できるものもあります。詳細については、

「[原稿のテンプレートの定義](#)」を参照してください。

## スキャン品質設定 - スキャンしてファイルに保存

[スキャン] タブの [スキャンしてファイルに保存] で、スキャン品質 (入力) の要素を設定できます。ファイルを印刷する時に適用させる印刷品質に基づいて、最適なスキャン品質をプログラムによって検出させることもできます。



1. [スキャン] タブを押します。
2. [スキャン解像度] ボタンを押します。



### スキャン品質

スキャン解像度 - スキャン解像度をdpi (1インチあたりのドット数) 値で設定します。

[自動] を使用するには、[自動] フィールドをチェックしてから、印刷品質設定のいずれかを選択します。これで、スキャン品質設定は、後でファイルを印刷する時に適用する品質と同じになります。印刷品質設定自体は、スキャンしてファイルに保存するプロセスでは使用されません。選択した

印刷品質設定 (高速、標準、高品質) に最適なdpi設定が、プログラムによって選択されます。自動的に選択されたdpi値は、フィールドの横に表示されます (上の例では300dpi)。自分でdpi値を設定するには、[自動] をオフにします。[デスクリーン] をオンにすると、スキャナの光学的解像度でスキャンが行われ、データは補間されずにソフトウェアに転送されます。設定されたdpiまたは品質への変換が、最適な形でソフトウェアによって実行されます。ラスタ原稿の場合、これで優れた品質が得られます。スキャン速度は低下します。

ターボ : [スキャン解像度] に値を設定するか、[自動] を選択してから、[ターボ] を選択します。このオプションを選択すると、イメージの品質が低下する代わりにスキャン速度が基本的に2倍になります。ターボ解像度処理では、[スキャン解像度] または [自動] オプションで設定されたとおりのイメージ解像度を達成するため、用紙の移動が高速化され、取り込んだスキャン データがスキャン方向に縮小され、最後に再サンプリングされます。解像度が300dpi未満の場合、ターボ モードの効果はありません。

[OK] を押して適用します。





## HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)

[問題の解決...](#)

[詳細...](#)

[アルファベット索引](#)

[HP Designjet Online](#)

## プリンタの設置とプリンタ ドライバのインストール

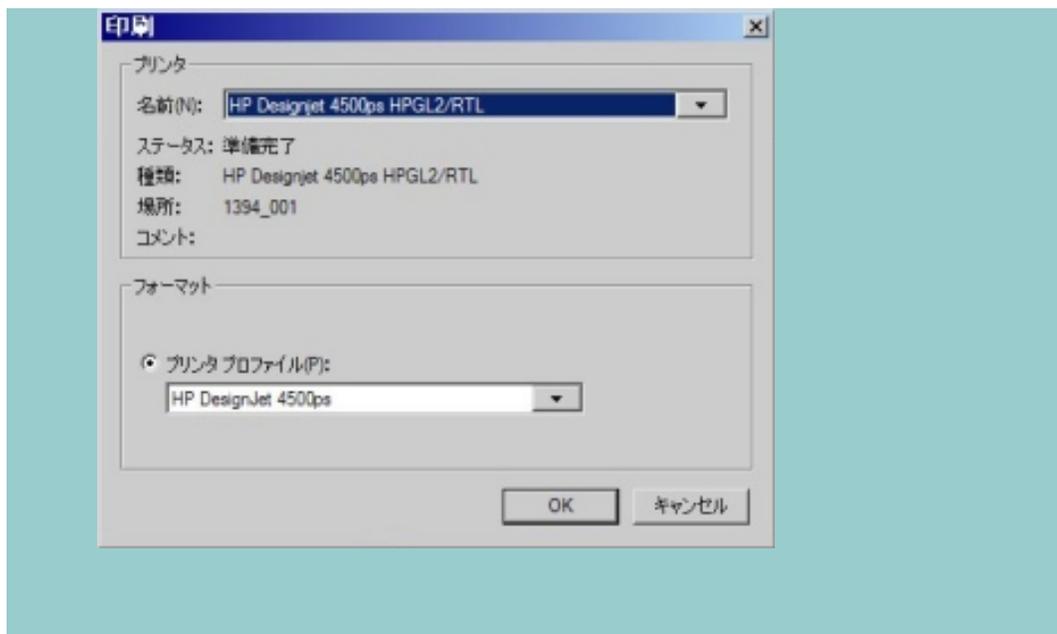
システムにプリンタを接続する方法は3つあります。推奨方法は、プリンタ モデルによって異なります。

1. [IEEE1394 \(FireWire\) インタフェースによるローカル接続](#) (Designjet 4500プリンタで使用)
2. [USBインタフェースによるローカル接続](#) (Designjet 800および Designjet T1100プリンタで使用)
3. [LANによるネットワーク接続](#) (前述のプリンタを除くすべてのプリンタで使用)

### IEEE1394 (FireWire) インタフェースによるローカル接続...

この方法は、Designjet 4500プリンタ モデルでしか利用できません。Designjet 4500がシステムに接続されている場合は、IEEE1394 (FireWire) インタフェースを使用することを強くお勧めします。ドライバのインストールとソフトウェアによる検出は、自動的に実行されます。Designjet 800やDesignjet T1100プリンタ モデルには、[USBインタフェースによる接続方法](#)を使用します。他のプリンタ モデルの場合は、[ネットワーク接続](#)による方法を使用する必要があります。

1. スキャナ、プリンタ、パネルPCなど、すべてのデバイス コンポーネントの電源をオフにします。
2. IEEE1394 (FireWire) ケーブルのプリンタ側の末端をプリンタに接続します。
3. IEEE1394 (FireWire) ケーブルの反対側の末端をパネルPCに接続します。
4. プリンタ、スキャナ、パネルPCの電源をオンにします。
5. プリンタ ドライバはソフトウェアあらかじめインストールされており、プリンタは電源を入れた時に認識されます。
6. コントロールの設定 - プリンタ プロファイルが、選択したプリンタに対応していることを確認します。[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [プリンタのセットアップ] を押します。[プリンタ プロファイル] オプションがチェックされていて、接続されているHP Designjet 4500プリンタの名前がボックス内に表示されます。



### USBインタフェースによるローカル接続...

この方法は、Designjet 800およびDesignjet T1100プリンタ モデルで利用できます。USB接続では、ドライバのインストールと検出が自動的に行われるため、これらのいずれかのモデルをシステムと接続する場合には、USBインタフェースの使用を強くお勧めします。

Designjet 4500プリンタ モデルには、[IEEE1394 \(FireWire\) インタフェースによる接続方法](#)を使用します。

他のプリンタ モデルの場合は、[ネットワーク接続](#)による方法を使用する必要があります。

1. スキャナ、プリンタ、パネルPCなど、すべてのデバイス コンポーネントの電源をオフにします。
2. USBケーブルのプリンタ側の末端をプリンタに接続します。
3. USBケーブルの反対側の末端をパネルPCに接続します。
4. プリンタ、スキャナ、パネルPCの電源をオンにします。
5. プリンタ ドライバはソフトウェアあらかじめインストールされており、プリンタは電源を入れた時に認識されます。
6. コントロールの設定 - プリンタ プロファイルが、選択したプリンタに対応していることを確認します。[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [プリンタのセットアップ] を押します。[プリンタ プロファイル] オプションがチェックされていて、接続されているHP Designjet 820 mfpプリンタの名前がボックス内に表示されます。

### LANによるネットワーク接続...

この方法は、Designjet 4500、Designjet 800、およびDesignjet T1100プリンタ以外のモデルで使用できます。Designjet 4500プリンタがシステムに接続されている場合は、ドライバのインストールと検出を自動的に実行する[IEEE1394 \(FireWire\) インタフェースを使用してローカル接続](#)を行います。

Designjet 800プリンタまたはDesignjet T1100をシステムに接続する場合は、ドライバのインストールと検出を自動的に実行する[USBインタフェースを使用してローカル接続](#)を行います。

その他のプリンタ モデルの場合は、以下で説明するネットワーク接続を使用する必要があります。

1. 使用するプリンタの構成とLANの設定が完了していて、他のデバイスがプリンタを認識できるようになっていることを確認します。
2. パネルPCをLANに接続します。
3. [セットアップ] タブを選択します。
4. [オプション] -> [システム] を選択します。
5. [プリンタ ドライバのインストール] を選択します。プリンタのインストール ウィザードが開きます。画面に表示されるインストール手順に従って操作します。
6. コントロールの設定 - プリンタ プロファイルが、選択したプリンタに対応していることを確認します。[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [プリンタのセットアップ] を押します。[プリンタ プロファイル] オプションがチェックされていて、使用しているプリンタの名前がボックス内に表示されます。





## ネットワークへの接続

### HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)

[問題の解決...](#)

[詳細...](#)

[アルファベット索引](#)

[HP Designjet Online](#)

### スキャナをネットワークに接続するには...

以下の作業を完了すると、ネットワーク上の他の機器からこのシステムを認識できるようになります。

注記：管理者パスワードを設定してアクティブにした場合、ネットワークの設定を行うにはパスワードを入力する必要があります。

1. タッチ スクリーンの背面にあるLANポートにRJ45ネットワークケーブルを接続します。
2. [ネットワーク設定を確認します。](#)
3. ネットワークで共有するファイルは、D:\imagesフォルダに置く必要があります。このフォルダに保存すると、ネットワーク上にあるどのオペレーティング システムのコンピュータからでも、ファイルにアクセスできます。「[共有ファイルへのアクセス](#)」を参照してください。

同じネットワークにプリンタを接続する方法については、プリンタのマニュアルを参照してください。

注記：HP Designjet スキャン ソフトウェア1.1以降では、スキャナ システムからインターネットにアクセスすることも、他のコンピュータの共有フォルダにアクセスすることもできません。



[印刷手順](#)

[法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## ネットワークの設定

以下の作業を完了すると、ネットワーク上の他の機器からこのシステムを認識できるようになります。

注記：管理者パスワードを設定してアクティブにした場合、ネットワークの設定を行うにはパスワードを入力する必要があります。

### システムのネットワーク設定を行うには...

1. [セットアップ] タブを選択します。
2. [オプション] -> [システム] を選択します。
3. [詳細設定] ボタンを選択します。
4. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
5. [ネットワーク設定] ボタンを押します。
6. ネットワークにDHCPサーバがある場合は、[DHCP] オプションを選択します。これにより、システムが自動的にネットワーク接続情報を検出します。
7. 手動で接続する場合は、[手動] オプションを選択します。IPアドレスなどの関連するネットワーク接続情報をシステム管理者から入手してください。
8. 各設定で [OK] を押します。
9. **[FTPおよびWebDAV]** オプションでログインとパスワードを指定することで、システムの共有フォルダへの不正なネットワークアクセスを防止できます。[ログイン] および [パスワード] ボタンを押し、文字列を入力して適用します。  
注記：入力したログイン名の後ろに、自動的に「@scanner」という文字列が追加されます。

[リセット] ボタンを押すと、FTP/WebDAVアクセスのログイン/パスワード保護が解除され、システムがデフォルトのモード (システムの共有フォルダへのアクセスが保護されない状態) に戻ります。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## デフォルトの管理者パスワードの変更方法

管理者パスワードを使用して、システム固有のオプションの設定を保護することができます。たとえば、[表示言語](#)、[ネットワークパラメータ](#)、[アカウントティング](#)などの主要な管理設定を保護できます。システムにはすでに、デフォルトの管理者パスワード「**hpinvent**」(すべて小文字)が設定されています。

デフォルトの管理者パスワードが「**hpinvent**」の場合 - パスワードを変更していない場合、または元の値にリセットした場合、パスワード保護は主要な管理設定に適用されず、すべてのユーザが編集できる状態になります。

デフォルトの管理者パスワードを変更した場合 - 管理者パスワードをデフォルトのパスワード「**hpinvent**」以外に変更した場合、システムの主要な管理設定は保護され、それらを変更するにはパスワードの入力が求められます。

多数のユーザがシステムを使用する場合は、システム管理者が最初にシステムをセットアップするときにデフォルトのパスワードを変更することをお勧めします。

### デフォルトの管理者パスワードを変更するには...

1. [セットアップ] タブを選択します。
2. [オプション] -> [システム] を選択します。
3. [詳細設定] ボタンを選択します。
4. [パスワードの設定/変更] ボタンを押します。
5. 新しい管理者パスワードを入力します。
6. 新しい管理者パスワードの確認を求めるメッセージが表示されます。
7. [OK] をクリックして終了します。新しい管理者パスワードはすぐに有効になります。
8. 管理者パスワードをデフォルトのパスワード「**hpinvent**」にリセットすることで、保護を解除できます。





## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

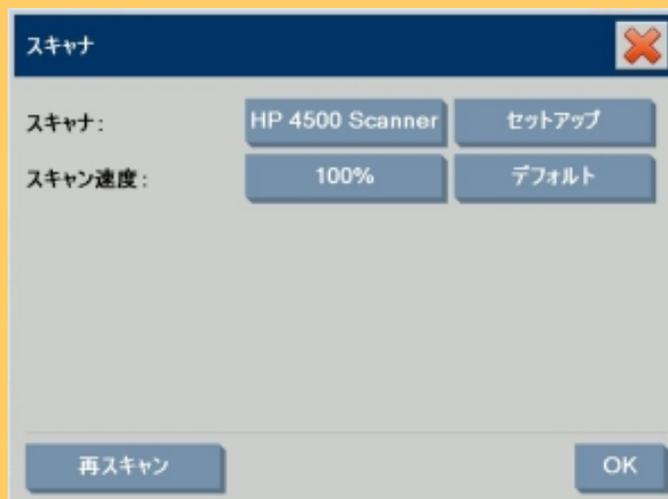
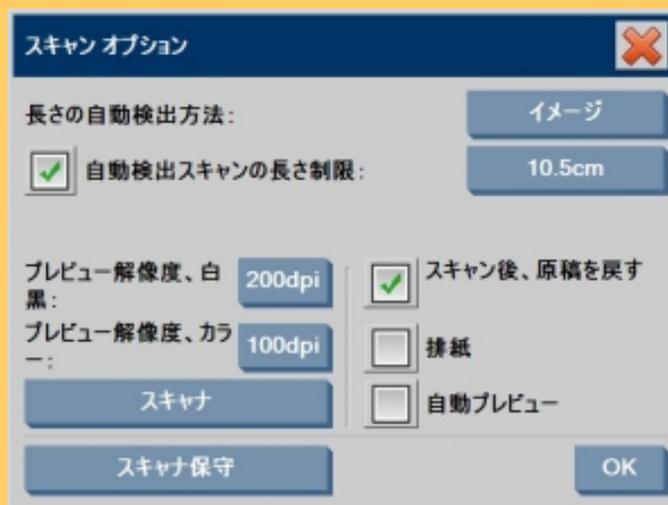
→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## スキャン オプションと設定について

### スキャン オプションについて

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [スキャン中] を押して、[スキャン オプション] ダイアログを表示します。



詳細...

...[プレビュー解像度](#)

...[排紙](#)

...[自動プレビュー](#)

...[スキャン速度 - バックアップ処理が実行されないようにする](#)

...[スキャン後、原稿を戻す](#)

...[長さの自動検出方法](#)

...[自動検出スキャンの長さ制限](#)

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [スキャン中] -> [プレビュー解像度] を選択します。

オンスクリーン プレビューのイメージ解像度 (50 ~ 300dpi) を指定します。解像度を低くするほどプレビューが高速になります。

### 排紙

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [スキャン中] -> [排紙] を選択します。

このオプションを使用すると、スキャン終了時にスキャナが自動的に排紙を行います。

### 自動プレビュー

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [スキャン中] -> [自動プレビュー] を選択します。

このオプションを使用すると、スキャナに原稿を取りつけると同時に、自動的に出力プレビューが実行されます。

### スキャン速度 - バックアップ処理が実行されないようにする

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [スキャン中] -> [スキャナ] -> [スキャン速度] を選択します。

ワークステーションの処理能力によって、スキャンしたデータを正しく連続的に処理できるように、スキャン中にスキャナが繰り返しバックアップを作成することがあります。スキャン速度を低下させ、スキャナの処理能力をワークステーションの処理能力に合わせることでバックアップが実行されないようになります。[デフォルト] ボタンを使用すると、スキャン速度をデフォルト値に戻すことができます。

### スキャン後、原稿を戻す

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [スキャン中] -> [スキャン後、原稿を戻す] を選択します。

通常、スキャン終了後、原稿はスキャナの背面から排紙されます。このため、スキャナを壁の近くに設置している場合は、原稿をスキャナから取り出しづらくなります。このような場合は、[スキャン後、原稿を戻す] オプションを選択すれば、スキャン終了後に原稿は元の位置まで巻き戻され、スキャナ前面から排紙することができます。

### 長さの自動検出方法

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [スキャン中] -> [長さの自動検出方法] を選択します。

スキャナ ソフトウェアでは、[用紙] と [イメージ] の2つの方法でイメージの長さを検出できます。[用紙] を選択すると用紙の端が機械的に検出され、[イメージ] を選択するとイメージがプレスキャンされ、プレスキャンされたイメージの長さが算出されます。[用紙] ではプレスキャンが行われなため [イメージ] よりも短時間で検出が終了しますが、[イメージ] の方が正確な結果を得られます (用紙がイメージよりも長い場合など)。

#### 自動検出スキャンの長さ制限

[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [スキャン中] -> [自動検出スキャンの長さ制限] を選択します。

このオプションにより、自動的に検出するイメージの長さの上限を設定できます。





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## 複数のプリンタでの印刷

[コピー] タブまたは [印刷] タブを使用して複数の部数を印刷する場合は、同時に複数のプリンタで印刷して時間を節約することができます。

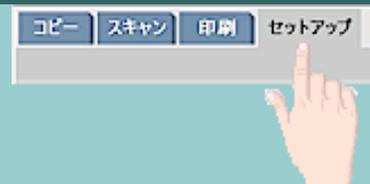
各コピーまたはセットは1台のプリンタで印刷されますが、ジョブ全体をできる限り早く印刷するために、異なるコピーまたはセットが異なるプリンタに自動的に割り当てられます。

例1：同期プリンタが3台定義されている環境で、3つの異なる大判ファイルを印刷する場合、印刷ジョブをシステムの印刷リストに送信すると、ファイル1つにつき1台の同時プリンタが割り当てられて同時に出力が行われます。

例2：同時プリンタが2台だけ定義されている環境で、1セット4枚のポスターを3回印刷する場合、4枚のポスターが1台のプリンタで2回印刷され (合計8枚)、もう1台のプリンタで1回印刷されます (合計4枚)。

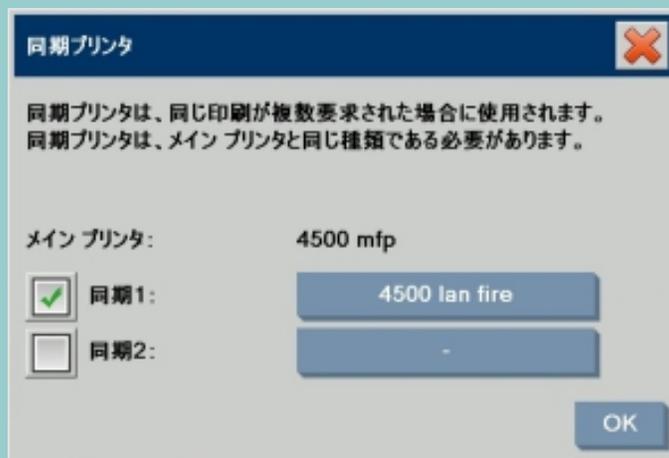
### 複数のプリンタを使用するには...

1. [セットアップ] タブを選択します。



2. [プリンタ] ボタンを選択します。

3. [ツール] ボタン  を選択して、[同期プリンタ] ボタンを選択します。



4. メイン プリンタは常に最初のプリンタになります。その後、"メイン"プリンタと同時出力を行うプリンタを1~2台選択することができます (選択できるプリンタの最高台数は3台です)。プリンタを追加するには、[同期1]、[同期2] ボタンを押します。

注記：同期プリンタは、メイン プリンタと同じモデルである必要があります

ます。

注記：[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [システム] -> [プリンタ ドライバのインストール] および [セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [ツール] ボタン -> [プリンタのセットアップ] を使用して、すべてのプリンタを指定しておく必要があります。「[プリンタの設置とプリンタ ドライバのインストール](#)」も参照してください。





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## 別のコンピュータからの共有ファイルへのアクセス

以下の手順では、同一のネットワーク上にある別のコンピュータからHP Designjet スキャナの共有ファイル フォルダにアクセスする方法を説明しています。

共有ファイルにアクセスするには、以下の情報が必要です。

### 1. HP Designjet スキャナのIPアドレス。

システム管理者によって共有ファイルにアクセス保護が適用されている場合は、以下の情報も必要です。

### 2. FTP/WebDAVアクセスのログインおよびパスワード。

Webブラウザのアドレス フィールドにIPアドレスを入力するだけで、共有フォルダからファイルをダウンロードできます。システム管理者によって保護が適用されている場合は、FTP/WebDAVアクセスのログインおよびパスワードを入力するよう求められます。

コンピュータからの通常のアクセスの設定方法については、以下を参照してください。

[Windows 98からの共有ファイルへのアクセス](#)

[Windows 2000からの共有ファイルへのアクセス](#)

[Windows XPからの共有ファイルへのアクセス](#)

[Mac OS Xからの共有ファイルへのアクセス](#)

[Mac OS 8または9からの共有ファイルへのアクセス](#)

システムから直接IPアドレス情報を取得するには：

注記：管理者パスワードを設定してアクティブにした場合、[詳細設定] ダイアログを表示してIPアドレス情報を確認するには、パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードの入力が求められ、パスワードが分からない場合は、システムの管理者にIPアドレス情報をお問い合わせください。

1. [セットアップ] タブを選択します。
2. [オプション] -> [システム] -> [詳細設定] ボタンを選択します。
3. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
4. [ネットワーク設定] ボタンを押して、IPアドレス情報を表示します。

---

管理者の方へ - ログインとパスワードを設定して、システムを不正なネットワーク アクセスから保護する方法については「[ネットワークの設定](#)」を参照してください。

注記：FTPプロトコル経由で共有ファイルにアクセスすることもできます。この場合も上記と同様に、HP DesignjetスキャナのIPアドレスと、保護が適用されている場合はFTP/WebDAVアクセスのログインとパスワードが必要です。また、FTPクライアントプログラムも必要です。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## Windows 98からの共有ファイルへのアクセス

### HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

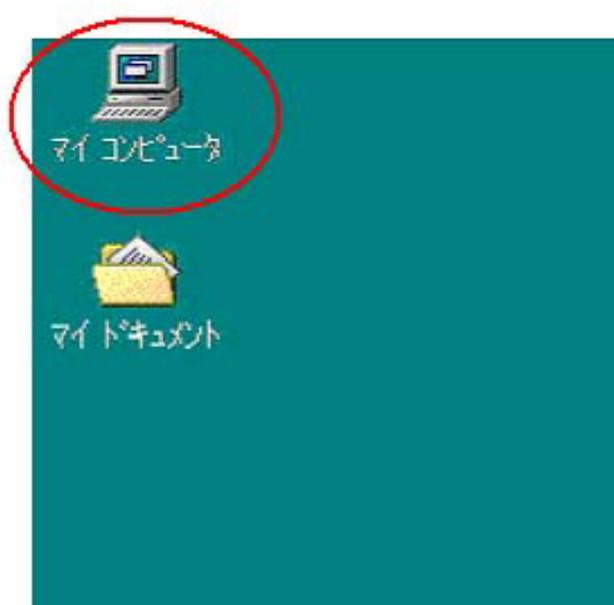
→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

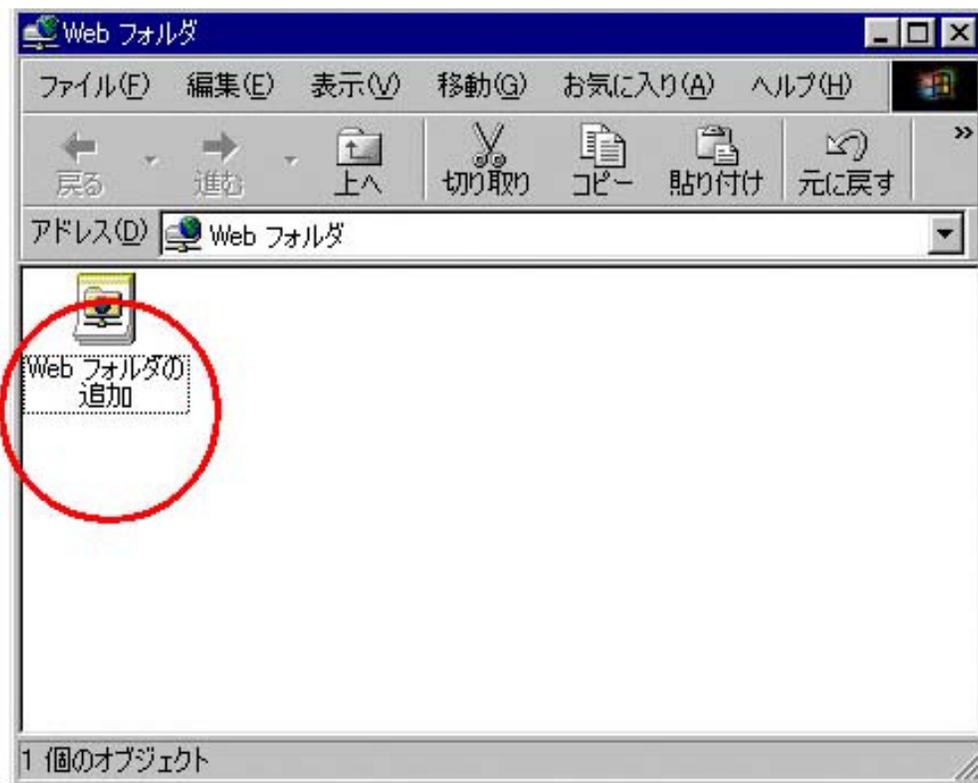
1. コンピュータのデスクトップで、[マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。



2. [Webフォルダ] アイコンをダブルクリックします。



3. [Webフォルダの追加] アイコンをダブルクリックします。



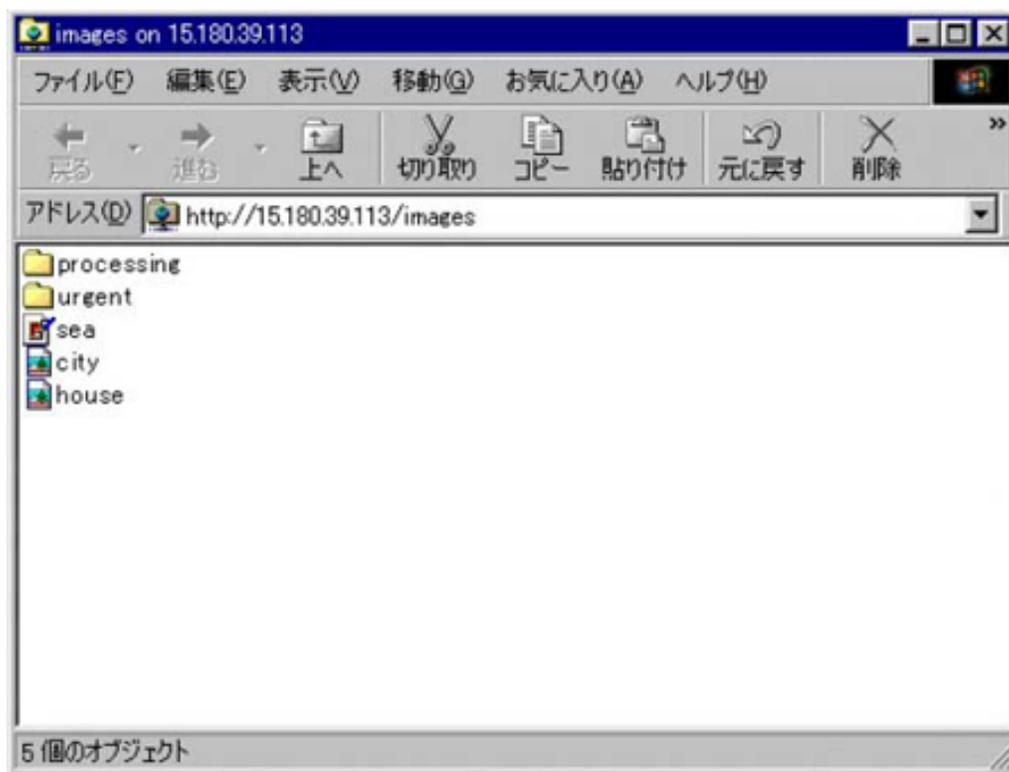
4. HP Designjetスキャナの共有ファイル フォルダのURL「**http://scanner\_ip/images**」を入力します。ここで、「*scanner\_ip*」はスキャナ システムのIPアドレスです。URLを入力したら、[次へ] ボタンをクリックします。



5. HP Designjetスキャナの共有フォルダへのリンクの名前を入力します。このリンク名には分かりやすい名前を付けることをお勧めします。



6. [完了] ボタンをクリックします。これで、スキャナ システムのD:/imagesフォルダ内のすべてのファイルを表示できるようになります。



7. デスクトップからこのフォルダにアクセスするには、[マイ コンピュータ] をダブルクリックして、[Webフォルダ] をダブルクリックします。追加された共有フォルダが表示されます。さらに便利にアクセスできるようにする場合は、フォルダをデスクトップにドラッグしておきます。



これで、コンピュータからHP Designjetスキャナの共有フォルダに、ファイルやフォルダを簡単にドラッグすることができます。

共有フォルダへのリンクを削除するには、まず、そのリンクを選択します。次に、キーボードのShiftキーを押しながらDeleteキーを押します。





## Windows 2000からの共有ファイルへのアクセス

### HP Designjetスキャナ

使用方法...

問題の解決...

詳細...

アルファベット索引

HP Designjet Online

1. コンピュータのデスクトップで、[マイ ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。



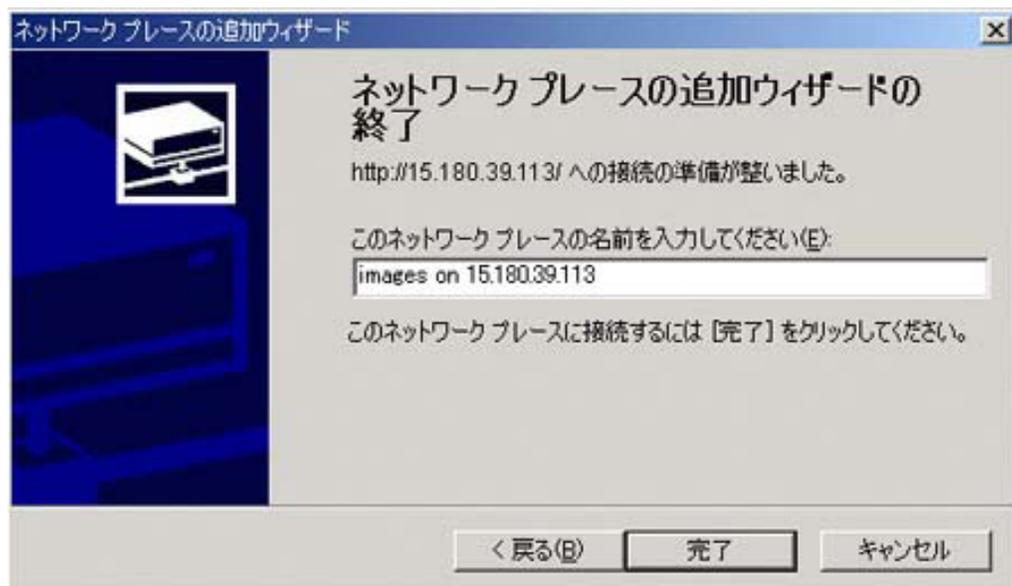
2. [ネットワーク プレースの追加] をクリックします。



3. HP Designjetスキャナの共有ファイル フォルダのURL 「**http://scanner\_ip/images**」を入力します。ここで、「*scanner\_ip*」はスキャナ システムのIPアドレスです。URLを入力したら、[次へ] ボタンをクリックします。



4. HP Designjetスキャナの共有フォルダへのリンクの名前を入力します。このリンク名には分かりやすい名前を付けることをお勧めします。



5. [完了] ボタンをクリックします。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company

**HP Designjet スキャナ**

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ 詳細...

→ アルファベット索引

→ HP Designjet Online

**Windows XPからの共有ファイルへのアクセス**

1. コンピュータのデスクトップで、[マイ ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。



2. [ネットワーク プレースの追加] をクリックします。画面に表示されるウィザードの指示に従います。



My Web Sites on MSN

**未指定**

ネットワーク プレースの追加

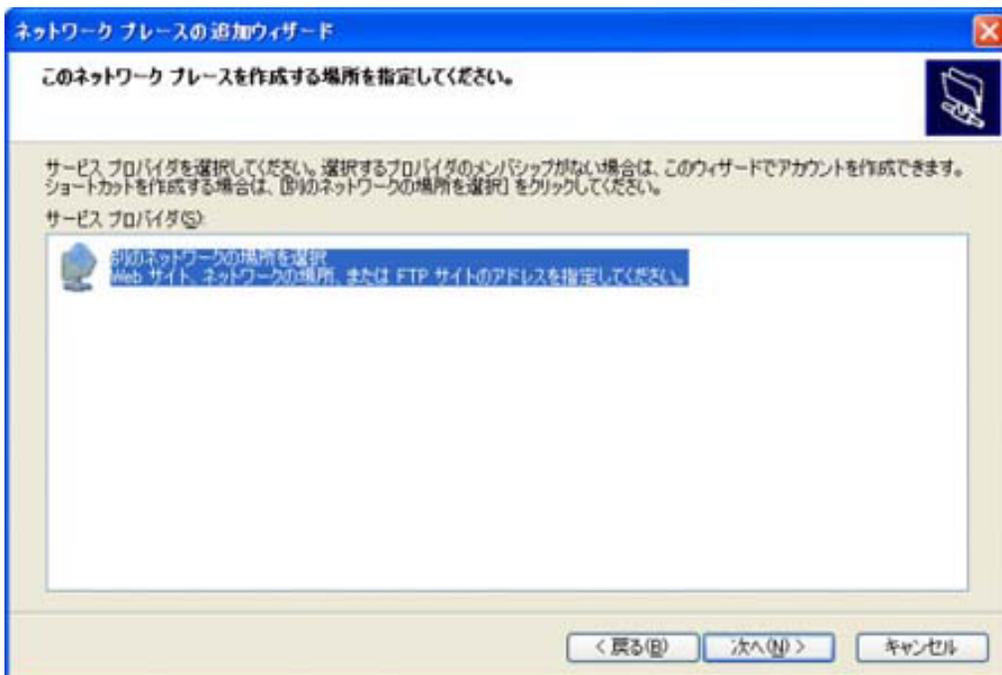


ワイヤレス ネットワーク セットアップ ウィザード

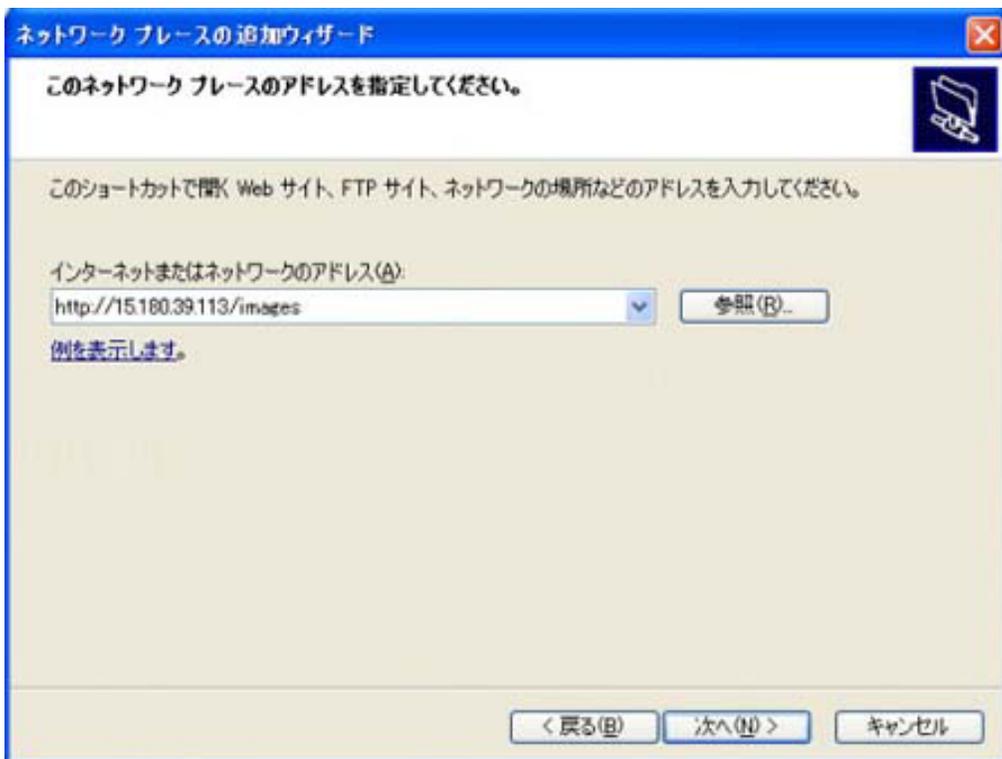


ネットワーク全体

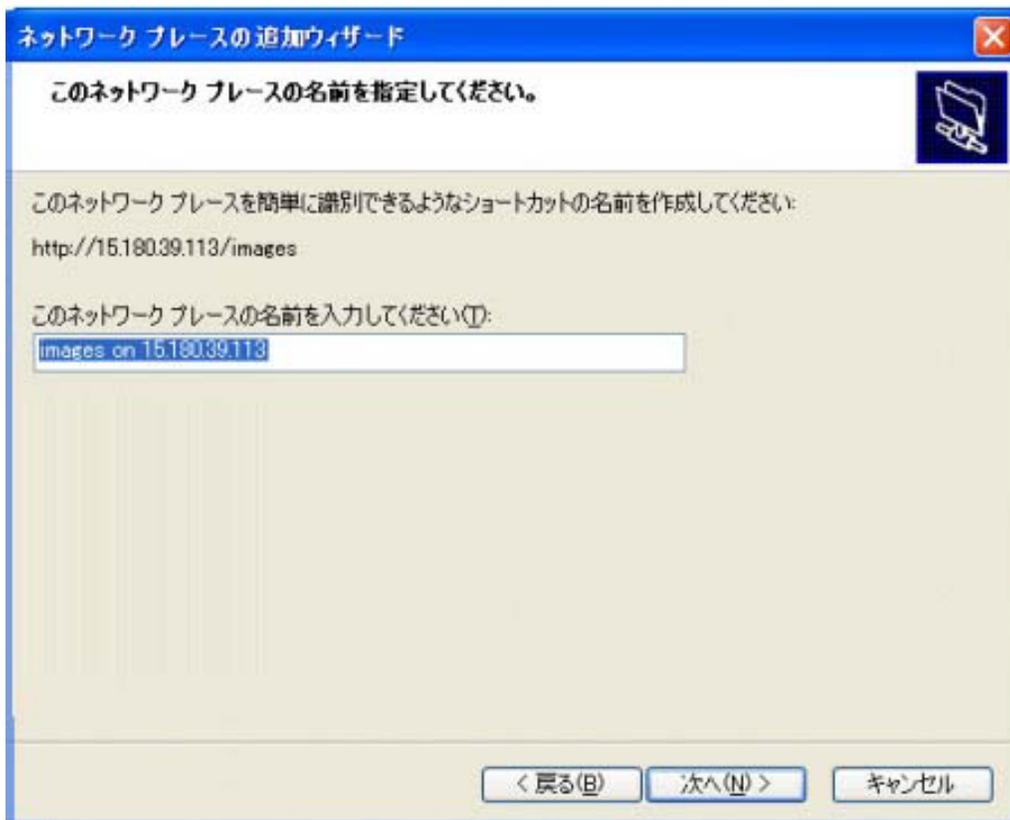
3. [別のネットワークの場所を選択] を選択し、[次へ] をクリックします。



4. HP Designjetスキャナの共有ファイル フォルダのURL「**http://scanner\_ip/images**」を入力します。ここで、「**scanner\_ip**」はスキャナ システムのIPアドレスです。URLを入力したら、[次へ] ボタンをクリックします。



5. HP Designjetスキャナの共有フォルダへのリンクの名前を入力します。このリンク名には分かりやすい名前を付けることをお勧めします。



6. [次へ] ボタンをクリックします。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## Mac OS Xからの共有ファイルへのアクセス

### HP Designjetスキャナ

使用方法...

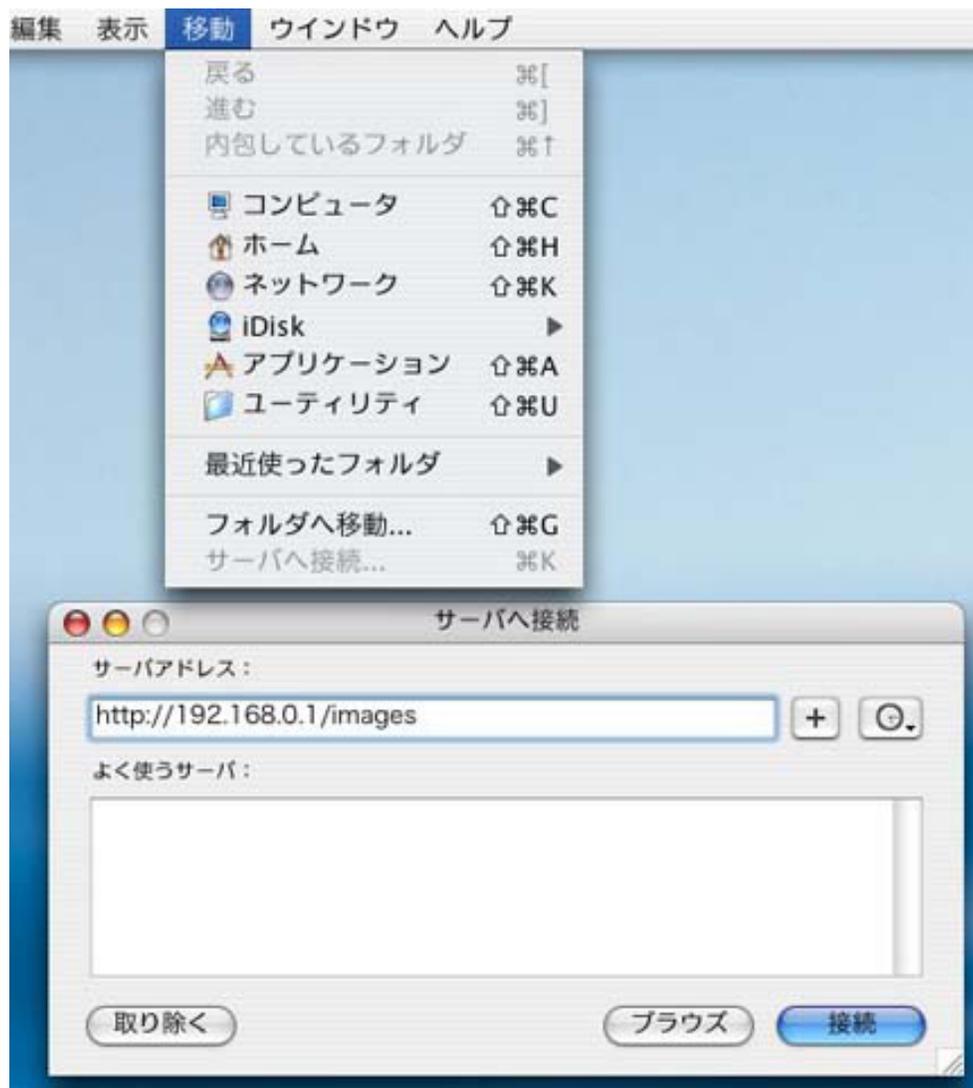
問題の解決...

詳細...

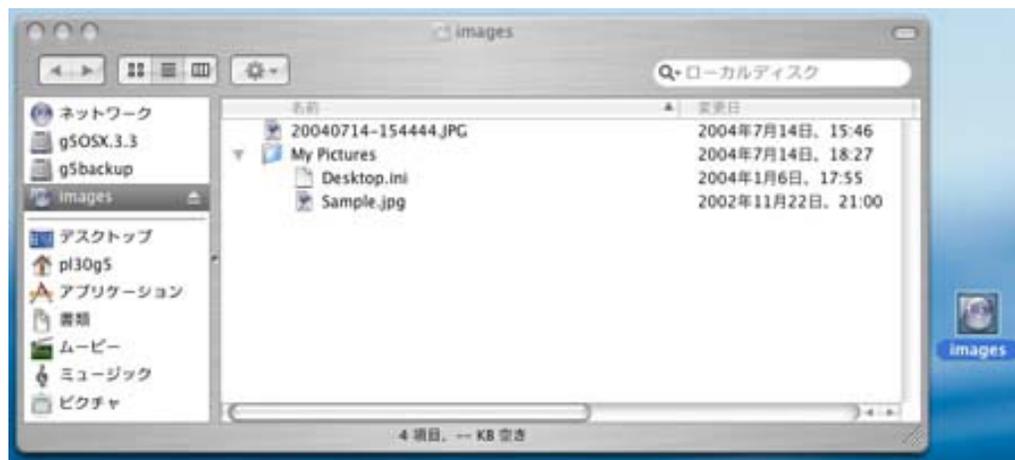
アルファベット索引

HP Designjet Online

1. [移動] メニューの [サーバへ接続] オプションを選択します。
2. HP Designjetスキャナの共有ファイル フォルダのURL「**http://scanner\_ip/images**」を入力します。ここで、「*scanner\_ip*」はスキャナ システムのIPアドレスです。URLを入力したら、[接続] ボタンを押します。



3. フォルダの内容が表示されます。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## Mac OS 8または9からの共有ファイルへのアクセス

### HP Designjetス キャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

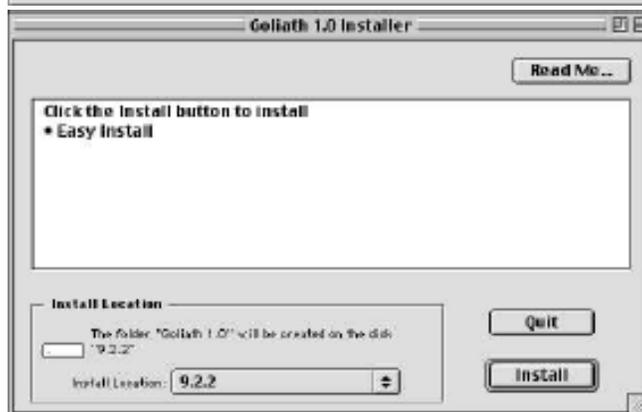
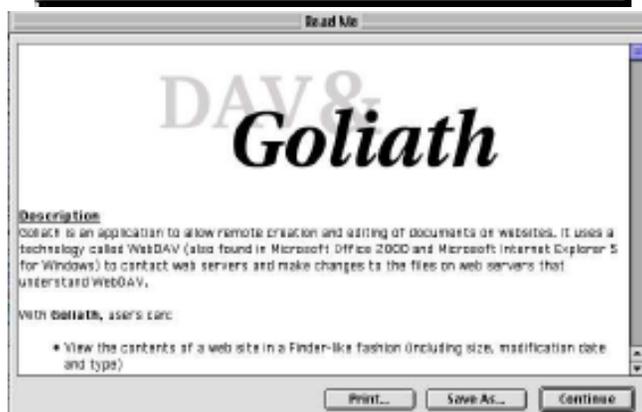
→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

MacOS 8およびMacOS 9では、ネイティブ クライアントはWebフォルダに直接アクセスできません。共有フォルダにアクセスできるようにするには、WebDAVをダウンロードする必要があります。たとえば、<http://www.webdav.org/goliath/>から「Goliath」クライアントをダウンロードしてインストールすることができます。

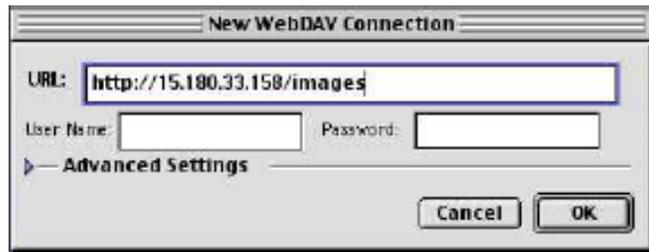
WebDAVとは、Web-based Distributed Authoring and Versioning (Webベースの分散オーサリングおよびバージョン管理) の略語です。HTTPプロトコルの拡張セットで、リモートWebサーバ上でのファイルの編集および管理を共同で行うことができます。

Goliathのインストール画面の例を以下に示します。





HP DesignjetスキャナのIPアドレスと接続するフォルダ名 (**images**) を入力します。





## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## [サービス] ボタンについて

[サービス] ボタンは、[システムオプション] ダイアログにあります。このダイアログを表示するには、[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [システム] を選択します。

[サービス] ボタンには、サービス技術スタッフが保守作業中に使用する機能やスキャナ デバイスのログが含まれています。

[サービス] ボタンのオプションは、システム ユーザが使用する必要はありません。

[サービス] ボタンから利用できる機能にアクセスするには、特別なサービス用パスワードが必要です。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## スキャナに警告メッセージが表示される

### HP Designjetス キャナ

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ 詳細...

→ アルファベット索引

→ HP Designjet Online

### スキャナにメッセージが表示された場合...

1. メッセージに対応手順が記されています。
2. メッセージに関連する「問題の解決...」トピックを参照して、その手順に従います。

[スキャナの交換可能な部品の交換方法](#)

[スキャナの保守手順](#)

または、以下も参照してください。

[スキャナ メッセージについて](#)



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjetスキャナ

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ 詳細...

→ アルファベット索引

→ HP Designjet Online

## スキャナ メッセージについて

このダイアログには、スキャナに関するメッセージが表示され、スキャナの保守プログラムを起動する機能があります。



スキャナ メッセージは、画面に一度だけ、自動的に表示されます。その後は、ステータス バーの赤く表示された「スキャナ メッセージ (ここを押してください)」というテキスト (画面の左下) を押すと、メッセージを再表示できます。

スキャナ メッセージには、報告されている問題の解決方法も表示されません。

### 【スキャナ保守】 ボタン :

ほとんどの問題は、[スキャナ保守] を実行することで解決できます。このボタンを押すと、カメラのアライメントとキャリブレーションが開始されます。





## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## スキャナの部品交換

長期間の使用によって消耗した主要なスキャナの部品は交換することができます。

これらの部品を交換すると、スキャナが新しくなるため最適な結果が得られます。

部品を交換する前に、「[保守手順](#)」の説明どおりにスキャン領域をクリーニングして、それでエラーやイメージの問題が解消しないか確認します。

トピックの選択：

[ガラス プレートの交換](#)

[カバー裏の白いプラテンの交換](#)

[スキャナ ランプの交換](#)

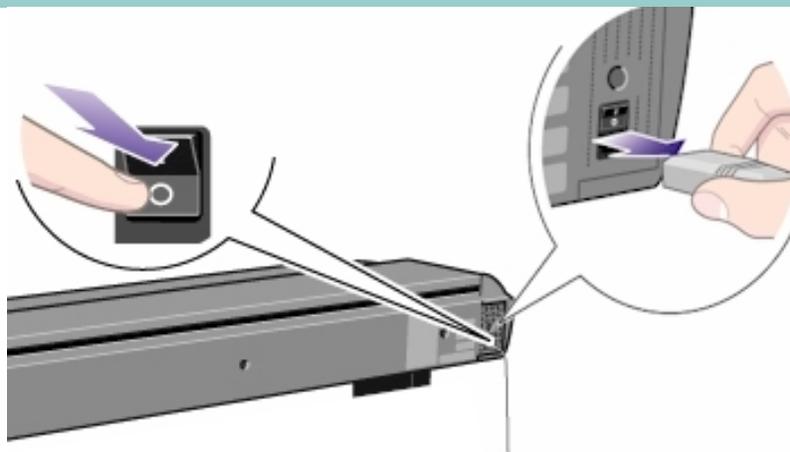
[エア フィルタの交換](#)

### ガラス プレートの交換

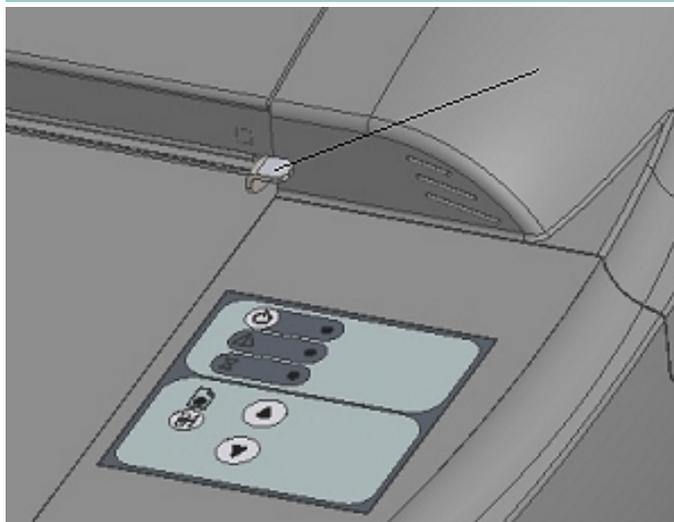
ガラス プレートに小さな傷があっても、スキャン品質は低下します。そのような場合、新しいガラス プレートに交換することを勧めるメッセージが表示されます。このような場合、新しいプラテンに交換することをお勧めします。交換する前にクリーニングを行い、それによりエラーやイメージの問題が解消しないかを確認します。

ガラス プレートを交換するには：

1. スキャナの電源をオフにして、電源プラグを外します。



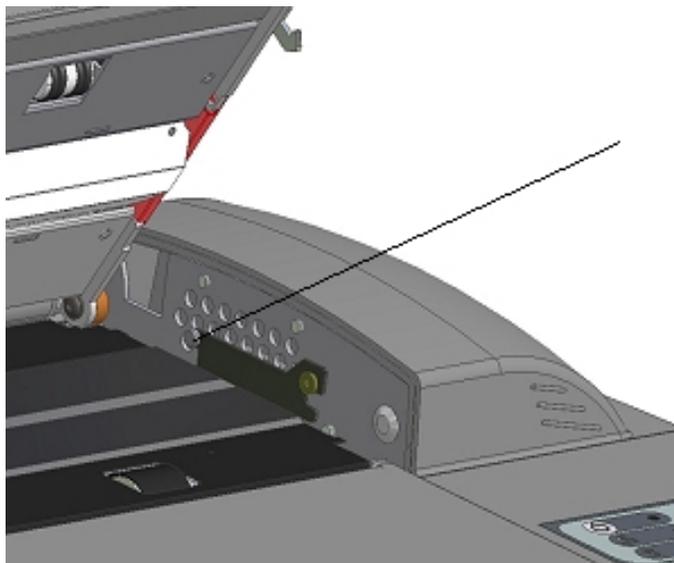
2. 挿入スロットの近辺にある、スキャン領域カバー両端の2つのレバー ボタンを押し下げます。スキャン領域カバーのロックがこれで解除されます。



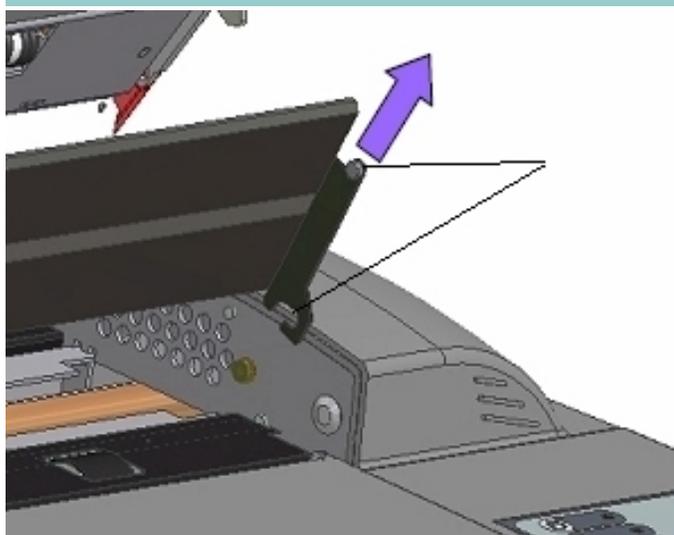
3. レバー ボタンを2つとも押したまま、空いている指を挿入スロットに入れてスキャン領域カバーを開きます。ガラス プレートが現れ作業ができるようになります。



4. ガラス プレートの両側に、小さなレバーと丸いハンドルがあります (下の図を参照)。親指を両側のハンドルの下に引っ掛けます。両手で左右のハンドルを同時に引き上げ、レバーとガラス プレートを手前に引き上げます。



5. 各レバーは、小さなフックをピンに固定することによってスキャナシャーシに取り付けられています。親指をハンドルに置いたまま、両方のレバーを同時に持ち上げてフックをピンから外し、ガラスプレートをスキャナから取り外します。



6. 新しいガラスプレートを取り付けするには、新しいガラスプレートのレバーフックを、スキャナの両側のピンに差し込みます。
7. ハンドルに親指を置いてガラスプレートを支え、注意しながら静かにガラスプレートを向こう側に押し、所定の位置にセットします。
8. スキャン領域カバーを閉じると、カバーがロックされます。

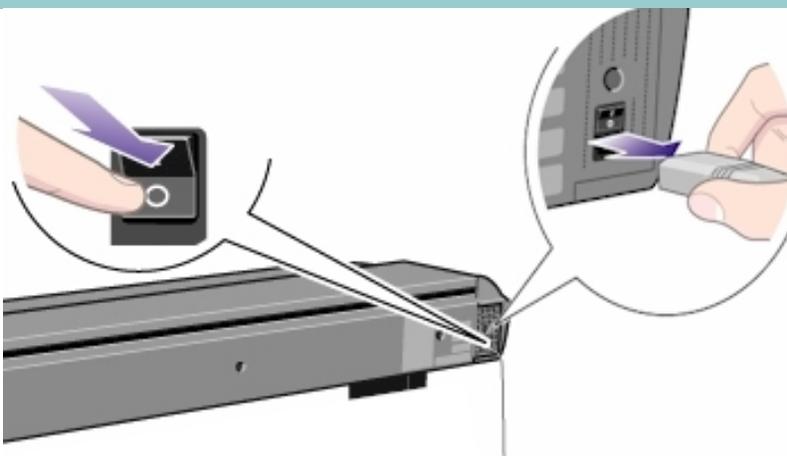
注記：新しいガラスプレートは、スキャナを使用する前にクリーニングしてください。

### カバー裏の白いプラテンの交換

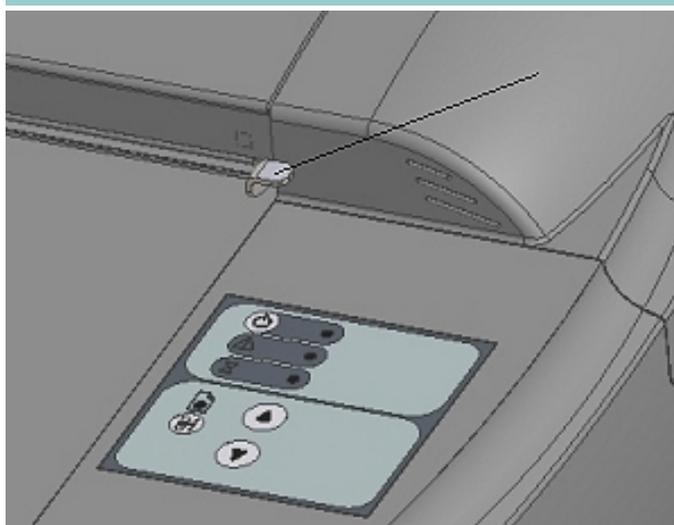
長期間の使用により、カバー裏の白いプラテンが劣化し変色してしまった場合は、新しいプラテンへの交換をお勧めします。カバー裏の白いプラテンは、交換する前にクリーニングを行い、それによりエラーやイメージの問題が解消しないかを確認します。

カバー裏の白いプラテンを交換するには：

1. スキャナの電源をオフにして、電源プラグを外します。



2. 挿入スロットの近辺にある、スキャン領域カバー両端の2つのレバー ボタンを押し下げます。スキャン領域カバーのロックがこれで解除されます。



3. レバー ボタンを2つとも押したまま、空いている指を挿入スロットに入れてスキャン領域カバーを開きます。



4. カバーの右端に赤いストリップがあります。赤いストリップを取り外して、白いプラテンの端が見えるようにします。



5. 白いプラテンの端を指で握り、スキャナからスライドさせて外します。



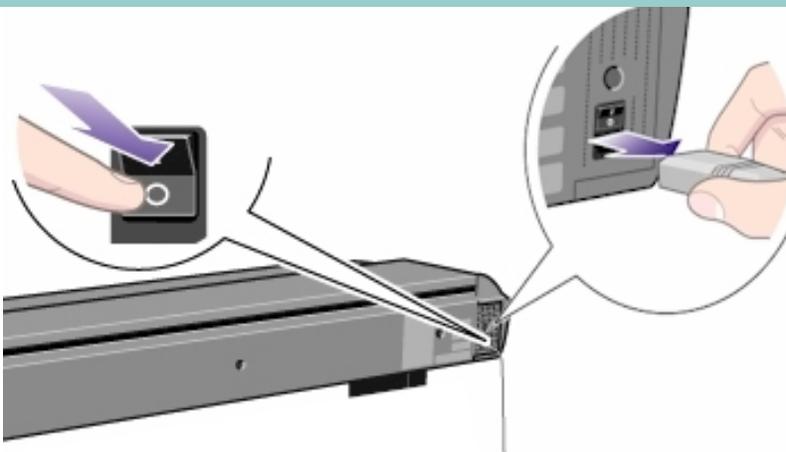
6. 新しいプラテンを差し込みます。
7. 赤いストリップを再度取り付けます。
8. スキャン領域カバーを閉じると、カバーがロックされます。

### スキャナ ランプの交換

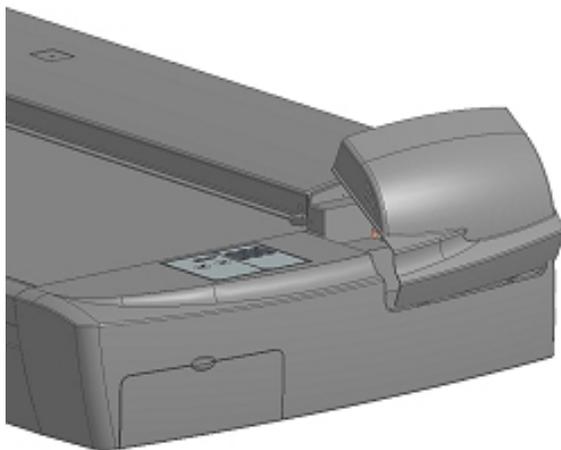
ランプの効率は時間とともに弱まっていきます。長期間使用した場合は、ランプユニット（ランプ、反射板、電源コネクタ）の交換をお勧めします。ランプを交換する前に、「[保守手順](#)」の説明どおりにスキャン領域をクリーニングして、エラーやイメージの問題が解消しないか確認します。

ランプユニットを交換するには：

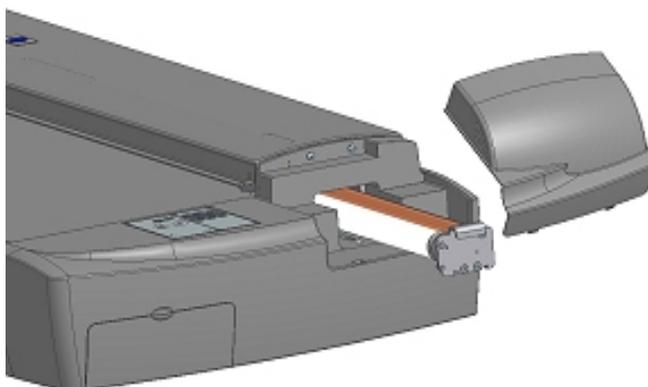
1. スキャナの電源をオフにして、電源プラグを外します。



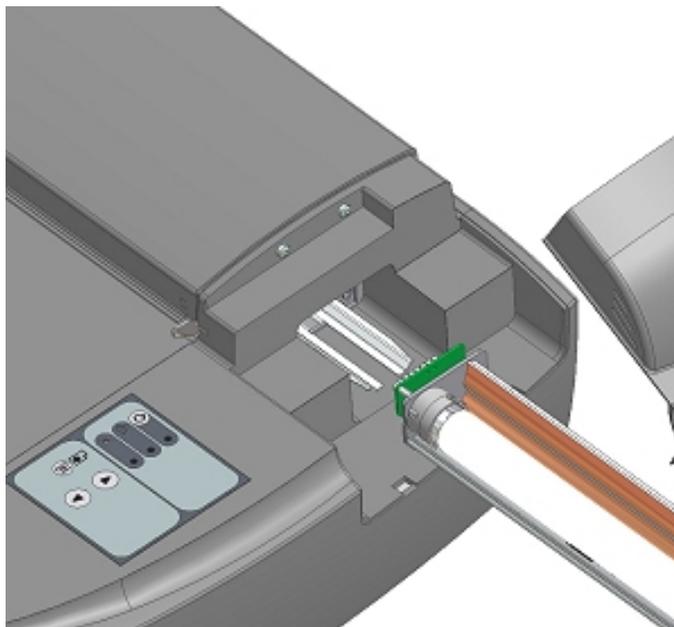
2. ランプカバーは、スキャナの右端の上部にあります。カバーの両端を両手で持って手前に引くとカバーが開きます。カバーを持ち上げてスキャナから取り外します。



3. ランプユニット全体を交換します。ランプユニットは、反射板ブレースに取り付けられたランプと、固定された電源コネクタから構成されています。ランプユニットの端をつかんで、スキャナからそっと引き出します。



4. 新しいランプユニットを取り付けるには、ランプユニットの電源コネクタの側をスライダの上に置いて、そのままスキャナにそっと差し込みます。



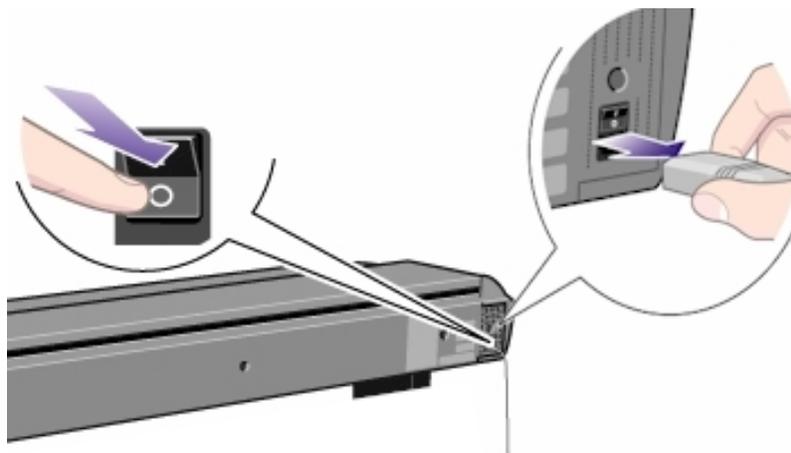
5. 奥まで差し込み、内部の電源接続部とランプユニットを接続します。
6. スキャナのランプカバーを再度取り付けます。下部のノッチを穴にはめ込んで、カバーをしっかりと閉じます。必ずカバーを閉じてから、スキャナの電源をオンにしてください。
7. 電源とスキャナをオンにしてランプが点灯するかをチェックし、交換が完了したことを確認します。

### エアフィルタの交換

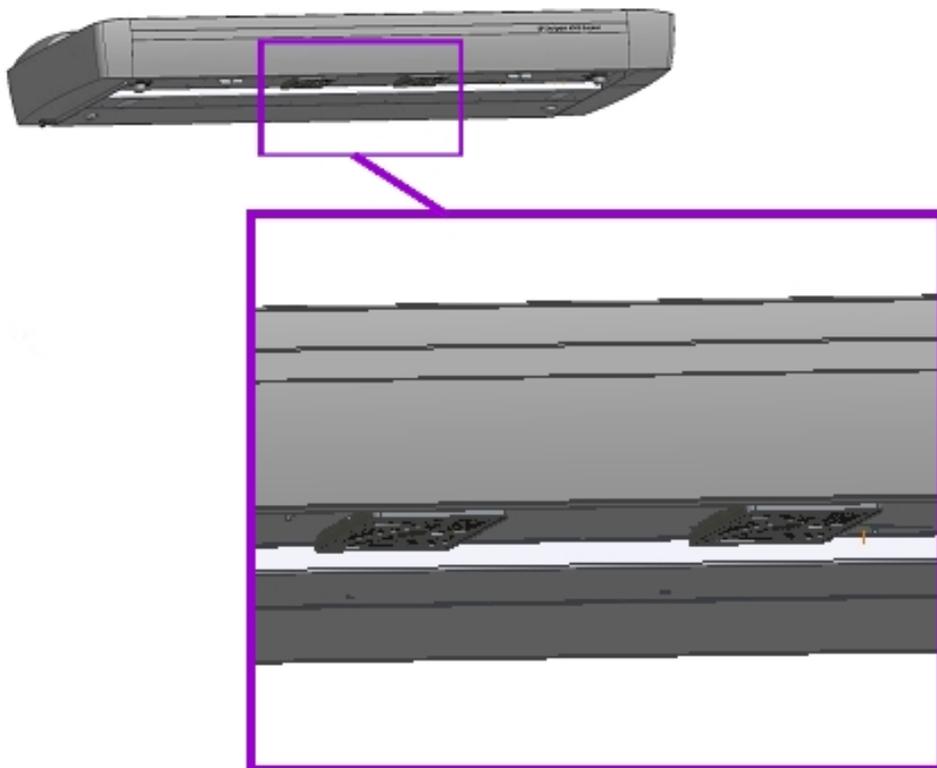
新しいエアフィルタを使用すると、クリーニングとキャリブレーションにかかる時間を短縮できます。エアフィルタはスキャナの空気冷却孔を保護し、埃や余計な粒子の侵入を防ぎます。

エアフィルタを交換するには：

1. スキャナの電源をオフにして、電源プラグを外します。

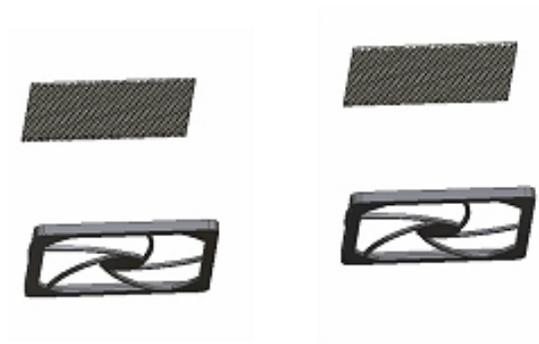


2. スキャナの底部に、四角いエア フィルタ ビンが2つ装着されています。



3. エア フィルタ ビンの端を引っぱって枠から外します。

4. フィルタ (柔らかい素材) はビン内部にあります。古いフィルタを取り外して、新しいフィルタに取り換えます。



5. ビンをスキャナ底面の枠に再度取り付けます (軽く押します)。

6. 2つめのフィルタも同様に取り替えます。





## HP Designjetス キャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## システムの日付と時刻の設定

日付と時刻を設定して、プログラムに認識させることができます。日付と時刻の設定は、アカウントティングに関係します。

### 日付と時刻を設定するには

1. [セットアップ] タブを押します。

コピー スキャン 印刷 セットアップ

2. [オプション] -> [システム] を押します。

3. [時刻と日付の設定] ボタンを押します。

4. まず、タイムゾーンを設定します。[タイムゾーン] ボタンを押して、現在地のタイムゾーンを選択します。

5. 必要に応じて、[夏時間の自動調整] を選択することもできます。

6. 現時のタイムゾーンが選択されたら、現在の日付と時刻を設定します。それぞれの値のボタンを押して設定します。値の設定にはキーボードを使用します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

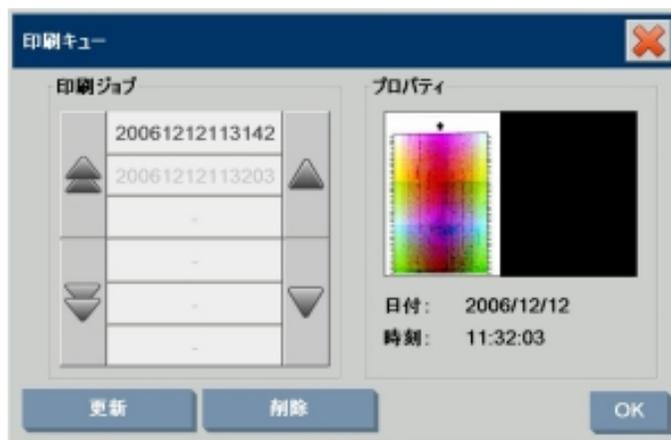
→ [HP Designjet Online](#)

## 印刷キューの表示

一部のプリンタでは、メイン画面の下に [印刷キュー] ボタンがあります。



現在のプリンタ ジョブのキューを表示するには、このボタンを押します。



## 印刷キューを表示するには

画面下部の [印刷キュー] ボタンを押します。



印刷キュー リスト ダイアログを利用して、出力待ちのジョブを管理できます。リスト内を移動して、不要なジョブを削除することができます。

印刷キュー ダイアログの [プロパティ] セクションには、キュー リストで選択したジョブのプレビューや追加情報を表示できる領域があります。

注記：この機能が使用できないプリンタ モデルもあります。





## HP Designjet スキャナ

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ 詳細...

→ アルファベット索引

→ HP Designjet Online

## ネットワーク フォルダにスキャン ファイルを保存してアクセスするには

デフォルトでは、システムのフォルダ参照ダイアログには、ローカルドライブとフォルダのみが表示されます。このトピックでは、システムにネットワークの場所を追加する方法について説明します。追加操作の完了後は、ネットワークの場所とそこにあるフォルダを [スキャンしてファイルに保存 \(\[スキャン\] タブ\)](#) ジョブの保存先として使用したり、[ファイル マネージャ \(\[フォルダ\] ボタン\)](#) を使ってアクセスしたりできるようになります。

## ネットワーク接続を追加/保存/削除するには

1. システムをネットワークに接続しておきます。
2. [フォルダ] ボタン を押して [ファイル マネージャ] ダイアログを開きます。 
3. [ネットワーク] ボタンを押します。
4. [ネットワーク接続の追加] ボタンを押します。下のダイアログが開きます。これ以降の手順で説明するダイアログの設定について情報が必要な場合は、担当のネットワーク管理者にお問い合わせください。

5. ネットワーク フォルダ – ネットワーク上にあるフォルダへのフルパス名を入力します。ここにはサーバ名、IPアドレスなど、ネットワークで認識される、有効な接続/場所を表す名前を指定で

きます。

6. ユーザ名 – ネットワーク サーバ/マシンへのログインに使用するユーザ名です。コンピュータがネットワーク ドメイン上にある場合は、フィールドに次のような組み合わせを入力します。  
<domain name>¥<user> 例：  
"MAINOFFICE¥John"
7. パスワード – ネットワーク サーバ/マシンへのログインに使用するパスワードです。
8. ラベル – このラベルは、お使いのHP Designjetスキャナ システムの参照ダイアログに表示されるようになります。ネットワーク 接続先の名前には他と識別できる名前をつけてください。
9. ログイン時に再接続 – このオプションがオフの場合、パネルPCのシャットダウン時にネットワーク接続定義が自動的に削除されます。このオプションをオンにすれば、接続を保存しておき、システム起動時に必ずそれを有効にするように設定できます。  
注記：[ログイン時に再接続] はユーザー機能です。このオプションは、システム管理者が有効にしている場合のみ表示されます。詳細は「[ネットワーク接続を保存できるようにするには](#)」を参照してください。

注記：ネットワーク接続は必要な数だけ追加することができます。ただし、このシステムでは同一のサーバで複数のユーザによる2つ以上のネットワーク接続は確立できません。例：

最初に

ユーザ名「john」、 「¥¥server1¥colorphotos」でネットワーク接続します。

その後、あなた（または異なるユーザ）が

ユーザ名「Judy」、 「¥¥server1¥pdffiles」でネットワーク接続を試みます。

すると、接続はシステムによって拒否されます。

ネットワーク接続の削除：

手動削除：ネットワーク接続を削除するには、[フォルダ] ボタ



ン -> [ネットワーク] -> [ネットワーク接続の削除] を使用します。

自動削除：ネットワーク接続定義が保存されていない場合（上記参照）は、パネルPCのシャットダウン時に自動的に削除されます。

保存された接続は手動で削除してください。たとえば、サーバの状況や権限が変更されたため、システム起動時に保存されたネットワーク接続で接続できない場合には、これを削除する必要があります。

### ネットワーク フォルダにスキャン ファイルを保存するには

1. 前述の「ネットワーク接続を追加するには」のすべての手順を実行します。
2. [スキャン] タブを選択し、スキャンしてファイルに保存するジョブと同様の設定を行います。



3. [ファイル フォルダ] ボタンを押します。
4. 1つ上の階層に移動ボタン ([..]) を表示されなくなるまで押し、最上位の階層に移動します。最上位の階層にはアクセス可能なドライブのリストが表示されます。
5. このリストから、ネットワークの場所 (前述の「ネットワーク接続を追加するには」の手順8で入力したラベルなど) を見つけます。
6. 目的のネットワークの場所を選択します。
7. 接続が完了すると、選択したネットワークの場所の下にあるフォルダに移動して、保存先として選択できるようになります。
8. 保存先フォルダとして使用するフォルダをハイライトして [OK] を押します。

### ネットワーク フォルダのファイルにアクセスするには

1. 前述の「ネットワーク接続を追加するには」のすべての手順を実行します。
2. [フォルダ] ボタン を押して [ファイル マネージャ] ダイアログを開きます。
3. 1つ上の階層に移動ボタン ([..]) を表示されなくなるまで押し、最上位の階層に移動します。最上位の階層にはアクセス可能なドライブのリストが表示されます。
4. このリストから、ネットワークの場所 (前述の「ネットワーク接続を追加するには」の手順8で入力したラベルなど) を見つけます。
5. 目的のネットワークの場所を選択します。
6. ネットワーク上の場所でアクセスするフォルダに移動します。
7. 開くフォルダをハイライトして [OK] を押します。



[< ヘルプの最初のページに戻る](#)

## HP Designjetス キャナ

[→ 使用方法...](#)[→ 問題の解決...](#)[→ 詳細...](#)[→ アルファベット索引](#)[→ HP Designjet Online](#)

## HP Designjetスキャナを初めて使用する前に

HP Designjetスキャナをお選びいただき、ありがとうございます。

ここでは、このスキャナ システムを使用する前に必要となる手順について説明します。

まずこの手順を完了し、その後で、操作について疑問があればこのヘルプシステムを使用して答えを調べてください。情報は3つのカテゴリーに分かれていますので、各トピックの左側にあるナビゲーション ブロックを使用して、調べるカテゴリーを選択してください。

### 初めて使用する前に必要な手順

1. [プリンタの設置とプリンタ ドライバのインストール](#)
2. [スキャナの保守の実行](#)
3. [新しいメディア プロファイルの作成](#)

ヘルプの手順の表示に関する注記：このページを印刷する必要はありません。ヘルプ トピックを表示中の場合は、[非表示] ボタンを押すとヘルプ ウィンドウが閉じるので、初めて使用する前に必要な手順を画面全体で確認できます。最後に表示していたヘルプ トピックはシステムに記憶されているので、[?] ボタンを押すとそのヘルプ トピックが再表示されます。



まずこの手順を完了し、その後で、操作について疑問があればこのヘルプシステムを使用して答えを調べてください。このヘルプ システムの使用方法については、「[HP Designjetスキャナへようこそ](#)」を参照してください。

### 手順1：プリンタを設置してプリンタ ドライバをインストールする

スキャナ、ソフトウェア、およびプリンタを連携させて使用するには、まずHP Designjetスキャナ システムにプリンタを認識させる必要があります。

HP Designjet 4500 プリンタにはIEEE1394 (FireWire) インタフェースによるローカル接続、HP Designjet 800プリンタおよびHP Designjet T1100 プリンタにはUSBインタフェースによるローカル接続を使用できます。ローカル接続によってプリンタ ドライバの自動検出機能が有効になります。その他のプリンタはLANで接続される必要があります、セットアップ時に正しいドライバを選択してインストールします。

プリンタとプリンタ ドライバのセットアップ手順については、以下のリンクを参照してください。

### 1. [プリンタの設置とプリンタ ドライバのインストール](#)

## 手順2：スキャナの保守を実行する

スキャナの初期保守を実行しておくこと、最初から信頼性のある正確な性能が保証されます。スキャナが届き、開梱してセットアップしたら、クリーニングとキャリブレーションを実行してから使用を開始してください。その後は定期的にスキャナの保守を実行すると、すべてのジョブで信頼性のある安定した結果を得られるようになります。

1. [スキャナの保守 \(クリーニング、キャリブレーション\) の手順を参照する](#)
2. [スキャナの保守の詳細を参照する](#)

## 手順3：プリンタのメディア プロファイルを作成する

メディア プロファイルには、特定のメディアでスキャナの色とプリンタの色を一致させるためのデータが保存されます。特定のカラー プリンタで使用するメディアのタイプごとに、メディア プロファイルを作成する必要があります。

新しいメディア プロファイルは、カラー コピーに使用されます。コピーを開始する前に、プリンタに取り付けたメディアに対応したメディア プロファイルを選択します。この操作により、スキャナ、プリンタ、メディアというそれぞれの要素を調和させて、原稿とコピーの色を一致させることができます。

1. [使用しているプリンタとメディアに合った新しいメディア プロファイルを作成するには](#)

これで、HP Designjetスキャナ システムのセットアップは完了です。いつでも高品質のコピーを作成することができます。このヘルプ システムの詳細を確認する場合、またはHP Designjetスキャナの操作に関して疑問があるので答えを調べたい場合は、「[HP Designjetスキャナへようこそ](#)」ページに移動してください。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## [サイズ変更] オプションを使用した出力サイズの設定方法

### HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

### 出力サイズを選択するには...

1. [スキャン] タブを押します。



2. [サイズ変更] ボタンを押します。

以下のいずれかのオプションを選択できます。

[なし] : サイズは変更されません。出力サイズと入力サイズは同じサイズになります。

[サイズ] : [出力サイズ] ダイアログが表示されます。ここで、カスタムまたは標準のサイズを設定できます。 [操作手順はこちらを参照してください。](#)

[倍率] : [倍率] ダイアログが表示され、そこで倍率を指定できます。 [操作手順はこちらを参照してください。](#)

または、以下も参照してください。

...[入力サイズの設定](#)



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)

[問題の解決...](#)

[詳細...](#)

[アルファベット索引](#)

[HP Designjet Online](#)

## カラー精度の最適化

カラー精度を最適化するには、以下のガイドラインに従ってください。

### ガイドライン...

1. スキャナのガラス プレートとカバー裏の白い部分が汚れていないか、クリーニングやキャリブレーションなどのスキャナ保守を最近実行したかどうかを確認します。[スキャナ保守の手順については、こちらを参照してください。](#)
2. スキャナのウォームアップを開始してからコピーを開始するまでに、最低1時間経過していることを確認します。
3. プリンタに取り付けられているメディアのタイプに応じたメディア プロファイルが存在することを確認します。存在しない場合は、新しいメディア プロファイルを作成します。[メディア プロファイルの作成手順については、こちらを参照してください。](#)
4. プリンタに取り付けられている特定のメディアのために作成されたメディア プロファイルが現在のジョブで選択されていることを確認します。選択されていない場合は、[コピー] タブ -> [メディア プロファイル] で選択します。[メディア プロファイルの選択手順については、こちらを参照してください。](#)
5. コピーする原稿が、このシステムまたは別のインクジェット プリンタで印刷したものであるかどうかを確認します。その場合は、[コピー] タブ -> [コピー設定] ダイアログ、または [印刷] タブ -> [印刷設定] ダイアログで [インクジェット プリンタの原稿] オプションをオンにします。[出力品質の設定手順については、こちらを参照してください。](#)
6. カラー マップをコピーしていて、コピーの色の一部がグレーに見える場合は、原稿のタイプのテンプレートの [グレーを強調させる] オプションがオフになっていることを確認します。確認するには、[コピー] タブ -> [原稿のタイプ] -> [ツール] ボタン -> [詳細] -> [グレーを強調させる] を選択します。  
[「原稿のテンプレートの定義」](#)も参照してください。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## イメージが印刷されず、ジョブがキューで保留される

プリンタからイメージの印刷が開始されない場合は、ジョブが印刷キューで保留されている可能性があります。一部のプリンタでは、プリンタのキューを表示してこの問題を確認することができます。表示する



には、画面下部の [印刷キュー] ボタンを押します。

プリンタでジョブが保留されて印刷されなくなる原因は、いくつか考えられます。以下を参照して問題を解決してください。

### ジョブがキューで保留される場合...

1. 選択したメディア プロファイルがプリンタに取り付けられているメディアと対応していない場合、ジョブは保留されます。メディア プロファイルの設定が正しくないことがわかった場合は、「[メディア プロファイルの選択](#)」を参照してください。  
プリンタに現在取り付けられているメディアのメディア プロファイルがシステムに存在しない場合は、「[新しいメディア プロファイルの作成](#)」を参照してください。
2. ジョブに定義されている出力サイズの幅が、プリンタに取り付けられているロール紙の実際の幅より広い場合、ジョブは保留されます。ロール紙を交換するか、出力サイズの幅を変更してください。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



HP Designjetス  
キャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## バッチコピー、およびバッチスキャンしてファイルに保存

バッチコピーとバッチスキャンを利用すれば、1回のセッションでパラメータを再調節したり [コピー] ボタンや [スキャン] ボタンを繰り返しクリックしたりせずに、大量の原稿を処理することができます。

バッチスキャンの場合、スキャナに原稿を取り付けたら、後は作業の終了を待つだけです。同じ設定を必要とする原稿をひとまとめにスキャンする場合に便利です。

バッチスキャンにより、スキャンしてプリンタに出力 (コピー) することもファイルに保存することもできます。バッチスキャンして直接印刷 (コピー) する機能は、白黒図画など原稿を高速印刷する場合に最適です。

### ...バッチコピー、またはバッチスキャンしてファイルに保存を実行するには

1. 同じ設定でスキャンする原稿を用意します。
2. 原稿のいずれかをスキャナに取り付けます。
3. 1枚の原稿をスキャンするときと同じようにパラメータを設定します。コピーの場合は [コピー] タブ、スキャンしてファイルに保存する場合は [スキャン] タブで設定を行います。

4. コピーの場合 :

[コピー] タブ -> [設定] -> [バッチスキャン] を選択して、[OK] を押します。準備が完了したら、[コピー] ボタンを押しま



す。

スキャンしてファイルに保存する場合 :

[スキャン] タブ -> [設定] -> [バッチスキャン] を選択して、[OK] を押します。準備が完了したら、[スキャンしてファイルに

保存] ボタンを押します。



5. プログラムがバッチスキャンモードで起動します。原稿を取り付けると、その内容がすぐに保存されます。

6. バッチスキャンモードを中断するには、[停止] ボタンを押します。



その場合、原稿を取り付けてもすぐにスキャンされて保存されなくなります。バッチスキャンを再開するには、[コピー] ボタンま

または [スキャンしてファイルに保存] ボタンを押します。

7. [設定] ボタンを使用してバッチ スキャン オプションをキャンセルするまでは、スキャナはバッチ スキャン モードのままの状態です。

ヒント：スキャンが完了するたびに原稿が排紙されるようにスキャナを設定すれば、次の原稿を取り付けられるようになります。

そのように設定するには、[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [スキャン中] -> [排紙] を選択します。

ヒント：ファイルへのバッチ スキャンを行う場合、自動的にファイル名を割り当てる機能を使用することができます。ファイル名の自動割り当ては、[スキャン] タブ -> [ファイル名] フィールドで、ファイルへのスキャンの設定を行う際に定義できます。詳しくは、ヘルプ トピックの [ファイルへのスキャン方法](#) を参照してください。





## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## イメージを自動的に揃えるには

最高のスキャン結果を得るには、原稿をスキャナに挿入する際に正しい位置に取り付け、原稿がまっすぐに送られるようにする必要があります。しかし、大きい原稿を挿入する場合、向きがわずかに偏ることがあります。アプリケーションを使ってスキャン中にこれを修正するには、[自動アライメント] オプションをオンにします。

[自動アライメント] がオンにされていると、原稿のイメージの特徴に基づいて、スキャン中にアプリケーションがイメージの位置を揃えます。

[自動アライメント] は、コピー ([コピー] タブから実行) の場合にもスキャンしてファイルに保存する ([スキャン] タブから実行) 場合にも適用できます。

### ...コピーまたはスキャンしてファイルに保存するジョブで自動アライメントを適用するには

1. 原稿をできるだけ均等にスキャナに挿入します。
2. [コピー] タブまたは [スキャン] タブで、ジョブに必要な設定を行います。
3. コピーの場合 :  
[コピー] タブ -> [設定] -> [自動アライメント] を選択して、[OK] を押します。準備が完了したら、[コピー] ボタンを押しま



す。

スキャンしてファイルに保存する場合 :

[スキャン] タブ -> [設定] -> [自動アライメント] を選択して、[OK] を押します。準備が完了したら、[スキャンしてファイルに保存] ボタンを押します。



### [アライメントのリセット] オプション

[アライメントのリセット] ボタンは、[自動アライメント] オプションの横にあります。

[アライメントのリセット] ボタンを押すと、アライメント (自動と手動の両方) の角度が0 (アライメントなし) に設定され、[自動アライメント] がオフになります。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjetスキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## イメージの左右反転

[ミラー] オプションをオンにしてから [コピー] ボタンまたは [スキャン] ボタンを押すと、イメージが左右反転して入力されます。

[ミラー] オプションは、コピー ([コピー] タブから実行) の場合にもスキャンしてファイルに保存する ([スキャン] タブから実行) 場合にも適用できます。

...コピーまたはスキャンしてファイルに保存する場合にイメージを左右反転させるには

1. 原稿をスキャナに挿入します。
2. [コピー] タブまたは [スキャン] タブで、ジョブに必要な設定を行います。
3. コピーの場合 :  
[コピー] タブ -> [設定] -> [ミラー] を選択して、[OK] を押します。準備が完了したら、[コピー] ボタンを押します。



スキャンしてファイルに保存する場合 :

[スキャン] タブ -> [設定] -> [ミラー] を選択して、[OK] を押します。準備が完了したら、[スキャンしてファイルに保存] ボタ

ンを押します。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)

[問題の解決...](#)

[詳細...](#)

[アルファベット索引](#)

[HP Designjet Online](#)

## 出力マージンの設定

標準の [マージン] と追加の [外部マージン] を設定できます。

どちらの設定でも、上、下、左、右の値を定義できます。

注記 : [マージン] は、スキャンしてファイルに保存するジョブとは関連していません。[スキャン] タブで作業する場合は、すべてのマージン値は自動的にゼロに設定されます。

**[マージン]** は、選択したスキャン領域内に作成され、イメージのエッジを [マージン] の値によって定義された幅の余白と置き換えます (イメージの「切り取り」)。

[マージン] の値は、設定した [出力サイズ] から差し引かれます。つまり、最終的なコピー サイズが維持されます。

拡大縮小を行う場合、スキャン領域のマージンの切り取り効果 (エッジの切り取り幅) が、入力サイズと出力サイズ (拡大縮小値) の関係に合わせて調整され、実際のマージン値が印刷結果に適用されます。

拡大縮小を行わない場合 (1対1コピー)、実際のマージン値が印刷結果に適用され、スキャン領域で切り取られたエッジの幅に等しくなります。

詳しい説明については、[例](#)を参照してください。

**[外部マージン]** オプションを使用すると、スキャン領域に追加マージンを加算できます。したがって、スキャン領域をそのままにしてコピーのエッジに余白を加算できます。最終的なコピー サイズは、設定した出力サイズに合わせて拡大します。

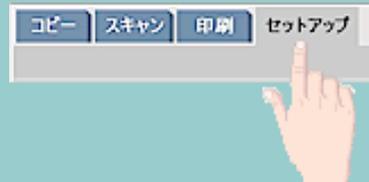
**例**では、マージンに外部マージンを実際に適用した場合について説明します。

[マージン] と [外部マージン] を使用して、不要なエッジを切り取ることができます。また、原稿の低品質 (変色、不鮮明) のマージンを切り取り、印刷時に追加の余白マージンを加算できます。

### ...マージンの設定

[マージン] オプションは、コピーのエッジに余白を適用します。[マージン] は、イメージ (スキャン領域) のエッジを余白で置き換えます。

1. [セットアップ] タブを選択します。



2. [セットアップ] ダイアログで [マージン] ボタンを押します。  
[マージン] ダイアログが表示されます。



3. [マージン] ダイアログで、[上]、[下]、[左]、[右] マージンを設定します。
4. イメージの四辺ですべて等しいマージンを使用する場合は、[リンク] オプションを使用します。[リンク] オプションをチェックすると、マージン値の入力は、4つのフィールドの1つだけで済みます。
5. 大部分のプリンタでは、用紙の一番端から印刷を開始できないので、出力にマージンが必要になります。[プリンタのマージンに合わせて印刷内容を切り取る] オプションを有効にすることにより、この強制マージンを考慮するように選択できます。詳細については、[\[プリンタのマージンに合わせて印刷内容を切り取る\] オプション](#)を参照してください。
6. [用紙枠を印刷] オプションをクリックして、出力サイズ枠の周りを薄い黒線で囲みます。大判プリンタ用ロール紙に幅の広い印刷をする際には、このオプションによって切り取り線が印刷され、正確に定義した出力サイズで印刷を終了できます。
7. [プレビュー] 画面に表示された [用紙フレーム] の幅は、[出力サイズ] に関連したマージン設定を反映し、[入力サイズ] (スキャン領域) も考慮するため、入力イメージがどのように切り取られるが正確に表示されます。[プレビュー] ボタン を押すと、設定で定義したマージンでプレビューがロードされます。[マージン] をゼロに設定した場合、[プレビュー] 画面に取り込む範囲を表すために細かいフレームが表示されます。



### ...外部マージンの設定

[外部マージン] オプションは、スキャン領域をそのままにして、コピーのエッジに余白を適用します。

1. [セットアップ] タブを選択します。



2. [セットアップ] ダイアログで [マージン] ボタンを押します。  
[マージン] ダイアログが表示されます。



3. [外部マージン] ボタン を押します。
4. [外部マージン] ダイアログで、[上]、[下]、[左]、[右] マージンを設定します。
5. イメージの四辺ですべて等しい外部マージンを使用する場合は、[リンク] オプションを使用します。[リンク] オプションをチェックすると、外部マージン値の入力は、4つのフィールドの1つだけで済みます。
6. 大部分のプリンタでは、用紙の一番端から印刷を開始できないので、出力にマージンが必要になります。[マージン] ダイアログの [プリンタのマージンに合わせて印刷内容を切り取る] オプションを有効にすることにより、この強制マージンを考慮するように選択できます。詳細については、[\[プリンタのマージンに合わせて印刷内容を切り取る\] オプション](#)を参照してください。
7. [用紙枠を印刷] オプションをクリックして、新しい出力サイズ枠

の周りを薄い黒線で囲みます。大判プリンタ用ロール紙に幅の広い印刷をする際には、このオプションによって切り取り線が印刷され、正確に定義した出力サイズで印刷を終了できます。

### ...[マージン] および [外部マージン] の使用例

#### 例1：

入力サイズ：10x10インチ

出力サイズ：10x10インチ (拡大縮小なし)

[マージン] 設定：すべての端で1インチ

[外部マージン] 設定：すべての端で0インチ

結果：合計サイズ10x10インチ、スキャン領域8x8インチ、すべての端で1インチの余白

説明：1インチのマージンは、スキャン領域のすべての端 (四辺) から差し引かれて、8x8インチのスキャン領域を作成します。合計サイズは、[マージン] 設定による余白が出力サイズから差し引かれ、加算されるものがないため、出力サイズ (拡大縮小がない場合は入力サイズ) と等しくなります。

#### 例2：

入力サイズ：10x10インチ

出力サイズ：10x10インチ (拡大縮小なし)

[マージン] 設定：すべての端で0インチ

[外部マージン] 設定：すべての端で1インチ

結果：合計サイズ12x12インチ、スキャン領域10x10インチ、すべての端で1インチの余白

説明：[マージン] は0インチに設定されているので、スキャン領域からは何も差し引かれず、10x10インチのスキャン領域はそのまま残ります。合計サイズは、[外部マージン] が1インチに設定されており、余白の1インチがすべての端 (四辺) に加算されるため、12x12インチとなります。

#### 例3：

入力サイズ：10x10インチ

出力サイズ：10x10インチ (拡大縮小なし)

[マージン] 設定：すべての端で1インチ

[外部マージン] 設定：すべての端で1インチ

結果：合計サイズ12x12インチ、スキャン領域8x8インチ、すべての端で2インチの余白

説明：1インチのマージンは、スキャン領域のすべての端から差し引かれて、8x8インチのスキャン領域を作成します。1インチの外部マージンがこの余白に加算されて、合計2インチの余白になります。加算された1インチの [外部マージン] (外部マージンのみ) が、四辺すべてを1インチ合計出力サイズを拡張するので、12x12インチの出力結果になります。

**例4：**

入力サイズ：10x10インチ

出力サイズ：20x20インチ (2倍率)

[マージン] 設定：すべての端で1インチ

[外部マージン] 設定：すべての端で1インチ

結果：合計サイズ22x22インチ、スキャン領域9x9インチ、すべての端で2インチの余白

説明：例4では、拡大縮小倍率をスキャン領域（入力）に適用したマージン値を示しています。つまり、出力サイズが入力サイズより大きい場合です。前の例のように、1インチのマージン値は出力サイズから差し引かれ、この1インチの余白と1インチの外部マージンがプリンタに出力され、合計で2インチ幅の余白になります。しかし、拡大縮小倍率により、入力中のスキャン領域内で取られる1インチのマージンは、自動的に相対的に削減される（この場合、1対2なので2分の1）ので、入力中にすべての端から1/2インチのみスキャン領域から差し引かれます。このように、スキャン領域の切り取りは、最終的に拡大されて通常の目的に合わせるために定義された [マージン] に合うように、論理的に調整されます。





## HP Designjet スキャナ

→ 使用方法...

→ 問題の解決...

→ 詳細...

→ アルファベット索引

→ HP Designjet Online

## 縦方向入力および横方向出力

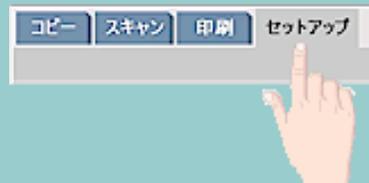
[自動横置き] オプションは、スキャナの幅が狭く、原稿を縦置き方向（短い端から送る）にしか差し込むことができないので、スキャナに横置きに入力できない原稿を横置きにコピーをする場合に便利です。

[セットアップ] タブ -> [プリンタ] -> [詳細設定] -> [自動横置き] オプションを選択して、アプリケーションで原稿を縦置き方向にスキャンするように指示すると、プリンタのコピー出力でイメージが自動的に横置きに回転します。プリンタの幅がスキャナより広く、両方のデバイスの幅全体を使用する場合は、このオプションを使用します。

注記：イメージの回転処理には、時間がかかり、また、リソースが必要になります。したがって、このオプションは、原稿を横置きに差し込むことができない場合にのみ使用してください。

## ...マージンの設定

1. [セットアップ] タブを選択します。



2. [セットアップ] ダイアログで、[プリンタ] ボタン、[ツール] ボタン、[詳細設定] ボタンの順に押します。次のダイアログが表示されます。



3. [自動横置き] の横のボックスを選択 (オン) にして、この機能を有効にします。

4. 自動横置きが有効になると、出力が90度回転します。この処理は、コピー原稿がスキャンの最大幅より長くプリンタの[メディア幅の設定](#)より短い場合にのみ実行されます。つまり、スキャナがスキャンできる幅より広く印刷するプリンタの場合に、この設定が有効であれば、印刷幅全体を使用できます。
5. この設定は、プリンタ（メディア幅）がスキャナと等しいか狭い状態では効果がありません。このような状況では、プリンタの出力方向としてスキャナを取り付けることにより読み込み方向が等しくなる場合、ユーザがコピー方向を手動で制御できます。





## HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)

[問題の解決...](#)

[詳細...](#)

[アルファベット索引](#)

[HP Designjet Online](#)

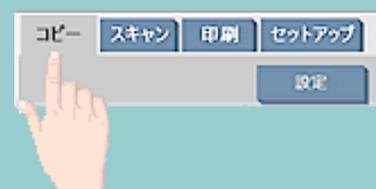
## 部単位コピー

部単位コピー機能により、複数のコピーをセットとしてグループ化して、それらのセットを指定した数だけプリンタに出力することができます。1つの原稿のコピーで使用可能なプレビューおよび拡張機能のオプションは、部単位コピー機能を使用しているときも使用できます。

### 部単位コピー - コピー セットの作成

1. セット内の最初の原稿をスキャナに挿入します。

2. [コピー] タブを押します。



3. [コピー] タブでコピーの設定を指定します。

必要に応じて、[プレビュー] ボタンを押して、画面を調節したりテストすることができます。



4. [部単位コピー] ボタンを押します。原稿は1枚の場合と同様に入力 (キャプチャ) されますが、プリンタに出力されるのではなく、システム内部に一時的に保存されます。



5. 次にスキャンする原稿を挿入して [部単位コピー] ボタンを押します。セット内のすべての原稿がスキャンされるまで、この作業を繰り返します。



セット内のそれぞれのコピーは、1つの原稿をコピーする場合と同様に調節できます。

6. [コピー] タブの [部数] ボタンを押して、セット数を指定します。部数は、プリンタに出力されるセット数 (入力したすべての原稿が含まれている) を表します。

7. [部単位で印刷] ボタンを押して、コピー ジョブ全体を実行します。



[リセット] ボタン を押すことで、部単位セッションをいつでもキャン

セルできます。



新しいアカウントを作成した場合は、[コピー] ボタン 、[スキャンしてファイルに保存] ボタン 、または [部単位コピー] ボタン  を押すたびに [アカウント] ダイアログが表示され、アカウントの選択が求められます。関連項目：

...[アカウントिंग](#)

ヒント：詳細かつ柔軟な設定を必要とするジョブでは、[スキャン] タブと [印刷] タブを使用して、コピー セットを作成および印刷します。





## HP Designjet スキャナ

[使用方法...](#)

[問題の解決...](#)

[詳細...](#)

[アルファベット索引](#)

[HP Designjet Online](#)

## システム上のイメージ ファイルを管理するには

アクセスおよび管理する必要があるイメージ ファイルを、いつでもシステムのハードディスクに含めることができます。

以下の場所にあるファイルを含めることができます。

- [スキャン] タブを押してシステムに保存したイメージ ファイル
- ネットワーク上の別のコンピュータからインポートされた、または別のコンピュータにあるイメージ ファイル
- CD/DVDに保存されているイメージ ファイル

これらのファイルで、以下の操作を行うことができます。

- [印刷] タブの [リストに追加] を押して印刷リストにファイルを追加する。注記 : [ファイル管理] ダイアログでファイルを移動、削除、または名前を変更した場合、操作結果は印刷リストに反映されず、ファイルが印刷できなくなります。
- ハードディスク/システム、またはアクセス可能な場所からファイルを削除します。
- システム上のフォルダ間でファイルをコピーまたは移動する。
- ファイル名を変更したり、新しいフォルダを作成する。
- CD/DVD にファイルをコピーする (書き込む)。

これらのすべての操作は、[ファイル管理] ダイアログで実行します。

[ファイル管理] ダイアログでは、以下のファイル形式のファイルにアクセスできません。

- Jpeg、Jpeg 2000、Tiff、Cal、PDF\*。

\* 詳しくは、「[ファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」と「[\[印刷\] タブの印刷リストにファイルを追加するには](#)」を参照してください。

## [ファイル管理] ダイアログを開くには

以下のいずれかの方法で [ファイル管理] ダイアログを表示できます。

1. 画面下部の [フォルダ] ボタンを押します。



2. [印刷] タブの [リストに追加] ボタンを押します。



[ファイル管理] ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには

1. 上のフォルダに移動するための [...] ボタンを押すと、1つ上のフォルダに移動します。

ローカル フォルダ：外付けドライブやCD/DVDドライブを含め、システムが利用できるすべてのドライブにあるフォルダを参照できます。Cドライブはシステム ファイル専用として予約されているため、システムは利用できません。

ネットワーク フォルダ：デフォルトでは、このダイアログにはローカル ドライブとフォルダのみが表示されます。システムにはネットワークの場所を追加することができます。手順については、ヘルプの「[ネットワーク フォルダにスキャン ファイルを保存してアクセスするには](#)」を参照してください。

2. フォルダ名をクリックすると、そのフォルダに移動します。
3. ファイル名の左側のボックスをオンにして、操作対象のファイル

を選択します。

4. [全て選択] を押すと、現在表示されているフォルダ内のすべてのファイル名の左側のボックスがオンになります。
5. [すべて選択解除] を押すと、現在表示されているフォルダ内のすべてのファイル名の左側のボックスがオフになります。
6. イメージのプレビューや情報 (名前、形式、サイズ、ファイル サイズ、作成日時) を表示するには、イメージをクリックします。

プレビューに関する注記：

PDF ファイルは、あらかじめ生成されたサムネイルが含まれている場合のみプレビューできます。[スキャン] タブを使ってシステム上に作成した PDF ファイルにはサムネイルが含まれていますが、外部からインポートした PDF ファイルの場合、サムネイルが含まれていないことがあります。

#### [印刷] タブの印刷リストにファイルを追加するには

1. [印刷] タブを押します。
2. [リストをクリア] ボタンを押すと、空の新しいリストが表示されます。
3. [リストに追加] ボタンを押して、[ファイル管理] ダイアログを表示します。
4. ファイル名の左側にあるボックスをオンにして、印刷リストに追加するファイルを選択します。  
注記：[リストに追加] では、印刷可能なファイル形式のファイルにのみアクセスできます (PDFにはアクセスできません)。
5. [全て選択] または [すべて選択解除] を使用して、現在のフォルダ内のすべてのファイルを一度に選択/選択解除することができます。
6. ファイルの選択方法の詳細については、上記の「[\[ファイル管理\] ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」を参照してください。
7. ファイルの移動、コピー、削除、および名前の変更方法の詳細については、このページのファイル管理に関する説明を参照してください。

8. [OK] ボタンを押して、オンにしたファイルを印刷リストに追加し、[印刷] タブに戻ります。[印刷] タブには、ファイルが挿入された状態の印刷リストが表示されます。

印刷リスト ([印刷] タブ) 内のファイルに関する注記：[ファイル管理] ダイアログでファイルを移動、削除、または名前を変更した場合、ファイルは印刷リストに表示されたままになりますが、印刷できなくなります。

### システムからファイルを削除するには

新規ファイル用の空き容量を確保するためには、スキャンしたファイルをアクセス可能なフォルダから随時削除する必要があります。それには、以下の2つの方法があります。

1. 削除するファイルを検索して、ファイル名の左側にあるボックスをオンにして選択します。ファイルの選択方法の詳細については、「[\[ファイル管理\] ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」を参照してください。
2. [削除] ボタンを押して確認します。

印刷リスト ([印刷] タブ) 内のファイルに関する注記：[ファイル管理] ダイアログでファイルを移動、削除、または名前を変更した場合、ファイルは印刷リストに表示されたままになりますが、印刷できなくなります。

### システム上のファイルの名前を変更するには

1. 名前を変更するファイルを検索して、ファイル名の左側にあるボックスをオンにして選択します。ファイルの選択方法の詳細については、「[\[ファイル管理\] ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」を参照してください。
2. [名前の変更] ボタンを押します。現在のファイル名が表示された編集ボックスが表示されます。キーボードで名前を入力して、[OK] を選択します。
3. 一度に複数のファイルを選択することもできます。複数のファイルを選択して [名前の変更] ボタンを押すと、各ファイルの名前を順に入力できるようになります。

印刷リスト ([印刷] タブ) 内のファイルに関する注記：[ファイル管理] ダイアログでファイルを移動、削除、または名前を変更した場合、ファイルは印刷リストに表示されたままになりますが、印刷できなくなりま

す。

### システムに新しいフォルダを作成するには

1. 新しいフォルダを作成するディレクトリ/フォルダを検索して選択します。ファイル システムの参照方法の詳細については、「[\[ファイル管理\] ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」を参照してください。
2. [新しいフォルダ] ボタンを押します。
3. 編集ボックスに新しいフォルダの名前を入力して [OK] を押します。
4. 新しいフォルダが、現在のディレクトリのサブフォルダとして挿入されます。

注記：CD または DVD 上に新しいフォルダを作成することはできません。

### システムの別のフォルダにファイルをコピーするには

1. コピーするファイルを検索して、ファイル名の左側にあるボックスをオンにして選択します。ファイルの選択方法の詳細については、「[\[ファイル管理\] ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」を参照してください。複数のファイルを選択して、それらを同じ保存先フォルダにコピーすることもできます。
2. [コピー] ボタンを押します。
3. [保存先フォルダ] ダイアログが表示されます。保存先フォルダを選択するか、システム上に新しいフォルダを作成します。保存先フォルダとして CD/DVD ドライブのフォルダを選択することもできます (以下の注記を参照)。
4. [OK] を押して、保存先フォルダにファイルをコピーします。

CD/DVD へのコピーに関する注記：CD または DVD 上に新しいフォルダを作成することはできません。DVD/CDへの書き込みは、ISO 9660 + Joliet 拡張規格に準拠しています。書き込みに対応しているメディアは、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD+R、DVD+RW、および DVD +R DLです。

### システムの別のフォルダにファイルを移動するには

1. 移動するファイルを検索して、ファイル名の左側にあるボックスをオンにして選択します。ファイルの選択方法の詳細については、「[\[ファイル管理\] ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」を参照してください。複数のファイルを選択して、それらを同じ保存先フォルダに移動することもできます。
2. [移動] ボタンを押します。
3. [保存先フォルダ] ダイアログが表示されます。保存先フォルダを選択するか、システム上に新しいフォルダを作成します。保存先フォルダとして CD/DVD ドライブのフォルダを選択することもできます (以下の注記を参照)。
4. [OK] を押して、保存先フォルダにファイルを移動します。

印刷リスト ([印刷] タブ) 内のファイルに関する注記 : [ファイル管理] ダイアログでファイルを移動、削除、または名前を変更した場合、ファイルは印刷リストに表示されたままになりますが、印刷できなくなります。

CD/DVD への移動に関する注記 : CD または DVD 上に新しいフォルダを作成することはできません。DVD/CDへの書き込みは、ISO 9660 + Joliet 拡張規格に準拠しています。書き込みに対応しているメディアは、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD+R、DVD+RW、および DVD+R DLです。

#### 書き込み可能な CD/DVD にファイルをコピーするには

[CD/DVD] ボタンを使用して、CD/DVD ドライブにすばやくファイルを書き込むことができます。また、保存先として CD/DVD ドライブを選択して、[コピー] ボタンを押して同じ操作を実行することもできます。

1. コピーするファイルを検索して、ファイル名の左側にあるボックスをオンにして選択します。ファイルの選択方法の詳細については、「[\[ファイル管理\] ダイアログでファイルを参照、プレビュー、および選択するには](#)」を参照してください。複数のファイルを選択できます。
2. [CD/DVD] ボタンを押します。
3. 選択したファイルが CD/DVD のルート フォルダに書き込まれます。
4. DVD/CDへの書き込みは、ISO 9660 + Joliet 拡張規格に準拠しています。書き込みに対応しているメディアは、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD+R、DVD+RW、および DVD+R DLです。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company

現在の表示: [はじめに](#) → [使用方法...](#) → コピーの複製をファイルに保存する

"graf/spacer.gif" width="1" height="1" border="0" alt="サイト全体のナビゲーション リンク グループをスキップ">



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

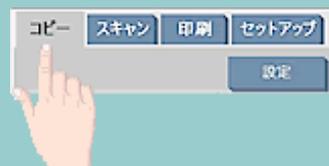
→ [HP Designjet Online](#)

## コピーの複製をファイルに保存するには

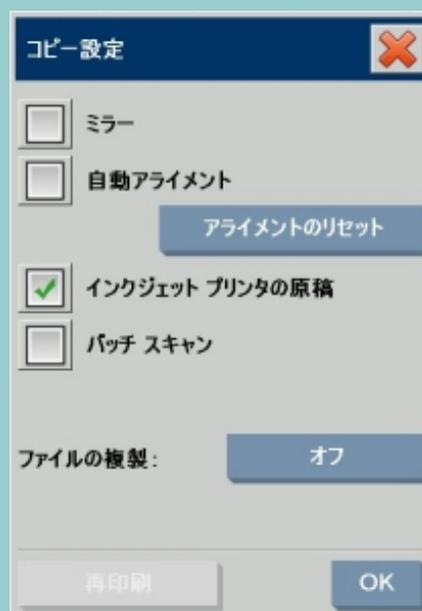
コピーの複製を保存するように設定できます。このオプションを有効にすると、[コピー] ボタンを押して「スキャンして印刷」処理を開始するたびに、スキャンしたイメージが含まれたファイルがシステムに保存されます。

## コピーの複製をファイルに保存するには...

1. [コピー] タブを押します。



2. [設定] ボタンを押します。



3. [ファイルの複製] ボタンを押します。



4. [ファイルの複製の有効化] オプションをオンにします。
5. イメージ ファイルの保存先を変更するには、[ファイル フォルダ] ボタンを押します。
6. イメージファイルに特定の名前を付けるか、既存ファイルが上書きされないようにするには、[ファイル名] ボタンを押します。フィールドには自動命名パラメータ (カウンタ、日付、時刻など) が含まれており、新しいファイルを動的に作成できます。ファイルの自動命名パラメータの使用についての詳細は、[こちら](#)を参照してください。
7. ファイルの保存形式を変更するには、[ファイル形式] ボタンを押します。
8. この機能を無効にするには、[ファイルの複製の有効化] をオフにします。





## HP Designjetス キャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## ディスクをデフラグするには

[デフラグ開始] オプションは、ハード ディスク上の断片化されたファイルやフォルダを連続するように並べ替えて、ボリューム上のファイルやフォルダが1つの連続したスペースに格納されるようにします。この処理を行うと、ファイルやフォルダへのアクセスや新規保存がより効率的になり、システムのパフォーマンスが向上します。

### デフラグ処理を実行するには...

1. [セットアップ] タブを選択します。
2. [オプション] -> [システム] を選択します。
3. [詳細設定] ボタンを選択します。
4. [デフラグ開始] オプションを選択し、処理を開始します。
5. システムは、デフラグ処理をバックグラウンドで実行している間も使用できます。ただし、通常はパフォーマンスが低下します。
6. デフラグ処理にかかる時間は、ファイルの断片化の状態と、ディスク上のファイル数によって異なります。
7. 処理の実行中、[デフラグ開始] ボタンは淡色表示され、選択できなくなります。デフラグ処理が完了すると、ボタンは通常の状態(アクティブ)に戻ります。



→ [印刷手順](#)

→ [法律に関する注記](#)

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## ネットワーク接続を保存できるようにするには

ユーザーがネットワーク接続定義（ユーザー名とパスワードの組み合わせ）を保存できるように設定し、パネルPCをシャットダウンしても接続定義が削除されないようにすることができます。

このオプションを設定すると、ユーザーはネットワーク接続を保存するオプションを選択できるようになり、システムの再起動時にネットワーク接続が再確立されます。

ユーザーがネットワーク接続を保存できるようにシステムを設定するには、管理者権限が必要です。[管理者パスワードを設定し有効にしてある](#)場合は、この機能を適用する前にその入力が必要です。

## ネットワーク接続を保存できるようにするには...

1. [セットアップ] タブの [オプション] を押します。
2. [システム] を選択します。
3. [詳細設定] ボタンを押します。
4. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
5. [ネットワーク接続の保存] ボタンを押します。
6. [ネットワーク接続の保存] オプションをオンにして、[OK] を押します。
7. [ネットワーク接続の保存] オプションをオンにすると、[フォル



ダ] ボタン -> [ネットワーク] -> [ネットワーク接続の追加] を選択して表示されるダイアログに、[ログイン時に再接続] オプションが表示されるようになります（オフの場合、非表示）。このダイアログと [ログイン時に再接続] オプションをネットワーク接続とともに使用方法については、「[ネットワークフォルダにスキャン ファイルを保存してアクセスするには](#)」を参照してください。

8. ネットワーク上の変更などにより、保存された接続が無効になっ



た場合は、[フォルダ] ボタン -> [ネットワーク] -> [ネットワーク接続の削除] を使用して、手動で削除できます。

注記：システムにユーザー名とパスワードを保存すると、セキュリティ上のリスクが増加します。



→ 印刷手順

→ 法律に関する注記

© 2002-2007 Hewlett-Packard Company



## HP Designjet スキャナ

→ [使用方法...](#)

→ [問題の解決...](#)

→ [詳細...](#)

→ [アルファベット索引](#)

→ [HP Designjet Online](#)

## サポートとデバッグ用のデータ ファイルを作成および取得するには

システムには、エラーのデバッグに役立つデータ ファイルを作成する機能が含まれています。通常は、ユーザーがこのファイルを作成し、サポート サービスに送ってデバッグを依頼します。

問題のデバッグに使用するデータ ファイルを作成するには、スキャナ デバイスで [SCANdump] オプションを使用します。プリント出力の問題をデバッグするには、[ファイルに出力] オプションを使用して、プリント出力データをファイルに出力します。

サポートとデバッグ用のファイルの取得 : SCANdump出力ファイルとその他の役立つデータやデバッグ用ファイルは、保護された領域に保存されるため、これにアクセスするにはエクスポートする必要があります。[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [システム] -> [詳細設定] -> [ログ ファイルのエクスポート] ボタンを押し、D:\Imagesフォルダまたは書き込み可能なCD/DVDにファイルをエクスポートします。

## スキャナのデータ ファイル (スキャンダンプ) を作成するには...

1. [セットアップ] タブの [オプション] を押します。
2. [システム] を選択します。
3. [詳細設定] ボタンを押します。
4. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
5. [CANdump] ボタンを押します。SCANdumpプログラムが起動します。
6. SCANdumpプログラムは、ランブ プロファイル データ、エラー ログ、スキャナの動作情報を含むデータ ファイルscandump.conを作成します。
7. SCANdump出力ファイルは保護された領域に保存されるため、ユーザーがアクセスするにはエクスポートする必要があります。[ログ ファイルのエクスポート] オプションを使用してエクスポートすれば、SCANdump ファイルおよびシステムで作成されたその他の役立つデータやデバッグ ファイルにアクセスできます。[セットアップ] タブ -> [オプション] -> [システム] -> [詳細設定] -> [ログ ファイルのエクスポート] ボタンを押し、D:\Imagesフォルダまたは書き込み可能なCD/DVDにファイルをエクスポートします。

8. D:¥Imagesフォルダへのエクスポートを選択し、ファイルを別のコンピュータに移動して処理/送信する必要がある場合、パネルPCのD:¥Imagesフォルダは、IP経由で別のコンピュータからアクセスできます。手順は「[別のコンピュータからの共有ファイルへのアクセス](#)」を参照してください。

#### 印刷出力のデータ ファイルを作成には...

1. [セットアップ] タブの [オプション] を押します。
2. [システム] を選択します。
3. [詳細設定] ボタンを押します。
4. 管理者パスワードを入力するように求められたら、パスワードを入力します。
5. [ファイルに出力] ボタンを押します。これにより、プリント時にプリンタではなくファイルにプリンタ データを送信するようにプログラムに伝えます。
6. プリンタ データはファイルD:¥Images¥print.prnに保存されます。
7. ファイルprint.prnを別のコンピュータに移動して処理/送信する必要がある場合、パネルPCのD:¥Imagesフォルダは、IP経由で別のコンピュータからアクセスできます。手順は「[別のコンピュータからの共有ファイルへのアクセス](#)」を参照してください。

